

581-146



1200501522244

581

146

和四年十二月一日發行

# 製鐵所參考資料

(第四拾一號)

製鐵所總務部

## Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

## Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak





581-146



### 製鐵所參考資料第四十一號目次

世界滿俺鐵市場狀況.....	一
獨逸の平爐作業に於ける屑鋼.....	十一
經濟の重大化に従ひ屑鐵工業新地位を取得す.....	十七
新嘉坡及其附近の主要鐵產資源上に於ける位置.....	二十七
波蘭の勞働賃銀は日給一弗以下.....	三十五
フランス國冶金工業概況.....	三十九
ザール地方の製鐵業狀態.....	四十五
歐洲炭鐵業の賃銀.....	四十九
陝西省の石炭.....	五十五
山西省平定の石炭鐵礦概言.....	六十五
山西の鐵業.....	七十三
屑鐵市況(其の一).....	七十七
屑鐵市況(其の二).....	八十七



### 例言

- 一、本冊子ハ文書課ニ於テ抄譯シタル外字新聞若クハ雜誌中掲載ノ事項及ヒ其他ノ調査資料ニ就キ參考トナルヘキモノヲ撰ミ關係所員ニ頒タンカタメ謄寫ニ代ヘ印刷スルモノトス
- 二、本冊子ハ當務ノ參考ニ供スルヲ以テ目的トシ文字ノ彫琢編纂ノ體裁ニ於テ缺クル所少ナカラサルヘシ讀者之ヲ諒セヨ

製鐵所總務部



波蘭に於ける平爐生産能力倍加.....七  
 英國鉄鐵價格強調.....七  
 伊太利のスティールカルテル組織.....  
 ...六  
 コーカサスに於ける滿鐵の大貯蔵.....二〇  
 クルツプの新第二熔鑪火入.....〇一  
 獨逸の  
 出銑量増加.....〇一  
 タタ製鐵會社最近の業績.....〇一  
 英國鉄鐵市況.....〇四  
 國際鋼カルテル會  
 合の結果.....〇五  
 歐洲のワイヤー競争價格を引下ぐ.....〇六  
 伊太利は鐵鋼業の調節を計畫す.....一七  
 日本鋼輸入増加.....一〇  
 國際チユーブカルテル及び國際線材カルテル更新.....一八  
 一九二九年中  
 英國鐵鋼産額.....二〇  
 八幡製鐵所の屑鐵輸入.....二〇  
 獨逸鐵道半ヶ年の設備購入量五千萬弗に達す  
 .....二二  
 白耳義銑鋼輸入増加.....二二  
 匈牙利の鐵及鋼産額増加.....二三  
 獨逸は屑鐵價格を引下ぐ  
 .....二三  
 獨逸化學工業は無銹鐵を製造すべし.....二三  
 獨逸ケーブル製造業者は亞米利加に工場を設  
 立すべし.....二三  
 本年上半期日本の銑鐵産額.....二四  
 チェコスロバキヤの銑鐵産額増加.....二四  
 日本の薄板輸出.....二五  
 英國の國際軌條割當額超過の見込.....二六  
 獨逸マンネスマン會社はザール  
 壓延工場を管理せず.....二六  
 露西亞は技術的援助を米國會社に希望す.....二七  
 米國は主として英國  
 銑鐵を輸入す.....二七  
 獨逸の軌條價格引下.....二八  
 瑞典のスポンヂ鐵工場能率を増加す.....二八  
 露西亞は米國の採炭法を採用す.....二九  
 ブラジルの製鋼業.....二九  
 廣西鐵鑛.....三〇

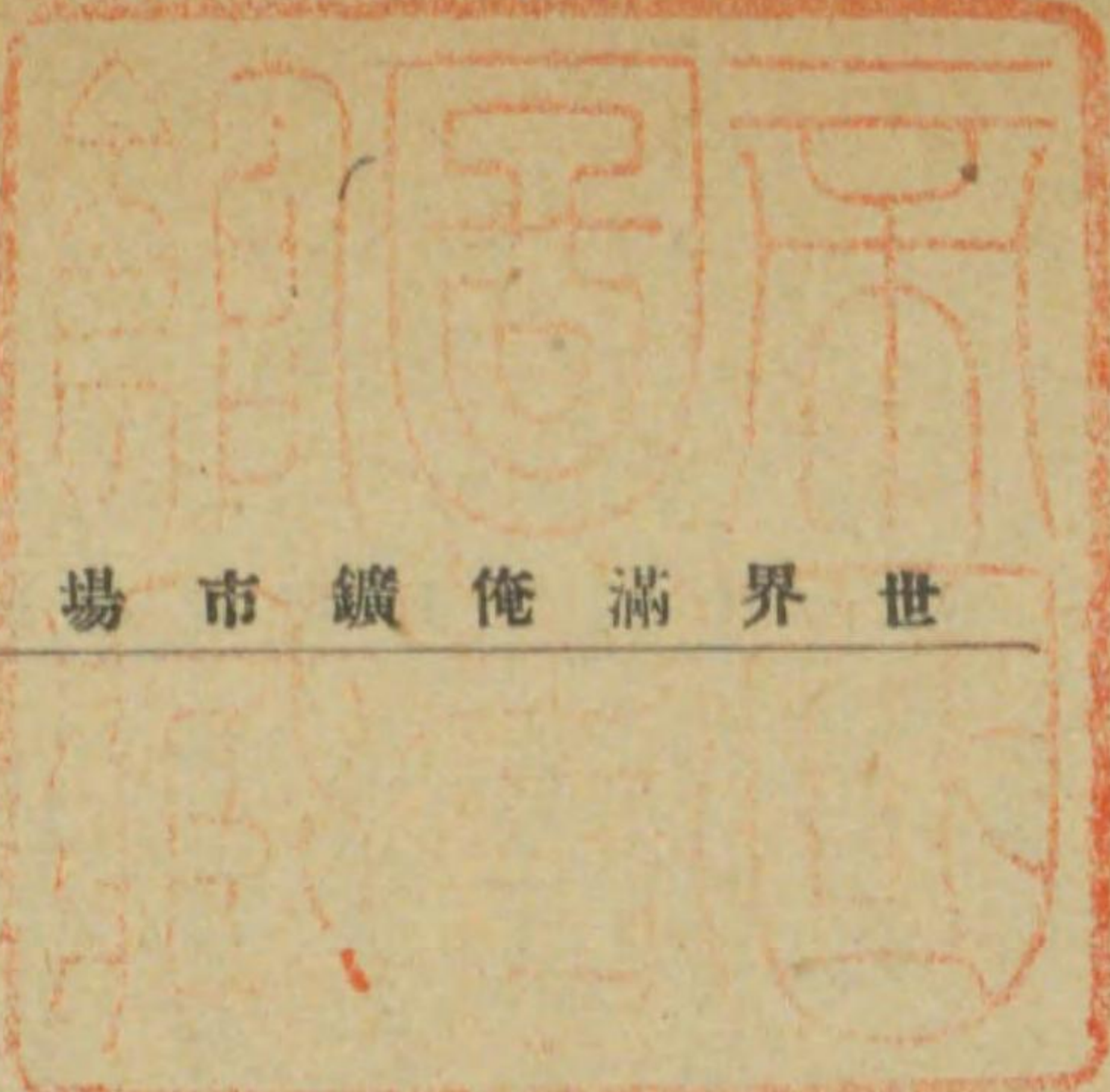
統計.....百二十一

合衆國の屑鐵鋼輸出入.....三三	一九二九年十月の合衆國銑鐵産額.....三三	合衆國一九二九年十月の
鋼塊生産高.....三三	七月中佛蘭西の燃料輸出入額.....三三	七月中佛蘭西鐵鑛石産額.....三三
一九二九年第一四半期に於ける獨逸鐵鑛石輸入額.....三三	一九二九年上半期に於けるザール鐵鋼産額.....	三三
一九二九年上半期に於けるチェコスロバキヤ鐵鋼産額.....三三	六月中合衆國燃料輸出	額.....三三
一九二九年上半期に於けるクルセンブルグの鐵鑛石産額.....三三	一九二九年上半期に	於ける印度石炭産額.....三三
七月中合衆國燃料輸出高.....三三	一九二八年ビクトリヤ石炭産額.....	三三
一九二八年東地地利燃料輸入額.....三三	一九二八年南地地利の鐵鑛石産額.....三三	三三
一九二八年南地地利の鐵鑛石産額.....三三	一九二九年	年上半期アデン石炭輸入額.....三三
七月中合衆國石炭産額.....三三	露西亞輸出入額.....三三	撫
順炭鑛生産高.....三三		

附 表

- 一、製鐵所並民間製鐵會社鐵鋼材生産高月別表
- 一、本邦壓延工場概要
- 一、各國鐵鋼及石炭月別生産高
- 一、歐米に於ける銑鋼價格比較表
- 一、一九二九年九月末現在英國地方別會社別熔鑪爐數
- 一、昭和三年本邦鐵製品類輸出額月別表





### 世界滿僱鑛市場狀況

#### 内容目次

- 一、前 言
- 一、露西亞の生産高増加
- 一、南亞弗利加
- 一、亞弗利加鑛石と露西亞鑛石との競争
- 一、ブラヂル、印度及ゴールドコースト
- 一、南亞弗利加滿僱鑛代理店指定
- 一、露西亞の滿僱鑛生産増加計畫

獨逸鑛山時報は「向後數年間に於ける滿僱鑛市場の進展を考ふる時は其の生産國と消費國との目下の利害關係を見逃すべからず」と論ぜり合衆國ミブラヂルの滿僱鑛業者間に介在する現在の關係は一般に熟知せられたる所にして此れが爲め合衆國は露西亞より輸入を増加しつゝあるにも拘らず向後南米よりも多量の鑛石を絶えず輸入するに至るべし、加ふるに亞米利加の滿僱鑛生産業者は國內産額の増大に努むるに同時に關稅に依る斯業の保護を強調しつゝあり

- 一、昭和三年本邦鐵製品類輸入額月別表
- 一、昭和三年本邦鐵鋼類輸出額月別表
- 一、昭和三年本邦鐵鋼類輸入額月別表
- 一、昭和三年本邦鐵鋼類輸出額國別月別表
- 一、昭和三年本邦鐵鋼類輸入額國別月別表
- 一、昭和三年本邦石炭輸出額國別月別表
- 一、昭和三年本邦石炭輸入額國別月別表
- 一、昭和三年本邦セメント輸出額國別月別表



此の關稅は最近低下したるも尙此れが爲め鑛山業者に葛藤を惹起するに至れり  
 英領印度に於ては英國の投資を仰げる同地の大生産業者は英國の滿僱鑛製造業者に利害を同じくするが故  
 に其の産出する鑛石に付ては常に確實なる捌け口を有するものこそす

## 露西亞の生産高増加

一方露西亞は市場に確實なる地歩を有せざるもチアチュリー鑛床の作業回復以來世界市場に對する供給に  
 付て昔日の支配的地位を回復せんことを努力しつゝあり

生産集中及機械化に依る鑛山開發の五箇年計畫に依れば鑛石の特別分類及洗滌、運輸設備に改善を施し且  
 つ五箇年の終り迄には露西亞は鑛夫の作業能率を著しく増進し同時に生産費を低下せしめんことを希望せり  
 尙二五、〇〇〇、〇〇〇留の經費を以て新鑛石洗滌工場及滿僱鑛工場の建設に着手する筈なり

一九二八年—二九年會計年度中の總生産高約一、二三〇、〇〇〇噸を一九三二年—三三年迄には之を二、  
 二九〇、〇〇〇噸に増加し又洗滌鑛石は同期間に六五〇、〇〇〇噸より一、三〇〇、〇〇〇噸に増加せしむ  
 る筈なり斯くの如くして一九一三年に一、一〇三、一〇〇噸を算したるチアチュリー鑛山よりの輸出高は（  
 此の外にニコポールより九〇、七〇〇噸）一九三二年—三三年迄には大激増を示すべく尙露西亞國內需要の  
 大部分はニコポール鑛山の生産品を以て之を滿し得るの豫定に在り

露西亞の斯業開發計畫が満足に實現せらるゝや否やに關しては過去の實績に照らして多少疑ひなきに非ざ

ひも輸出高の増進せるチアチュリー鑛山に於ける現在の作業成績より推せば今後滿僱市場に於ける露西亞の  
 活躍は一層大なるものあるを思はしむ例へば去る七月中の滿僱鑛の生産高は六月中の一、二〇〇噸五月  
 中の一〇五、四〇〇噸四月中の九六、三〇〇噸に比し一四九、五〇〇噸に増加し尙四月中には五〇、〇〇〇  
 噸五月中には五二、四〇〇噸六月中には七〇、六〇〇噸七月中には七三、二〇〇噸の鑛石洗滌されたりと報  
 ぜらる一方七月中の輸出高は六月中の八九、七〇〇噸に對して僅に六七、九〇〇噸に過ぎず、八月一日に於  
 ける輸出用鑛石の在庫高は一〇〇、〇〇〇噸にして其の中四五、〇〇〇噸はチアチュリーに五五、〇〇〇噸  
 はボチ港に在庫せられたり六月に終る過去九箇月間の滿僱鑛生産高は一九二七年—二八年の同期間に於ける  
 三〇四、〇〇〇噸に比して七四七、五〇〇噸を算したるが輸出高は二〇三、〇〇〇噸に對し四二八、〇〇〇  
 噸に達したり

米國の輸入關稅廢止の曉には米國に對する露西亞鑛石の輸出は激増すべく又實際ユ、エス、スチール、コ  
 ボレーションに於ては尙五箇年間毎年八萬屯乃至十五萬屯のチアチュリー鑛石の供給契約を露西亞に締結  
 したりと報ぜらる

## 南亞弗利加

然れども斯くの如き大量の鑛石を出來得る丈低廉なる價格を以て處分せんことを露西亞の努力も怖るべき  
 新競争者の出現即ち南亞弗利加ポストマスブルグ地方に於ける事業開發に伴ふ競争に當面せんことをしつ



此の新競争者は世界市場の形勢に必ずや何等かの影響を與ふべく既に同地に於ては大量鑛石の輸出を計畫する所ありしが其の準備は在來の報道に依りて推斷せる程度以上に進捗せるもの、如し

此の事業は一般より頗る懷疑の念を以て注視せらるゝ所ありしが七月初めの英、瑞西國際組合總會の席上議長は、ポストマスブルグ鑛床の所有權を得て、最近成立せる滿俺コーボレーションの前途に關し頗る樂觀的意見を發表せり又同時に議長は、同會社は間もなく年間三五〇、〇〇〇噸乃至四〇〇、〇〇〇噸を輸出し得るに至るべき旨を述べたり、既に明年は二〇〇、〇〇〇噸乃至二五〇、〇〇〇噸の輸出を計畫する所あり尙後報より察すれば世界は近く此の新源泉を重視せざるの止むなきに至るべく而して此の新事業は獨逸現在の輸入滿俺鑛の噸數に相當する數量を苦もなく輸出し得るものと思惟せらる

プレトリアよりの報道に依れば前記の滿俺コーボレーションはクープスマンフオンティン及ポストマスブルグ間に建設中の鐵道費用として三〇二、〇〇〇磅を南阿政府に納入せり此報せらるゝが同鐵道は南阿鐵道と鑛山とを連絡し積出港たるダーバン港迄の鑛石輸送を可能ならしむべし此の鐵道は一九三〇年の春迄に完成の豫定なるが其れ迄に鑛山は稼行して一五〇、〇〇〇噸の輸出を準備し置くもの見らる

明年の鑛石販賣契約は既に成立し英國は頗る大量の鑛石購入契約を了せり此報せらる尙今日迄の所にては未だ成立し居らざるも獨逸及米國との間にも交渉進行中に在り云ふ

#### 亞弗利加鑛石と露西亞鑛石との競争

かゝる大規模の鑛山稼行計畫に付て市場を獲得せんとするには只露西亞產鑛石に依つて作られたる市場状態に其の價格政策を適應せしむる事のみに依りて之を遂行し得べし

若し露西亞の開發計畫に勝らんせば只產額を急速に増大する外なかるべし、此れに關し南阿鑛山業殊に本件の如き大規模の產出計畫事業に於ては重大なる關係を有する勞働問題に對して特別の注意を拂ふの要あるべしポストコスブルク鑛石の滿俺含有量は時に五五%のものあり此の平均は四九%を示せり本鑛山事業に關聯してコレンソの官設電氣發電所よりの供給電力を利用して年間約三萬屯の滿俺鐵の製造又企圖せらる滿俺生産計畫の準備に於て露西亞は疑ひもなく其の計算の基礎を次の想定に置けり即ち、數年間の滿俺鑛消費高は鋼產額の豫想増加に依り其の鑛石の生産高を三歩調を共にすべし云ふ想定之れなり

此の假定に於ては鑛石の値段が大崩落をなすべしは恐らく何人も豫想せざるべく此の點に於て露西亞の生産業者は確に其の競争相手の私有鑛山に比し優越の地位を占むるもの云はざるべからず然れども新競争者たる南亞弗利加は先づ第一に市場の獲得を企つべきが故に露西亞と南亞弗利加との間には激烈なる競争の免れ難きものあるを想はしむ。加ふるに又近き將來に於てモロッコの新鑛山より大量鑛石の出現豫期せらるるものあるを以て競争は一層其の度を甚たしくするものと思惟せらる

#### ブラジル、印度及ゴールドコースト

ブラジル、印度及ゴールドコーストに於ける滿俺生産業者は其の關係消費者が出來得る限り其の滿俺鑛山



の保護に努むべきが故に其の生産高に大制限を加ふるの必要なるべし斯の如きが故に此等の鑛山を後継する製鐵工場は市場に抛出せらるゝ増加鑛石の大購買者としては考慮すべきものに非ざるべし故に市場は當初供給過多に悩み一時不景氣を呈するに至るべく價格は一層下落するものと思はる

英領印度に於ては一九二六年―二七年に亘る會計年度の滿僱鑛輸出高は五三六、〇〇〇噸に達し一九二七年―二八年度には七〇四、〇〇〇噸に達し其中四二四、〇〇〇噸はカルカッタより二六六、〇〇〇噸はボムベ―經由、其の他はモルムガオ及他の諸港より輸出されたり、鑛山よりカルカッタに至る距離はボムベ―に至る距離より約八五哩遠し雖鐵道會社の運送政策は輸出業者をしてカルカッタ經由の大輸出をなさしむるに至れり

鑛石の船積は大なる困難を経費を伴ふ例へばボムベ―に於ては輸出鑛石の大部分は先づマザゴンセグリの港外貯藏所に貯藏され汽船の入港を見て鑛石は一部道路一部鐵道によりて積込場所に運搬せられざるべからず

ヴィザガバタム港は一九三二年迄は完成の見込なきが故に本港の近代的運輸設備に期待せらるる海上運賃の値下りは近き將來に於ては期待する事を得ず、本年四月の六六、九〇〇噸―一九二八年五月の五九、一〇〇噸及同年四月の四六、六〇〇噸に比し本年五月には八五、三〇〇噸に達したる印度滿僱鑛石輸出高の増加―此の増加は主として對英輸出による―に拘らず山元ストックは益々増加し英國取引者間の見る所に於ては

現在ストックは一、〇〇〇、〇〇〇噸以上見積らる

報ぜらるる所に依れば佛蘭西の印度鑛石輸入高は減少せるも露西亞、ブラジル及西部亞弗利加鑛石の輸入高増加し一方ベルヂューム及ルクセンブルグの印度鑛石輸入高は大増加を示したり云ふ又獨逸は露西亞よりの輸入を大に増加し同時に印度及ブラジルよりの輸入を減少せり一方英國は引續いて印度に大量の供給を仰きつ、あり

アイアン、エンド、コール、トレード、レビウー一九二九年九月六日

### 南亞弗利加滿僱鑛代理店指定

(アイアン、エーヂー一九二九年八月二十九日)

本店を倫敦に有し營業所を南亞ジョアネスブルグに置けるマンガニーズ、コーボレイションは北米に於ける其の滿僱鑛販賣代理店として紐育東四十二番街一二二番地ウィリアム、エッチ、ムーラー會社を指定したり

マンガニーズ、コーボレイションの鑛山は南阿ポストマスブルグに在りて同鑛山は明年早々幹線鐵道に連絡する豫定なるを以て一九三〇年四月よりは相當多量の鑛石輸出せらるるに至るべし而して其の鑛石の滿僱含有量は最低五二%にして燐は最高〇、一五%を含める由なり

### 露西亞の滿僱鑛生産増加計畫



モスコー八月十一日

(アイアン、エーチ一九二九年八月二十九日)

一九三二年より一九三三年の營業年度迄に完成すべき政府の産業開發五箇年計畫はニコポール及チアチュリー兩鑛床に於ける滿僱鑛石産出に付て大增産を計畫せり、又滿僱鐵を産出せんが爲に前記兩鑛山に二五、〇〇〇、〇〇〇留の資本を投じて鑛鑪を建設せんとする計畫あり、ニコポール及チアチュリー鑛山の生産高増加に努むるに同時に生産の集中に最新式設備を施設するに至るべし又黒海沿岸のジョルジャのポチ港も改修せらるるに至るべし

設備の改善に依りて鑛山勞働者一人當り鑛石産出高に七四%を加へ生産費を三五・五%減少し得るものも豫期せらる。一九三二年―一九三三年度迄にはチアチュリー鑛山に於て二、二九〇、〇〇〇噸の滿僱鑛石を産出するの豫定なり、こゝに注目すべきは一九一三年に於けるチアチュリー及ニコポールの合計輸出高は一、一九三、八〇〇噸なりしが一九二六年―一九二七年の營業年度には七八四、六〇〇噸に一九二七年―一九二八年には四九八、八〇〇噸に減少せることなりチアチュリー鑛山の供給量は二億噸にして鑛石の含滿分四〇乃至五〇%を算す

戦前には此の兩鑛山は世界の滿僱鑛需要高の五二%を供給せしが一九二八年には僅に二一・四%に減少せり。チアチュリー鑛石の輸出高は戦前に比して頗る減少せるもニコポール鑛山よりの輸出高は増加せり政

府の報ずる所に依ればニコポール鑛山の急速なる發展はチアチュリーに於けるハリマン會社の特權解除が其の原因を成すに云ふ現今ジョルジア滿僱鑛の輸出は全部伯林に販賣本店を置く滿僱輸出會社の管理下に在り



### 獨逸の平爐作業に於ける屑鋼

フアウンドリー、トレード、ジャーナル 一九二九年九月十二日

獨逸鋼産額の二分ノ一以上は、屑鋼を銑鐵より製造せらる。故に屑の價格は品質は平爐作業に於て銑鐵のそれと同様重要な地歩を占むるものなり、平爐の費用が或程度まで屑の品質如何に依ることは既に認められ來りたる所なるが最近獨逸製鐵業者組合の依頼に依り獨逸の諸製鋼工場は協力以て特殊の屑が作業費に及ぼす影響を研究せんが爲實作業の規模に於て大々的實驗に着手するに至れりこの目的は、平爐の作業に對し多様の實價值を有する屑の價格規準を達成せんことを在り平爐に於ては銑鐵の定價を基礎として屑鋼の價格を調節し以て産鋼一屯當りの一定作業費を得んことを

最近エルンスト、カール氏が百二十屯傾注爐二基に就て在ハントロップの組合製鋼工場にて成したる實驗に於ては次の品種の屑鋼を使用せり

- (一) 分塊鋼屑 (Block scrap) — 6x 5x 20mm  
重量約 180kg
- (二) 錆ビザル板屑 (cleansheet) (東ネタルモノ) 約 36.5x 30x 30mm  
重量約 2.204kg
- (三) 錫回收板屑 (defined sheet) (東ネタルモノ) 約 18x 16x 6mm



重量 176封度

- (四) 錆ビザル旋盤鋼屑 (clean steel turnings)
- (五) 一部錆ビタル旋盤鋼屑
- (六) 購入鋼屑

實驗の結果は第一表に示す通りにして(一)(二)(三)(六)の屑の場合に於ては八回、(四)(五)の場合に於ては二回の實驗に依れり

傾注爐は二基共骸炭爐瓦斯を混用して火入されたり

右の資料を、土臺として各種屑鋼の價值決定せられたるが又同時に一定の作業費を得る爲めに屑の價格も一定せられたり此の價格評定は第二表に示せり(獨逸の作業に適用)。屯六五馬克の銑鐵に對して屯五四馬克の錆びざる旋盤鋼屑を右計算の基礎として用ひたり、屯當り七四馬克の銑鐵を以てする場合に於ては前記屑鋼の價格は五一馬克を越ゆることを得ざりき又九〇馬克の銑鐵を用ゆる場合には其の價格は四六馬克の低價を必要としたり

表中の屯は全部佛屯なりとす

銑鐵は出來得る限り熔銑にて平爐に挿入せられ其の分析次の如し

C, 4.42; SI, 0.57; MN, 3.77; P, 0.138; S, 0.03; CU, 0.15.

屑は殆んど全部軟鋼にて、其の分析概ね次の如し

C, 0.08; MN, 0.40;

但旋盤屑は次の如し

C, 0.25; MN, 0.68

第一表 各種屑鋼の平爐作業に及ぼせる結果

屑の種類	(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)
挿入金屬 百分比	七六・四	六六・六	五五・二六	七四・四〇	七九・〇五	七〇・六八
挿入金屬 合計平均 屯	二五・五八	一三・四五	一六・七〇	一三・四七	一六・九一	二五・五七
産鋼一屯當り挿入量封度						
(a) 屑	一、八三四・三	一、六五〇・三	一、三四〇・二八	一、八二四・五九	一、九〇五・二〇	一、六五九・四一
(b) 銑鐵 (銑銑)	四七六・六五	七七・一八	一、〇八・六七	五二六・三〇	四七九・四	六〇・三三
(c) 冷銑	一四・九八	三四・三五	四八・五一	三三・〇六	四八・二〇	一四・八九
(d) 瑞典鑛石 (鐵分六八)	一四・一〇	六・〇七	二八・〇一	六四・七五	一〇・三三	一五・〇五
(e) 滿庵鐵 (マンガン分七三・五)	七・六一	九・八一	一一・七一	一一・三一	八・三三	一〇・五五
合計	二、三四九・四六	二、四七・六三	二、五〇二・一八	二、四五二・一一	二、四六九・四九	二、三三九・二二



(一)(六)	分 屑	五八・五〇	五二・五〇	五二・〇〇
	塊	五六・〇〇	五二・五〇	四六・〇〇
	屑 鋼			

(二)(三)(五)	銑 屑	五二・五〇	四八・五〇	四四・五〇
	銑 ビタル旋盤屑	四九・五〇	四二・〇〇	二九・五〇
	銑 回收板屑	五六・〇〇	五一・五〇	四四・五〇
	銑 ビザル板屑			

熔解時間 (分)	三六〇	三七二	三九三	三四〇	四三三	三二〇
精煉時間 (分)	三七五	三九四	四二七	三八八	四八八	三三〇
製鋼時間合計 (分)	四七三	四六八	五二七	五五四	六一一	四五〇
金屬挿入合計ニ對スル 產鋼百分比	九三・五八	九〇・九四	八七・八七	八九・七九	八八・九七	九三・〇
金屬挿入合計ニ對スル 燒減歩合	四・二四	六・三八	九・六四	七・三七	九・二六	四・五四
鋼一屯當リ石炭消費高 (封度)	三八・九	三五・九	三三・〇	三六・九	四一・四	三九・四
鋼一屯當リ石灰使用高 封度	三・五	三・九	六・九三	七・四一	八・二二	三・〇
鋼一屯當リドロマイト 使用高封度	三・六	三・六	三・六	三・六	三・六	三・六
爐の磨損程度	通常	通常	大	大	大	通常

第二表 屑鋼價格應當り馬克

銑 鐵 六五馬克 七四馬克 九〇馬克



## 經濟の重大化に従ひ層鐵工業新地位を取得す

— 取引簡易化の爲標準設定— 層鐵業者當面の問題— 現今取扱はるる驚くべき噸數—

アイアン、ツレド、レヴェー誌主筆 ジョウジ、エッチ、マンロー

二十世紀の初期に於ける事業混亂の状態より脱出して層鐵工業は今やその指導者の夢想たもせざりし地位に伸展した

此間斯業の先覺者諸氏は、大量層鐵の集聚賣買に従事する人々の組合及協力を一層完備するの必要を感じたのである、組合の計畫は多少大規模のもの多かりしが、多くは失敗に終つた。然れども努力の結果は一つの教訓を與へ、その總括的效果は著しき秩序状態を齎すに至つたのである

斯業現在の發達は恐らく其の第一歩を一九二一年頃に發し、其の以前に於ける我米國の銑鐵生産高は鋼塊及鑄物のそれを凌駕して居た

圖表に就て見るに、一九一一年に於ける後者の生産高は既に前者を凌ぎ、爾來鋼塊及鑄物の生産噸數は銑鐵を凌駕しつゝあつて、其の差は次第に擴大し逐年増大するの趨勢にある

鋼塊の産額が銑鐵を凌駕するは層鐵の使用の増加に起因するものであつて、一九一一年以降の製鋼作業の層鐵利用關係に於ては大いに變化あるを見る、平爐に於ては層鐵の使用割合を逐年増大し、一方電氣爐に於



ては屑鐵のみを用ひて居る、銑鐵を生産せざる或る地方に於ては鋼鐵は殆ど屑鐵のみから製産せられる、その冶金術價値に對する觀念は正に一變して居るのである。

#### 屑鐵使用量増大しつつあり

屑鐵の使用を増大するは只製鋼業のみではない。その製産に銑鐵の外は用ひなかつた鑄造工業は自動車用鑄物及暖房器具に對してさへも、今や五〇%乃至六〇%の屑鐵を配合使用して居る。右の二製品は何れも良質の鐵を精密なる分析を要求するものであるが、この要求は既知成分の屑鐵を以て容易に滿さざるもの、様である。

附圖は銑鐵と鋼塊及鑄物との製産比較を圖示するものである。鼠銑と可鍛鑄物との製産比較は統計不完全なるが故、同様圖解の作成不可能である。然し狀態の一般的智識より推せば、鑄造に於ける屑鐵使用の増加率は、鋼塊製造に於ける屑鐵使用の増加と同様である。

圖表は戰時中鋼鐵製産に多量の屑鐵を使用して居ることを教へて居るが、これは銑鐵よりも入手容易にして且何等準備作業を要せざるが爲であつた。戰時以來引續いて屑鐵は多量に使用せられつゝ、あつて近年に至り其の量は益々増大しつゝ、あるのである。

製鋼に對する屑鐵の適合は重鋼屑 (heavy melting steel) 及鹽基性銑鐵の價格表に依つて證據立てられて居る。此の兩者は製鋼原料として競争するものであるが通常鹽基性銑鐵の價格は重鋼屑より一弗乃至二弗高

である、されど時には後者は前者より高價なこともあつて、過去數年間中に於て、此の傾向が數度あつた。一九二九年の初め四ケ月中ピツバーグに於ける重鋼屑の價格は鹽基性銑鐵を凌駕したが、其の開きの最高は噸當り一弗五五であつた。

斯くの如く消費者側に於ける屑鐵の大需要と、金屬加工業方面に於ける生産高の増加とに依り屑鐵取扱業者及仲買人は事業發展の機に際會せるが、同時に其の地位を持續し得るや、又一般産業も雁行し得るやの問題に當面したのである。

屑鐵の重要性は既に戰爭當初に於て認められ、當時政府は販賣し得る點迄價格を調節したものであつた。これは屑鐵工業が水準以上に現はれたる初期であり、又「ジャンク」なる詞が敍事文から消へ初めた頃であつた。工業が密接なる關係を増大するにつれ理解を共通ならしむる詞を以て斯業の標準化に努めねばならぬことが明白になつた。

賣買業者は共通語を話し術語は常に同一事を意味しなければならぬ。然らずんば取引は益々複雑するであらう。故に一九二六年及一九二七年の會議後、製産者、分配者及消費者により屑鐵の標準的分類採用せられ、一九二八年より實施せられた。これが爲、事情頗る明かになり取引上鞏固なる基礎を形成するに力あつた。又本年に於ては聯邦産業委員會を提携する最近設立された屑鐵協會の努力に依り、工業の伸長を阻礙する弊害を一掃せんが爲、取引實施の規則が採用せられた。



新協會創立の目的は斯業を一層良好なる基礎に置き、以て斯業に抱含する一切の要素を善用せんことをするのである、協會は多量の屑鐵を生産し消費する地方に十二の支部を有し又標準分類の基準を、仕事を成す上に一定方針を與ふる規則を有して居る

#### 利用は重要なり

不用金屬（屑鐵）を利用せずして、現在の製鋼噸數を製産せんせば實に多大の努力を拂はねばならぬことを製鐵業者は認めて居る。若し現在熔解せらるる屑鐵の各噸を銑鐵の一噸に取替ゆるにせば、採礦の上、輸送せらるる鑛石二噸を要し、且同様骸炭一噸を要する外、銑鐵の製造に必要な其他の材料を要するであらう、又多くの労働者に一層多くの熔鑛爐を必要とし、尙鐵鑛及石炭の消費をより迅速ならしむるであらう

屑鐵の集聚及賣買は、直接の取引に依るよりも仲介者によるの便なること明かである。仲介者は生産消費の兩者に對し原料賣買機關を設置するの要なからしむるものである。斯の如く屑鐵工業は國土の天然資源の保存上貴重なる地位を占めて居るのである

合衆國に於て各年消費された屑鐵の噸數を算當する爲には多大の努力が拂はれたものである。抑も此の計算は製鋼高の如何に依るものなるが爲、一定噸數を算出することは出来ないが、本年に於ける歴延工場能力の概算を以てすれば、屑鐵消費量は總計三〇、〇〇〇、〇〇〇噸乃至三五、〇〇〇、〇〇〇噸に算定しても

誤りは無からう。一九二九年上半期の數字を見れば、銅塊が銑鐵の製産數量を七、三二九、一五八噸凌駕して居るが、之を一箇年間に見れば一四、六五八、三一六噸の開きとなる。然しながら、これは現時消費されたる屑鐵數量の半數より以上を表示しては居ない。何故なれば此の外數百萬噸を消費する鑛造所其他の分を含んで居ないからである

#### 輸出されたる多額の屑鐵

屑鐵工業も時に窮乏の時代に遭遇することがある。鋼の使用量増大するにつれ、自然屑鐵の製産を増進するも、時には一時的拂底を現出する時期がある、供給が常に需要に應し得るや否やは斯業に取つて利害關係ある問題である。歐洲に於ては其の需要に應し得る程十分に製産されず、従つて輸入者たるの地位にある。合衆國は歐洲並に日本に多額の屑鐵を輸出して居るが、其の數量は年々増大して居る。一九二五年の屑鐵輸出高は八二、〇〇〇噸、一九二八年には五〇〇、〇〇〇噸以上に増加した。この噸數は國內取引に於て動いた全數量に比すれば僅少に過ぎないが、兩三年中には相當數量に上るであらう

屑鐵の使用増大と共に品等別嚴密となり、従つて取扱者のこれに關する仕事以前より複雑になつて來た。標準類別の採用に次いで、生産者及取扱者側に於ては、仕様書通りの原料を供給するの重任を荷ひ、消費者側に於ては其の必要品を注文通りに間違ひなく手に入れることが出来るやうになつた。現時の重鋼屑の二大等級は一般に認められて居り且熔解者はその仕様書を嚴格に遵守せんことを主張して居る。合金鋼が自



動車其他の製造業方面に使用されるやうになつたので、又新に問題を惹き起して居るが、未だ解決されない、普通品より大なる價值を有する之等の鋼は混合に望ましからず、從て其取扱ひを一般用の屑に別になければならぬ。此の種の鋼の使用増加しつつあるを以て又此の方面よりの屑鐵の生産は此の品を特別化してもよい丈の數量に上つて居るので、取扱業者は之を特に各種の規格品に分類して販賣するだけの價值があるものであるが、將來には多分實現されるものと思はる。

### 屑鐵業の伸長

デーリー・メタル・トレイト紙 一九二九・八・二所載

—— ニューヨーク・バング曰く「製鋼時間の短縮、成品の良質等  
經濟上の事由に因り製鋼業に對する重要性益々加はる」と——

製鋼業に於ける屑物回収の重要なことは左の事實に徴しても之を知るを得べし即ち五億弗を越ゆるに評價される約三、四〇〇萬屯の屑鐵 Scrap Iron & Steel が毎年製鋼工場、熔鑛爐及鐵工業に使用されて居ること、國立商業銀行 National Bank of Commerce の事業調査に表はれて來た、製鋼業に依る屑鐵の使用はそれが甚だ經濟的であること即ち時間の節約及劣悪なる銑鐵の使用を排除して製造された鋼同等優良鋼塊を産出し得ること等の理由で年々増加して居る。

### 時間的要素の重要

今日製鋼業に於ける發送に對する競争乃至壓迫の點より觀るも各工場が其の能力の八五%乃至九五%作業する點よりするも屑鐵使用によりて節約される時間的要素は重要な分子である。銑鐵の傾向に鋼生産の傾向との間の擴大された Cash を考慮すべきである。一九二八年に於て鋼塊生産高は銑鐵産出高を超過すること實に一二、〇〇〇、〇〇〇屯に上る加之屑鐵の消費高は増加し且銑鐵に付て製鋼業者は其の大部分を自給して居るから銑鐵の商業的取引高は相對的に重要性を減じて來た爲に屑鐵價格は活況に需要の波動に應じ多大のインテレスト Interest を有する事となつた斯くて銑鐵の價格の動きが緩慢なるに反し屑鐵は變動に對しては極めて敏感であるのが今日迄の状態である。ピツバークに於ける Heavy Melting Steel Scrap の價格は一九二八年の低値一四弗五〇仙より一躍して一九二九年一月の一四弗七五仙に上騰し始めた。

### ストックの廻轉急速

昨年冬期に於ける暴騰の原因の一部は材料の僅少に在るが他の一部は商人が將來の取引に充當する爲に競争的に引合を出した爲でもある、屑鐵商が在庫品の急速なる廻轉率を見込んで居たから材料の品薄となつたのであるが其の結果此期に於ける需要は過去の冬期に比すれば正常でなかつたこと明かである、從て値段は需要が満ちる迄一路上昇を辿るべくしかも一旦需要を満すか又は需要が減退せんか深刻なる恐慌を伴ふべし。

過去四年間に於ける屑鐵の輸出は飛躍的に激増し一九二五年に比すれば一九二八年は約六倍を越ゆる數に



上つて居る、即ち一九二五年は本國より積出された屑鐵は八二、五〇〇屯であつたのが一九二八年には五一六、〇〇〇屯以上になつた、同時に輸入は減退した。而して米國屑鐵の主要なる購買者は加奈陀、日本、伊太利、波蘭土等である、歐洲に於ては自動車發動機、飛行機類の製造増加が豫期せらるるを以て今年は製鐵業を刺戟するに疑なく従て屑鐵の需要も生ずべし、斯くて屑鐵の輸出は一九二九年に於ては前年よりも更に増加すべく豫想さる。

#### 屑鐵の重要性増加

世界に於ける鐵鋼の使用増加の大勢を見れば利用屑鐵の供給は増し年々共に益々重要性を加ふるに明白である、屑鐵の産出源泉は原則として鐵鋼生産者自身である而して材料の主要提供源は鐵道及自動車、發動機類、飛行機類の製造工場、建築工場、解體船舶等である。屑鐵の収集及販賣の努力に對する充分な報酬を保證する爲に商人は集めたる材料を仕譯して品種及寸法に依り之を等級別にする、此の選別は寸法、品質、燐の含有量等に依り種々雑多の種類となる。

屑鐵工業の資金は多額に運轉するが現金としての流通高は僅少である。

消費の中心地に於ける大工場を除外すれば商人が機械其の他の設備に投資して居る額は比較的小なるものである、投資されたる資金の大部分は現物取引に使用されて居る。之在庫又は滞貨を避けて急速なるストックの廻轉を營業の性質とする所以である。諸種の供給源から収集した商人が屑鐵を一旦積出すや恰も鐵道が

それを運ぶが如く迅速に運轉する、或る大中心地の商人に積荷が賣られるならば其の商人は十中八九までは該品の到着前にそれを轉賣して居る、屢々其の仕向地は途中で變更されそれを買ひ更に賣つた中間商人が現物を見ないで直接消費者に轉送される。

#### 協會の設立

諸種の營業上の問題と共に變動極りなき價格の標準及不當不正の營業行爲が最近屑鐵協會の設立を促すに至つた有力原因である。屑鐵業の重要性が加はるに隨つて斯業に於ける諸問題を攻究し統計を集め其の他斯業を振興し強固ならしむる種々の問題を取扱ふ中心的機關が要求さるるに至つた、此の協會のプログラムは下記の如き具體的目的を帯びて居る。

それは商人側及工場主側の兩當事者に於ける不當營業行爲を廢除することを希望するものにして、實に賣主が可なり利益を受け然も注文されたものを正確に入手することを買主に保證せんが爲である、此の機關の結果を觀んごするは餘りに性急に失するが、此の協會が長い間の希望に満足と與ふるであらうと云ふことは世の齊しく認むる所である。



## 新嘉坡及其附近の主要礦產資源 上に於ける位置

### 一、概 説

特殊の場所の位置は往々にして非常な重大性を帯びることがある。此の重大性は無論運輸交通の變遷に共に變るものであるが、又或場合に於ては幾世紀間も持續することがある。喜望峰より印度航路の開通以來、ヴェニスの中世紀に於けるが如き位置を大いに失つた、鐵道が河川用汽船に代つてから、セント・ルイスの位置はシカゴの次に落ち一方ミシガン其他の大湖は一大貿易通路となつた。テームス河の河口にある倫敦は、前羅馬時代からの重要中心地であつて、將來尙此の位置を保つ見込がある。又空中旅行がさう世界の商業地理に影響を及ぼすかわからないが、ハドソン河の河口にある紐育は現在の位置を動かす事が出来ない。英領ジブラルタルは、二平方哩の面積に過ぎないが之で以て地中海の吞吐口を支配するに足る。

未來のある大洋たる太平洋の二大門口は巴奈馬と新嘉坡である。吾々は戰爭の爲にさういふより平和の爲に望んでゐるが、合衆國は運河地帯に於て五五三平方哩の面積を有し、前記二大門口の一たるパナマを所有してゐる。太平洋のその向ふ側に英國領土の前哨たる新嘉坡が横はつてゐる。

太平洋及他の諸洋との間に交易する船舶は、此の二門口の中の何れかを通過せねば貿易は遠廻りで且つ失



費の多い航海を敢てせなければならぬ。それ故、新嘉坡は世界の重要中心地の一にして、それを支配してゐる。産業其他の勢力、將又其處に住居せる人民の資源は、考究するに價値のある題材を提供するものである。此言はねばならぬ。

新嘉坡地方を口にする時、吾人は普通先づ英、蘭、日、米の諸國間の利害關係を中心にして考察する。此の海峡に關しては此の四箇國が重大な地位を保つてゐる。勿論であるが、一方に於て馬來人種が壓倒的多數を以て其處に住居してゐることは看過すべからざるものである。現今に於て馬來人の政治的活動は、此の四箇の局外者に依つて支配されてゐるが、果して之等少數の外國人が、土民が之等少數者に支配されることを好まない場合に、永久に統治の地位に居れるか否かは未決の問題である。併し之等は未來に研究すべきもので、今之等の問題を取扱はうは思つてゐない。又余の此短かい論說では新嘉坡附近の動植物的富源を取扱はふとも思つてゐない。唯只管に注意を鑛産の資源に傾注したのである。

今や西洋諸國の特徴たる文化を發展せしめ文化を維持するに最も重要なものは鑛産資源である。鑛物は近代文明の成長を養育する食料である。生活を裕かならしめ、永久的富を造るに絶對的に必要缺くべからざるものである。世界に於ける萬代不朽の物質的富財も實に鑛物から成つて居るのである。従つて新嘉坡附近一帯が西洋的文明の重要中心地となり得るや否やを考察するに當つて、先づ充分な鑛産の供給の存否が重大な問題となる。且又此の一大商業門口（新嘉坡）が附近鑛物界に如何なる地理的關係にあるかが重大なる問題である。

題である

扱て戦争及び平和の兩者に對して國際間の軍略上の鑛物の役割は三種に分けられる。先づ第一には石炭、鐵の如き所謂「噸數鑛物」であつて之は近代工業に廣く用ひられてゐるから、之がなければ戦争は出來ないから、何うあつても平和を保つてゐなければならぬ。第二には、銅、鉛の如き所謂「封度鑛物」であつて非常に重要で又有用なものでもあるが、或價格で買ひ入れることも出來るし、短期の戦争に充分な量は貯へて置くことも出來る。第三には白金、金の如き所謂「オンス鑛物」であつて、必要缺くべからざるもので、高價なものではあるが、充分な信用がありさへすれば、戦時でも必要なだけの供給を密輸入することが出来る。或地帯の鑛物を評價し、之を分類する場合、吾人は勿論現在の産物工學の見地から論ずる外はない。最も工學は將來變遷するかも知れないが、それも現在の工學が發達せるものである。

## 一、馬來諸島に於ける鑛物

現在では馬來地方の鑛物で最も著しく國際貿易に貢獻してゐるものは、「封度鑛物」の一たる錫、「噸數鑛物」の一たる石油である。錫は、世界産額の六〇パーセントを産出し、質から云ふても他の諸外國の標準を定める等級のものである。又石油は世界供給の二パーセント位を産する。その産出額は年々漸次増加してゐるが全體としての世界産額に對する割合は依然として同じである。錫は主として、北は南方緬甸より暹羅及び馬來半島、バンカ島、ピリトン及び蘭領シンケップに亘る地帯に産出する。從來該産物は主に沖積鑛床



(或は含鐵砂利)から採取したものである。今の所、之等沖積鐵床が盡きても、現在の産出額の割合を支持して行くだけに充分な鐵脈は未だ発見されて居ない。で結局、將來此の地域は世界の鐵界に於ける優越な地位を失ふやうになるだらう。

次に石油の場合之は之と全く異つて居る。これ迄、スマトラ島に於ける油田は、東洋市場に對する高級原油の産地としての戰略的地位を利用せんが爲めに巧に儉約されて來た。アメリカ産業の一大發展に伴つた様な、非常に競争的な又經濟上浪費的な手段は、印度諸島では行れなかつた。而して、此の石油界に於て、蘭英共同の事業は勿論今は亞米利加人の事業もあるが、今迄の様な保守的の道程が將來も續くだらうと云ふことは、人々の期待し希望する所である。東印度諸島全體及び比律賓群島には他所の石油を産出する岩層と同様な岩層地帯があつて、石油の産出見込がある。

比律賓では今迄に唯一の冒險事業が行はれ指導も宜かつたが石油を発見するここが出来なかつた、然れども恐らくは石油に對する世界の需要が増大するに従つて、新嘉坡附近から出る石油量はもつと大なるものになるだらう。暹羅と馬來半島の諸地方にては、石油産出の點で重要なものになる見込は恐らくないであらう。

次に近代工業に奇蹟を行ふ雙子とも云ふべき、二大礦物の石炭、鐵に就いて云へば、馬來附近諸島は決して缺乏して居るのではないが、現在の製造方法しか用ひられない以上、世界の貿易及工業に於て馬來諸島が

重要な役割を演ずるやうになることは考へられない。殊に石炭は産出額に於ても遙かに少く、實に於ても期待して居るやうに満足なものではない。唯馬來聯邦州に一と比律賓群島に小さな鐵山が數箇所あるに過ぎない。諸島に於ては終始一貫努力もなし、實に多くの公的資金も投じたのであるが、遂に相當な炭坑も特に目立つた炭坑も、發掘されて居ない。比律賓諸島及馬來聯邦州にしても又暹羅にしても、大石炭脈が發見されるこゝか、近代鋼鐵工業に必須缺くべからざるコークスになる石炭が大量に發見されるこゝか云ふことは、到底あるまいと云ふことは、地質學上から充分に之を知ることが出来る。量の點から云へば蘭領東印度諸島及びボルネオ島には、石炭があるのはあるのだが、一般に、加熱價値の弱い燐の石炭であつて經濟的に燃焼するには何か特殊な装置が必要である。これ迄之等の石炭から製鐵、製鋼に使用するコークスを造らうと種々研究もされたが、皆失敗に終つて居る。

比律賓群島及蘭領東印度には、大なる鐵鐵床があつて而も採掘運輸に便なる位置にあることが知られて居るのであるから、石炭が缺乏して居ることは誠に遺憾のこゝである。一方に於て硬鐵鐵も相當あるが何億噸に達する大鐵床は紅土型のものであつて、その價値は玖馬島に於て最初認められたものである。かくの如き鐵鐵を、熔鐵爐に用ひんとするには準備手續が必要である。最もこれは、極東に於ても玖馬島に於ても鐵鐵床が地表に出て居り採掘費用が安價であつて又海洋に近く、便宜な地にあるので、一部分相殺されて居る。

此の鐵鐵が多く使はれない理由の一つは、此の鐵鐵の中に、ニッケル及びクロムが混つて居るこゝである。



る。此兩者が、鐵礦に種々の用途に適する性質を與へる様な正確な割合で混合して居ないこと、其鐵礦から出來る鐵は變質して終まふ。斯くの如き鐵礦からは特殊の鐵や鋼鐵が出來、用ひ様に依つては鐵道製作の如く、特別な價值のある場合もあるが鑄造や鐵板、船板製造には餘り好ましくない。之等の次生金屬を取除いて、價值ある副産物にしたいと種々研究されて居る、斯くの如き工學が實地行はれる様になつたならば、馬來諸島は世界の鐵供給に大なる貢獻を爲す様になるかも知れない。それ迄は日本や北支那へ塊狀鐵礦を積送する位の見込しかない様である。

熱帶地方では紅土と同様鐵礬土が最も普通に見られる。アルミニウムを出すこの鐵礬土が、馬來附近諸島に廣く散在してゐるのは分つてゐるが、その分布状態が何うであるか又其鐵床が利用し得べきものであるか何うかに至つては、未だ適當な觀測が一つもされて居ない。水力事業が此の地帯に發達すれば、必ずや、世界の重要な供給産地となり得るかも知れない。又此の地方には滿庵も産するが、果して此の地帯の需要を滿たす以上に多量であるか否かは、未だ明かではない。

次に錫は既に述べたから除いて、銅、鉛、亜鉛及其他の所謂「封度礦物」に就いて一言しよう。之は廣い範圍に亘つて散在してゐるのであるが、世界的に必要な鑛山や地方もないし、又格別顯然たる見込もない、次に「オンス礦物」の場合は之と全く異つてゐる。金、白金、銀は勿論ダイヤモンド等に到る迄皆産出する。既にスマトラ島には、實に大なる金鑛が三つに滿庵、銀の鑛山が開かれてゐる。比律賓群島及その他の諸島

に於ても稍小さい鑛床が探掘されて居る。稀少な高價な金屬の鑛脈がちよいちよい發見されるから、此の地帯の住民の購買力をそれだけ増加して、貿易の發展を助けるであらう。

### 三、結 論

約言すれば、概して此の地帯の鑛物鑛山は、種々あつて又實際世界の貿易工業に貢獻する様にもなるであらう。石油石炭が他の地方と同様に水力に依つて補足されるやうになつたならば、人々の腕は伸び、手には力が出來て、活動の源泉が與へられるであらう。新に工學が發達しない以上は、大鐵鑛があるにも拘はらず、鐵及鋼鐵工業の大發展は望まれまい。此の地帯は恐らく輕金屬の重要産地となるであらうが錫、クロム、ニッケルを除いては、普通の非鐵金屬の産地にはなりさうもない。併し少くも滿庵その他の小金屬も相當に産出し、依然として金、銀、ダイヤモンドを世界に供給するであらう。馬來人か又は馬來人を支配する人々が之等の資源を以て何を造り出すだらうか云ふことは研究の範圍を異にしてゐる。

現在の所、何と云つても馬來附近が鑛物上重要なものは、此地方が優秀なる錫の世界的重要産地であるが爲である。錫は無毒で食料容器の製造に適してゐるから、現代生活には特に必要である。近年食料品の貯藏及分配に就てやかましくなつたので、金屬的容器にまつて種々の利益がある。而も錫を措いて他に満足し得べき代用品が未だに發見されてゐない。その需要増加は、地理學者や技術家が新供給を作り出すの間に合はぬ程速い。彼等學者や又代用物を開發しやうと努力してゐる研究家は共に今迄の鑛床が盡きること競争して



居る様な次第である

此地方の第二の重要な特色は人口稠密なる極東の中心に唯一の大石油礦田が在るに在り。西洋風の生活様式が一般に用ひらるゝ様になればなる程、此の油田は益々貴重なるものとなるであらう。ニウ・サウス・ウェルス及び印度や支那の中間に位するスマトラ島の石炭田は少量であつても、軍事上の利益を占めてゐる。工學の發達に伴れて石炭は質が悪い云ふ不利の條件も除かれるだらうから、結局は炭田が油田よりは重要なものとなるであらう。又量の點に就いて考へれば何うしても石炭は石油よりも重要なものになるやうである。何故ならば石油が少なくなつて來ても石炭は尙依然として豊裕にあるから

併し長年の後には結局は、之等の礦物の中で最も重要なものとなるのは鐵礦であらう

現在の状態では非常な不利な條件にあるが、斯くの如き大なる世界的に最も重要な金屬の鑛床を有して居る以上、たゞへ質は悪くても何時かは必ず役に立つであらう。又馬來諸島の工業が如何に合成的發達を遂げて馬來諸島の鐵鑛が世界に需要される様になるのには、此特殊なる地方に鑛物が在るに無いか云ふ様な事は、全くかけ離れた幾多の世界的原因が無ければならない

本稿は本年七月「フォリン・アフェイアス」誌記載の「Singapore's Control of Key Mineral Resources」  
by H. Foster Bain を譯述したものである（臺灣時報）



## 波蘭の勞働賃銀は日給一弗以下

（但し勞働者は石炭其他物資に依る諸手當を受く入製鋼所に米國の投資）

アイアン・エイジ・一九二九年 八月二十九日

商務省鐵鋼課次席ダブリュー・エツチ・マイアー氏は波蘭の製鋼業に關する報告中に左の如く指摘せり「最近米國の財團が波蘭鐵鋼業の主要會社に投資し以て其の大部分の株を取得せることは歐米の斯業間に注意的のみなれり」鐵鋼の生産及輸出國としての波蘭の状態は報告中に概説せられ又國際鋼カルテルに對する波蘭の態度並パイプ及スクラップに關する獨逸との協定に付ても敘述せらるる所あり現在波蘭の四大製鋼所即ちビスマルクヒュツテ、クロレウスカエンドラウラ、ファウンドリー、バンクファウンドリー及ソスノウイクパイプワークスは國際チューバルテルに加入し居れるが同カルテルの組合員に與ふる相互の地域的保護も又波蘭の諸會社を抱合せり而して波蘭の國內販賣に付ては制限なきも對外輸出の割當に關しては之を制限し居れり

同報告には又波蘭に於ける雇傭情態及勞銀に付ても敘述せらるる所あり左の如し

波蘭製鐵業者組合に加入せる諸會社の傭役人員は一九二七年一月末現在三九、四八〇人、同年十二月末現在四四、七一六人、翌一九二八年十二月末には五二、七五三人に増加したり

勞働問題は生産費に主要なる關係を有するが故に波蘭に於ける工業勞働者の所得を詳述するの必要なきに



あらざるべし次に一九二七年の賃金を示せり一九二八年の數字は未だ詳ならず  
全波蘭工業界に於ける労働者一人當り現金に依る平均日收は殘業賃銀を含み次の如し

- 鋸 鑛 爐 ○、九二五弗
- 製鋼工場 ○、九二一弗
- 壓延工場 ○、九九一弗

キエルス及クラコウ地方に於ける工場労働者の日收は前記の數字以下にして一方波蘭上部シレシヤに於ける労働者は全國の平均日收以上を受く、而して此等の數字は熟練工未熟練工を含む全労働者の平均を示せるものなり、熟練工に支拂はれたる賃銀に關しては次の現金平均日收より其の概念を知るを得可し即

- 鋸 鑛 爐 | 火 夫 | 一、三〇三弗
- 製鋼工場 | 火 夫 | 一、三一五弗
- 壓延工場 | 熟練工 | 一、四二四弗

最高平均賃銀は波蘭上部シレシヤに於ける製鋼工場火夫の一日一、七二二弗なり

現金賃銀の外に労働者は慣習的に石炭及其の他物資に依る諸手當を受く然れども此等の賃銀は現金賃銀の

三・一%に過ぎざるを以て亞米利加の目より見れば實際の賃銀率は低率なり云ふを得べし

尙興味ある事實として此處に總賃銀の七%強まで労働者の所得より控除せらるるものあり、こは健康保

險、失業保險、労働者共有基金、所得税其他に充當する爲め控除せらるるものなり

### 米 國 の 投 資

新聞紙は最近數ヶ月内に波蘭の最も重要なる二三會社の株式に對し相當大なる米國資本の投資を報ぜり其の會社次の如し

The Bismarkhütte, the United Krolewska and the Laura Foundries.

ビスマルクヒューテはビスマルク及ベスレンフォルバ工場を經營し又同時にマルタ及ヒウバアータス工場を經營するカトウイス マイニング アンド メタル カンパニーの全株を所有せり。シレシヤ工場を經營するシレシヤ會社も亦ビスマルクヒューテ會社の所有する所なり

ユーナイテッド クロレウスカ エンド ラウラ フワウンドリーはクロレウスカ ラウラ及びヅゴダの諸工場を經營せり

斯の如く米國の投資を受くるもの八工場を數ふ此等投資の重要なるは投資工場生産高の全波蘭生産高に對する割合より之を察知し得べし

次の如し

- 鉄 三九・八二%
- 鋼塊及鑄物 五〇・〇一%



鐵鋼管	壓延品
五六・四八%	三九・三七%

### フランス國冶金工業概況 (一九二八年)

(昭和四年八月十日附在フランス河合臨時代理大使報告)

今般一九二八年度佛國冶金工業に關する當國鐵工場委員會報告書發表せられたり其抄譯左の通り

一九二八年度(以下本年)佛國冶金工業は著しき發展を爲せり、本年鑄鐵生産額は千九萬七千噸に達し、一九二七年度生産(以下前年)額(九百三十二萬六千噸)を超過するこ七十七萬千噸又鋼は九百三十八萬七千噸にして、前年の生産額(八百三十萬六千噸)を超過するこ三百八萬千噸なり

毎月の生産額は相當規則的に發達せり、即ち鑄鐵生産額は本年一月八十萬九千噸に對し本年十二月八十八萬噸又活動中の鑄鐵爐は本年一月一日一四四に對し本年十二月末日一五三に増加せり。鋼は本年一月七十五萬三千噸に對し本年十二月八十二萬八千噸に増加せり

佛國の主なる冶金工業品の輸出額は税關の統計に依れば、本年四百四十二萬六千噸にして、前年輸出額(四百九十七萬六千噸)に比し可成り其額を減じたり。右輸出の減少は國內市場の需要の増加を示すものにして、蓋し佛國消費工業恢復の一證左たるべし

佛國冶金工業品の内國消費の生産に對する割合は六一%なるが、其他の諸國に付て之を觀るに、戰爭に依り何等領土的變更を受けざる米合衆國及英國は右割合は大體變動なく、寧ろ多少増加の傾向あり。本年は米



九六%、英八六%なりき。反之戦後關稅の見地より領土的變更を爲せる歐洲大陸諸國は、消費と生産との關係大に變化せり、例へば、白耳義ルクサンブルグ經濟同盟の本年の消費額は生産額の二八%なりしが、之を一九一三年度白耳義のみの四三%に比すれば消費額大に減じたるもの云ふべく、又獨逸は一九一三年度七二%に對し本年八五%にして戦後却て消費の割合増加せり

銑鐵の世界生産額は一九一三年度七千八百萬「メートル」噸に對し前年八千四百萬「メートル」噸、本年八千七百萬「メートル」噸に増加し又鋼は東方歐羅巴の五大生産國（佛、獨、英、白及ルクサンブルグ）の一九一三年度三千四百萬「メートル」噸に對し、本年四千百萬「メートル」噸、他の歐羅巴諸國一九一三年度九百萬「メートル」噸に對し本年千二百萬「メートル」噸、米合衆國一九一三年三千二百萬「メートル」噸に對し本年五千二百萬「メートル」噸、世界産額一九一三年度七千六百萬「メートル」噸に對し本年一億九百萬「メートル」噸に増加せり

右に擧げたる世界産額殊に佛國に關する數字は歐羅巴の冶金工業家が歐羅巴に依然存在する財政的困難を考慮し、全體に於て慎重なる政策を取りつゝあることを示すものなり。他方米國は本年鋼七百萬噸の生産を増加せるが、右は全部内國市場に依り吸集せられたり、而して萬一米國の内國消費の危機に陥る場合には、同國鐵工業品の販路を海外に求むるの途を講じ得べし。尙此點に關しユー・エス・スチールコーポレーション及ベトレーム・スチールコーポレーションの二有力團體が、其生産品の外國に於ける販賣に關し最近協定

を締結せることは注意に價すべし

佛國製鐵業者は外國市場に於ける競争の將來一層困難なるべきを豫想し、本國及殖民地市場の發展並元價の引下に主として力を盡すの已なきに至れり

既述の如く佛國の冶金工業品の消費は、本年著増せるが然も一人當の消費量は米合衆國四三〇「キログラム」に對し、佛國は僅に一七〇「キログラム」に過ぎず、斯るが故に佛國冶金工業者は本年十月金融機關、建築業者團體、鐵商團體等と協定して、鋼消費に關する文書の蒐集及冶金工業品の利用の増加を主たる任務とする鋼利用技術局を設置せり。左に鐵工業品の元價を構成する諸要素に付略述すべし

コークス コークスの價格は銑鐵の生産費の過半を占むるが故に、コークスの價格の變動は製鐵業に重大なる關係あり、依て佛國製鐵業者は同國炭坑業者と提携し、以て安價にコークス供給の途を得るに共に、炭坑業者に對し確實なる販路を提供しつゝあり

佛國 炭坑のコークス生産額は本年四百四十萬噸にして、一九一三年度生産額の五〇%超過す。獨逸より現物賠償としての引渡額はコークス三百八十一萬噸、コークス製造用石炭七十七萬三千噸にして又白耳義及和蘭よりの供給額は百四十三萬七千噸なり

鐵礦 鐵礦の採掘は著しく進歩し、前年四千五百四十二萬六千噸に對し、本年は四千九百萬八千噸に増加せるが、右の中國内消費量二千六百萬噸、ラ・ザールの消費量六百萬噸、輸出量七百萬噸なり、勞働者一人



の毎月の平均生産額は佛國全體にて前年は百五噸七に對し、本年は百七噸五に増加せり

鐵屑 大冶金工業國に於ける鐵屑の需要は頗る増加し、殊に佛、獨、英、米の諸國は之を鐵工業に使用する量夥し、依て歐洲諸國は何れも鐵屑輸出制限の手段を取り居るも、佛國は此點に關し割合に寛大にして多量の鐵屑の輸出を許し居れるが爲、本年は右價格頗る騰貴せり。依て佛國冶金工業者は、政府當局及關係業者と協力して鐵屑の供給を保障すべき解決策の考究に努めたり

運賃 鐵工業品の運賃は頗る高率なる爲、鐵工業者は之が減額を得んことに努め居れる處最近鐵工業品に對する基礎運賃研究の爲、大鐵道運賃委員會委員及冶金工業幹部委員會委員より成る委員會組織せられたれば、鐵工業品の輸出運賃の減額に關する協定成立の日遠からざるべし

課税 冶金工業に對する課税は頗る高率なる爲、同工業の發展を阻害するこゝ甚だ大なり、右に關し冶金工業聯盟の前年の調査に據れば同年の冶金工業に對する課税額は、取引額の四%二、資本金の九%七一、從業人員の給料の一八%、株主に對する配當の一五九%にして右額は一九一三年度課税額の四十七倍なり

社會的負擔 租税の重課に加ふるに近々實施せらるべき社會保險法に依り、冶金工業者の負擔は一層増加すべく、爲に同工業の大なる反動を生じ得べし

關税 佛國に於ては機械工業品に對する關税の引上を必要とする折柄なるに拘らず、本年三月二日の法律は、鐵工業品の殆ど全部に對し戰前の税の僅に平均六〇%に相當する減税を維持するこゝを規定せり。他方

本年八月一日の佛國海上金融に關する法律は、商船の建造艤裝等に利用せらるゝ物品（加工せるものも否もを問はず）の輸入に對する關税の免税を規定せるが同法律が果して現在の佛國造船業の窮狀を救済し得るや否や疑し



## ザール地方の製鐵業狀態

アイアン、エンド、コール、トレード、レビュー 一九二九年八月二十三日

獨逸はザール地方の再合併問題を再び強調しつゝ、あるが之れに關し同地方の一般政治經濟事情に就てフェルクリンゲンのレッヒリングシエー鐵鋼合同會社年報中に興味ある記事を掲載せり

該年報の報ずる所に依れば一九二八年は一般狀態徐々統制せらるゝの徴を示せり

而して「ザール地方の實業家連が全員一致獨逸に復歸を願ふと同時に又ヴェルサイユ條約に依る混同狀態より離脱せんとの希望を抱けること」は佛蘭西朝野の多數人士も漸く之を認むるに至れりと思惟するの誤りなきは佛蘭西政治家が感得せる覺醒の事實に依り明かなりと報せり一方ザールの實業家は、獨逸への復歸は多くの利益を齎らすと同時に又多大の重荷を課せらるゝの結果となるべきを自覺せるも然も同地方實業家の何人も西隣國の政治經濟的保護の羈絆より結局脱出する爲には斯の如き重荷を忌避するが如き者無しと信せり一九二七年ザール製鐵所に於ける勞資間の賃銀協約満了に伴へる爭議は一九二八年迄持ち越され遂に新賃銀協約の締結を見るに至れるが其の有効期間は本年九月三十日迄となせり本協約の下に於て一般賃銀は一九二八年九月一日より四パーセント一九二九年一月一日より更に一パーセント増進せられたり此の賃銀増額の爲めに經濟上の負擔重きを加へたるも尙本協約は罷業を見るより優れりとなせり、鐵鋼業の賃銀規則に關聯



して佛蘭西鑛山管理所に於ても亦新賃銀の交渉開始せられ結局協定せられたるが此の協定に依りて鑛山管理所は骸炭用炭價を著しく引上ぐるの余儀なきに至り爲めに鐵鋼業との間に葛藤を惹起したり、此の紛議は、政府委員の仲裁ミ炭山及製鐵所の一般狀態審査専門家の力ミに依り一九二九年三月廿五日漸く落着するを得たり

鐵鋼の産額

過去二ヶ年に於けるザール地方の鐵鋼産額狀態次の如し(噸)

銑	一九二七年	一九二八年
鐵	一、七七〇、七二八	一、九三六、一八四
鋼塊	一、八九四、六二九	二、〇七三、〇五一

昨年の産額増加せるにも拘らず尙ザール地方の鋼産額は一九一三年の産額に比し爾來一度も増加を見ざる世界に於ける唯一の産鋼國なりミす次表の如し

世界の産鋼高 (千噸單位一九一三年を一〇〇とす)

獨逸	一九一三年	一九二八年	百分比
	二一、一八三	一四、五一七	一一九
ザール地方	二、〇八〇	二、〇七三	一〇〇

ルクセンブルク	一、三三六	二、五七二	一九三
白耳義	二、四六七	三、九三四	一六〇
佛蘭西	六、九七三	九、三八七	一三五
英國	七、七八七	八、六六二	一一一
合衆國	三二、八〇二	五二、二二六	一六四
其他	一〇、三七二	一六、四二八	一五八
世界合計	七五、〇〇〇	一〇九、七八九	一四六・五

昨年十一月及び十二月の交に於けるウエストファリアの工場閉鎖が同地方の生産高を約百二十萬噸減殺したるに反し當時ザール地方は別に紛擾も無く無難に過ぎたる事實を計算に入るる時にはザールの製鐵業が獨逸並に特に西方の製鐵業に比し如何に不満足なる地位にあるかを語るものなりミす

此れに關聯して同年報は次の如く指摘せり。大陸粗鋼カルテルに加入せる諸國の生産高の増進狀態は獨逸のみならずザールに對する割當額が他國に比し全く不十分なることを明かに示せり一九二八年に於て、一九一三年の生産率にほど到達したるザールの製鋼所が其の割當超過額に對し罰金を支拂はざるべからざることは實に不公平なる事情に在り之れに反し西方諸國の製鋼所は一九一三年の生産高に比し平均一四七パーセントの生産高を示しながら、殆んど或は全く罰金の支拂を余儀せらるることなかりき。實際ザールの製鋼



所を除ける獨逸製鋼所の團體は其の受けたる割當趣數頗る尠なき爲め、「カルテル」の存期中、獨逸團に對しては、事態を破壊點まで導かざるやう特別の規則を設くるの止むなきに至りたり。兎に角、カルテルの更新に際しては獨逸のみならず、ザールの製鋼所に對する割當額は他國の割當額を參酌して再調節を必要とするものなり

ザール製品の佛國內販賣に關する佛、ザール間の交渉に就いては一九二八年末迄には遂に落着を見ざりしが又ザール市場の區分に關しても何等の了解を見るこゝなかりき然れども本年四月に至り交渉は遂に成立しフェルクリンゲン及ハルバークのザール二製鋼所は二者合計六萬噸を佛蘭西に供給し得るこゝなれるが内三萬四千噸は自由市場に二萬六千噸は賠償勘定に於て供給するこゝこなれり

レツヒリング製鋼會社の一九二八年收益次の如し

	一九二八年	一九二七年
純益	一四、一一〇、〇〇〇法	一六、四五〇、〇〇〇法
配當	一割五分	無し

### 歐洲炭礦業の賃銀

「ステーチスト」一九二九年十一月二日

「國際勞働評論」の本月號には一九二七年に於ける炭礦業の賃銀及勞働時間に關する國際勞働局報告の一部を掲載する所あり褐炭採礦業に關して記載せらるゝ所なし、其の摘要次の如し

勞働者に對しては貨幣賃銀以外に國に依り無料石炭或は値引石炭の物品給與あり或は又住宅若しくは住宅料を支給せらる所あるが歐洲の石炭生産諸國は皆斯の如き物品給與の制度を取れり

尙大抵の國に於ては休日にも賃銀を支拂ひ又既婚勞働者に對しては所謂家族手當を給與す是等項目の重要性は報告中の表に依つて明瞭なるが、英國に於ては是等物品給與の全賃銀に對する割合は僅に其の六・六パーセントに過ぎざるも佛蘭西に於ては一九・四パーセント、ルールに於ては二二・五パーセント、波蘭のドムプロワ地方に於ては二七・九パーセントに増進し居れり、金法に換算せられたる一交代、一年當りの平均所得は其の價值限定せらるゝ所あるを以て之れに依つて確乎たる結論は得られざるも左記一九二七年の國際比較表は強ち興味なしとせず、第一列は一日當りの所得を基礎とし第二列は一年當り所得を基礎とする百分比なり（英國を一〇〇とす）

英國

100

100











を示す數字を計算することを得たるが是等數字は各石炭生産地方に於ける自然状態並に勞働効率の相違を指示して興味あるものなり、而して其の相違は勞銀費に多大の影響を與へ居ることは勿論なりとす  
 一九二七年に於ける坑内勞働者一交代當り販賣向平均産炭額を示せば左の如し(佛馳)

國名及地方	一交代當り	一日當り	一年當り
ベルギー	1	〇、七三七	1
チエコスロバキヤ	1、二四七	1、二七四	三一一
佛國	〇、八四三	〇、八四八	二二六
獨逸	1、三八六	1、四一九	三七一
ル	1、七二二	1、八二一	四七六
上部シレシヤ	〇、八五一	〇、九〇二	二三三
サクソニイ	1、三三三	1、三九七	三二五
英國	1	1、三九〇	三八〇
和蘭	1、八四五	1、九五一	五〇七
波蘭	1、七四六	1、八一八	四六五
上部シレシヤ			
ドムプロワ			

### 陝西省の石炭

(昭和四年九月二十一日附在上海橫竹商務參事官報告)

支那の石炭 支那の石炭は殆ど各省産せざる所なき有様なるが、支那全土の石炭埋藏量は恐らく其九割迄は彼の廣漠たる陝西の盆地に存し、概算二、一〇〇、〇〇〇百萬噸を藏すこ示ふ。之を一九二七年一月海面下二千呎迄の全世界の石炭埋藏量として計上せられたる數字五、四九二、〇八五百萬佛噸と比すれば、實に支那の石炭埋藏量は陝西省の埋藏量は驚くべき數字を云ふべきなり。(Internationale Bergwirtschaft, Feb. 1927) 陝西の石炭に關する詳細の事情は近年迄餘り知られ居らず、一九二五年に北陝西盆地を探索せし支那地質學會の調査に始めて現はれたる位にして、(General Statement of the Mining Industry, by C. Y. Hsieh Special Report of the Geological Survey of China, No. 2, 1926) 當時全支那の石炭埋藏量は僅に二一七、六二六百萬佛噸と註せられ居たり

然るに最近に於て十分信じ得る米國の地質學者エム・エル・フラー(Mr. M. L. Fuller)及エス・ジ・クラップ(Mr. F. G. Clapp)の兩氏が實地北陝西盆地を探索したる結果に依れば、實に二、一〇〇、〇〇〇百萬噸を埋藏し、内四五三、〇〇〇百萬噸は十分採炭の見込有りこの事を知り得たり

兩氏が學術的に此盆地を探索せる此數字は、實に從來支那の石炭埋藏量に付發表せられたるものを凡て根



本より顛覆するものにして、若し兩氏の報告にして誤なくんば實に支那は世界に於て米國に亞ぐ石炭を藏し居る譯なり

而して之を今日迄最も信ぜられ居たる前記の支那地質學會員シエーが全支那の石炭埋藏量二、一八三、四三〇百萬噸と比するときは、其數字は恰も北陝西盆地一箇所の石炭埋藏量と殆ど同じなり

今試に世界の石炭埋藏量と支那の夫を比較するに（支那以外に依るの數字は凡て "Internationale Berwatschaft" 1927 に依る）

米 國	二、七三五、五二七	百萬佛噸
支 那	二、一八三、四三〇	"
英國及屬領	一、一三八、二〇六	"
獨 逸	一八〇、八〇五	"
蘇俄聯邦	一六六、四九三	"
ポーランド	一四八、〇七五	"
其他各國（計）	三〇、〇〇〇	"

而して前記 I. B. 誌に依れば世界の右埋藏の内四七〇、四〇七百萬噸は採炭可能とせられ居るに、茲にフルーラー、クラップ兩氏の計算に依れば北陝西盆地のみの夫は四五三、〇〇〇百萬噸とせられ、實に世界石炭

界に一大光明を投げたるものと云ふべきなり

北陝西盆地 西部山地より陝西省を過ぎて甘肅に出で、北は蒙古のオールドスに伸び實に支那の一大石炭寶

庫と言ふも過言にあらず

今フルーラー、クラップ兩氏の調査に依る詳細を見るに (Fuller, M. L., and Clapp, F. G. "Coals of

Shensi and Kansu, China", 1927 & "Revision of Coal Estimates for west Shansi, China", 1927, in

"Economic Geology", Vol. 21 & 22) (單位百萬噸)

地 方	探炭可能量	探炭不可能量	
▲山 西	一一〇、〇〇〇	1	
Perno-Carboniferous			
▲陝 西	104,000	五六〇,〇〇〇	
a.	53,000	六四,〇〇〇	
b.	157,000	六二四,〇〇〇	
陝西 合計			
▲甘 肅	15,000	二八〇,〇〇〇	
a.	1	一一七,〇〇〇	
b.			



甘肅 合計

一五、〇〇〇

三九七、〇〇〇

▲オールドス(蒙古)

a.

四一、〇〇〇

五四〇、〇〇〇

b.

三〇、〇〇〇

八六、〇〇〇

オールドス合計

七一、〇〇〇

六二六、〇〇〇

以上 總計

四五三、〇〇〇

一、六四七、〇〇〇

(a.—Permer—Carbon, b, Jurassic)

而して右米國二氏の實地調査たるや古くは一度一九一三年より一九一五年になされ、今回は合計二萬哩の旅程を踏査して完成せられしものなり

オールドス地方に就ては右兩者は其調査を完成し居らざるも、其埋藏量を五九七、〇〇〇百萬噸をなし、内採炭可能量を七一、〇〇〇百萬噸をせり。其割合甚だ少きも、之炭層の地下深きに依るにあらずして、ロスガ時に五百呎乃至二千呎も之を覆ひ居るに附言し居れり。又現在はその人口稀薄なる點に於ても又僻遠なるに依りてもオールドス地方の石炭は之を市場化することに困難なるが、然し距離の問題は綏遠北平線が包頭より隴州迄延長さるゝの日は近き將來に期待し得べきことにて、其實現の曉には同地方炭業界は一大注視の的なるべきなり

山西の石炭 陝北盆地は山西に向て可なり延び居れるが、今日山西炭として市場にあるは此盆地と他の二つ即ち大同及平定兩盆地より來り居れるものなり

大同盆地は山西の東北部長城の北に在りて、北平綏遠鐵道並北平天津線鐵道に供給せる黒炭は専ら此處の産出に係るものなり。此盆地の採炭が比較的大規模に行はるゝに至りしは最近のことにして其炭質佳良にしてカロリー一四、〇〇〇B・T・Uにして、開瀆炭の一〇、〇〇〇B・T・Uに比すれば甚だ佳良なり而して同地の炭礦の支那人技師ワイ・ケー・クオンの云ふ所に依れば、地質學者の説に依る迄もなく、大同炭は同省中他の何れの炭山よりも品質良く、又今日の採炭を續くるも今後五十年位は壽命あり云ふ而して支那地質學會の報告に依れば、大同地方の出炭量は一九二二年既に十六萬噸を出し居れるが、度々の騷亂にて北平綏遠線の運轉圓滑を缺き一九二五年には七萬九千噸を激減したるが、其後漸次回復して一九二八年には四十萬噸に上り居るならん地質學會の發表せる出炭量次の如し

一九一九年	二八、四七五噸
一九二〇年	一三九、六六九噸
一九二一年	六七、四六五噸
一九二二年	一六六、六九〇噸
一九二三年	一三八、二四五噸



一九二四年	二四八、五三三 "
一九二五年	七九、七四二 "
一九二八年	四〇〇、〇〇〇 " (?)

大同炭の北平續いて天津方面への輸出は漸く有望視され來り、同線の貨車運轉圓滑となりたる際は相當輸出さるもの見らる。支那地質學會が發表せる大同炭の分析表次の如し

水分	四%五〇
揮發性分	三〇%九九
炭素	五八%〇〇
灰分	六%二〇
硫黄	?

今同地方に於て新式方法に依りて採炭せる二、三の炭山に付記さんに、(一)大同炭礦(Tatung Mining Co.)は大同盆地口泉鎮地方に在り、事務所は大同府に在り、一九二一年に資本金墨銀二百萬弗を以て設立せられ、山西、廣東商人の出資に係かり、設立後二年目には十五萬噸、次年には三十萬噸を出炭し居れり。近年四十萬噸迄の出炭をなし居たが最近は餘り振はず、一日漸く二百噸礦夫二百五十人にて實に一箇年六萬噸に過ぎず。(二)Ko Shun & Tung Chung Minesも大同盆地に在り、大同より四十哩の所に在りて鐵道

通じ居れり。最近餘り業績思はしからず、一箇年三萬噸位を出し居れり、礦夫二百餘人を使用し居れり。炭質は良好にして發熱量一四、〇〇〇 B.T.U あり、二箇所の炭山にて礦區三十方哩を有す、主に大安府、平綏線に供給し居れり。(三)Chien Chang Coal Mine は地質學會の發表に依れば一箇年の出炭量十萬噸なり。平定石炭盆地山西省東部を南北に走り、北部は太原、正定鐵道に横ぎられ居れり。之其他省移出に際して甚だ恵まれ居れる譯なり。石炭はアンスライトにして多數の炭山あり、然し大部分は小規模のものにして、舊式の採炭をなし居れり。其内最大のものを記せば、(四)Pao Ting Coal Mine は陽泉の近くに在りて恰も太原石家莊鐵道の中間なり、一九〇六年の設立にして、資本金二百萬兩なり、炭質良好にして八六%三五のカーボンなり、其他群小の炭山は何れも前記の如く、舊式にて採算されずして大抵は本炭山の所有者に歸し居れり

今右の石炭ミ全平定石炭盆地の採炭量を比較すれば左の如し(支那地質學會の調査に依る)(單位佛噸)

年次	Pao Ting Coal Mine	Ping Ting Coal Basin
一九一九	二〇三、一七九	五九一、四四二
一九二〇	二〇三、二二一	六四七、九八四
一九二一	二四九、八七七	六九九、七八四
一九二二	二六三、七〇一	六八四、六六〇



一九二三	三一、〇四八	一、〇二〇、四五〇
一九二四	四一〇、九五二	九六四、一六八
一九二五	二二五、八八五	二二五、八八五
一九二七	四二〇、〇〇〇	四二〇、〇〇〇

而して山西全省の石炭産額に付て支那農商部の統計に依れば、一九一七年の九十八萬六千五百七十二噸より、一九二一年には百九十三萬九千九百五十五噸に増加し居り、一九二八年山西省政府の統計に依れば三百五十七萬千噸に記し居れるが、支那地質學會の調査に依れば實際は二百三十萬噸内外なり云々 (Chinese Economic Journal June, 1928)

陝西の産額 既記の通り北陝西盆地は陝西省の北部に在りて、約十萬平方哩の鑛區を有し、又埋藏量の内探炭可能量は一五七、〇〇〇百萬噸に記したるが、現實探炭の状況は甚だ幼稚にして、最近の報告に付て記さんに、(Chinese Economic Bulletin, Aug. 3, 1929) (一) 神木地方は炭層十三平方哩に涉り、數箇の小炭山ありて一日二十八噸、即ち一箇年八千六百四十噸を産す。(二) 榆林炭鑛は七箇の炭山あり、四百平方哩に亘り、一日五十四噸一箇年一萬六千二百噸を産す。(三) 延川炭鑛は三箇の炭山あり、十五平方哩の鑛區を占め、一日六噸一箇年千八百噸を出す。(四) 耀縣地方は地下數尺にして豊富なる炭層を有し、現在四箇の小炭山探炭しつゝあるが、一箇年三萬九千噸を出し居るに過ぎず。(五) 韓城炭鑛は現在は一炭鑛一箇年

四百二十噸の出炭あるのみなるが、目下計畫中のもの二、三あり。(六) 清澗炭鑛は僅に十畝(一畝は二百坪)の鑛區なるが、該地方の需要に對しては今後十箇年を支へ得べし云ふも其出炭量明ならず。(七) 潼關縣地方は紅支坡、陳爐鎮、三里洞等の炭山あり、一日五十六噸一箇年一萬六千八百噸の産出あり。(八) 商縣地方は熊耳山、溝峪等の炭山あり、産額極めて僅少なり。(九) 店子溝無煙炭を産し、一箇年六百噸の産あり。(一〇) 邠縣地方は炭店村炭鑛最大にして、一箇年三萬噸を産出す、然し舊式作業の爲に餘り振はず。(一一) 安定縣地方は該地方の鐵工場に供給し居る位にして、數箇所の小鑛山にて一箇年二千四百噸を産す。(一二) 米脂縣は數箇所の炭山にて、一箇年七千八十噸の産額あり。(一三) 雋南縣地方就中審村嶺及蟒崖炭鑛を主とし、一箇年前者六百萬斤、後者四十萬斤の産あり、主に雋南地方の需要に應ず。(一四) 白水縣は數箇の炭山にて合計一箇年七千八百噸の産出あり

新式探炭法の必要 極めて舊式の幼稚なる方法に依る探炭の爲に勞働賃銀の安き割合には炭價高く、鑛山エフ・オー・ビーにて墨銀八弗乃至十弗云ふ相場なる爲、大市場へ向ての競争は甚だ困難なるが、概して何れの炭山も成績面白からず、陝西省政府にては此に見る在りて新式方法に依る探炭を半官、半民的組織にて壽縣地方に數箇の炭鑛計畫中なり。然し現在にては北陝西の廣大無邊なる石炭盆地の發展に付ての根本的の解決策を云々する事は早計に失するやも知れざるが、又前記米國二氏の算出額も何れ迄信を置くべきや又問題なるに、何れにしても兩氏の算出は極めて内輪に見積られ居り、而も探炭可能量は四五三、〇〇〇百



萬噸にせざるなり、而して大陝西盆地の石炭の質は Permiancarboniferous 三七〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇噸に即ち七七%六、Jurassic 八三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇噸に即ち二二%四炭質に付ての十分の分析的研究はなけれども、大體此盆地に在る石炭は比較的良質なることは信ぜらるるものにして、即ち一脈の連絡あり見らる、大同盆地の石炭が發熱量一、四〇〇 B・T・U を有するよりも考へられざるにあらず

斯くて北陝西石炭盆地の石炭の利用は、之が運輸問題に大部の條件を有するものにして、此點より自然的に大體恵まれたる地方に在るものにして、即ち黄河も亦利用し得べし

即ち黄河は大盆地の一部なるオルドスを西及北方にて之を圍りて、南に直角に下りて大盆地を北より南に之を貫ぬけるなり、尤も黄河の河船航行問題が残され居るも、少しく之を改良せられんか直に隴海鐵道に通じ海州其他より進で他省海外にも進出し得ざるに非ず

一方鐵道の方は大盆地には直ぐ近く迄迫り來れども、盆地の中には一哩も進出し居らず、即ち北平綏遠線は包頭を終點とし居れるが、前記の通り大同炭を以て運轉しつゝ、あるものなり、然し乍ら本線は近き將來に於て隴州迄延長され居ることになり居れば、其曉には大盆地の北西部方面は非常なる利便を受くることなる譯なり、又大盆地の東部方面は山西の西部に跨り居る譯なるが、之亦正定、太原間の鐵道に正に續かんしつゝあり、爲に其沿線となるべき地方に無數に介在する炭山主は、何れも結束して西部陝西と太原間の鐵道聯絡に省政府に向つて迫りつゝあり

然し乍ら北部陝西の中部地方は其人口の稀薄に、地方道路の殆ど開拓し居られざる爲に其前途は可なり遠遠なれども綏遠、隴洲及隴海鐵道の完成となれば非常に恵まれ來ることなる

何れにしても山西の石炭のみにて一箇年二百四十萬乃至三百萬噸の産出ありて、恰も支那全産額の約一割に當り居れり、之に加へて大陝西盆地が一度開拓せられんか、支那の石炭界の中心地たるは勿論、支那石炭界には一大革命をもたらし來ること必せり

註 (本編は『The China Weekly Review』 Vol. XLIX, No. 1, Aug. 31, 1929 所載 Boris, P, Torgashoff の記事の大意を翻譯せるものなり、トルガセフは『The Mineral Resources of the Far East』著者なり)



## 山西省平定の石炭鐵礦概言

支那鑛業週報第二輯掲載

一、位置 平定縣は山西省の中部に位し東は太行山脈を以て河北省の井徑縣を分つ孟縣は其西北に在り昔陽縣は其東に在り東石家莊を距るこ二二百四十支那里西太原を距るこ二二百五十支里東部は太行山脈の奇峰絶壁にして平均高度約三千尺西部は山嶽蜿蜒して高さ千尺に及び高原を形成す中部は丘陵起伏して上に黄土を覆ひ中は深谷多く桃河東西に横貫し炭田を南山系と北山系に分つ

二、交通 正太鐵道は娘子關より入境し桃河と相蜿蜒し西太原に赴き陽泉驛は本縣の交通の中心點たり西養魚驛を距るこ二七「キロメートル」太原まで百二十二「キロメートル」東は石家莊を距るこ二二百二十「キロメートル」にして陽泉驛より南方に向ひ自動車路築造しあり平定、昔陽、和順、遼縣を経て北は孟縣に至るこきは山路崎嶇溪澗縱横す曩に蔭平（自蔭營至平定長さ五十支里）鐵道布設の議ありたるも未だ實行に至らず桃河は舟楫の利あらざるのみならず却て交通に碍あり

三、地質礦層 本區地質の構造は頗る整齊し岩石層々次序井然たり地層は東より西に傾斜し最下層の東部に顯はる、者は石炭岩を爲す質料頗る純にして所謂冀州系是れなり其中には石炭鐵礦の兩礦なし此れを過ぎたる以西に則ち鐵礦の露頭遍地にありて南は張莊鎮より昔陽縣の南溝に接し中に五渡村を經北は楊樹溝よ



りして孟縣に至り其鑛層狹長なるこ帯の如し尤も南部の東溝鎮北部の楊樹溝、千畝坪等の地所産豐富なす此層は冀州系石灰岩の上石灰岩の下に在りて鑛石は赤鐵鑛及び褐鐵鑛を爲す色は紅棕或は黄にして結核形を爲して大小同しからず石灰岩の裂縫中に在る者較富むが故に石灰岩は鐵の母岩を稱し得べし又た硫鐵鑛あり淡黄色にして厚二尺許鐵鑛の上に灰白色の耐火粘土あり本地人は之を以て製鐵用坩堝又は模型等の用に供す

更らに西は即ち石灰系を爲す陽泉驛より西北一支里許に陽泉製鐵所あり其の東面の山神廟の地層を流沙みなす實に石灰と鐵との境界の處を爲す此處より北孟縣の清城鎮に接し南は昔陽縣の南溝まで一直線を劃す此直線以西の地は石灰ならざるはなし唯だ西南坡頭村の西に至り炭層は深く入り變動の有無を知り難し本區の炭田の主要岩石は砂岩石灰岩頁岩泥板岩等にして炭層は砂岩と頁岩との間に在り其占有面積甚だ廣く層數も亦た多し筒子溝鑛區附近に見る所の者は上部より下部に二尺、七尺、一尺、三尺、四尺二寸、一丈八尺等の層あり丈八尺を以て本炭田最重要の炭層を爲す中間に頁岩の薄層を夾む故に之を上九尺下九尺の兩層に區別す上九尺中を又た小蘆生、大蘆生、小斗、大斗、膠炭、底三尺等の六層に小別し下九尺も亦た連堰、大脆炭、糊炭、地蘆生等の四層を爲す炭層の走向は東南にして傾斜は西南十度以下なり時に起伏ありて波紋の如し

桃河沿の大斷層線は東西を横貫し炭田を截斷して南北二系を爲す南山の丈八炭は深く地中に入り北山の石

炭は上方に掀起す燕子溝と水泉溝との如きは僅に桃河を隔て、燕子溝の丈八炭は深さ三十餘丈水泉溝の丈八炭は地面に出ること數丈なり

本區の石灰岩の面積は既に大にして暗河も亦た多し陽泉以西は河水冬夏共に渴かず以東は則ち河面には常に水なし附近の居民は多く河岸に井を掘りて水を取る然るに娘子關に至るこきは河面に水再び出て來るが故に平潭壩の炭坑は水量甚だ大にして淹沒せしめたり即ち暗河に掘當たるに因る鐵爐溝の炭坑も亦た暗河に掘當てたり

四、鑛質 無烟炭にして質堅く緻密色黒く光澤ありて手に取るも汚染せず大塊を成して出て比重は一・三五燃焼易からず但し地面に放置するこきは風化して碎塊を成り易し北山の炭は塊尤も堅勁熱量も亦た較々高し茲に保晉公司の南山北山各坑の炭質成分を左に表示す

成分	鑛區		
	筒子溝	燕子溝	賈地溝
濕度	〇・四六〇	一・一四	〇・三四
揮發分	七・二三	八・四六	八・三五
固定炭素	八五・八〇	八六・八四	八五・八〇
灰分	五・六二	三・五六	四・六二
硫黃	〇・八九	〇・九八	〇・八九
熱量	七二・五四カロリ	七八・二五	七九・五六
			八〇・四五



備考 簡子溝燕子溝は南山系質地溝漢河溝は北山系鐵礦の產地は散漫し成分も千差萬別なり茲に太原育才鍊鋼廠及ひ陽泉鐵廠の分析表を左に記す

成分	鑛區	蔭營	西溝	五渡	饒村
鐵		六〇・一三九	五三・四〇	六四・七七五	四五・四〇〇
燐		〇・〇二三	〇・一〇九	〇・一三四	〇・一〇三
硫	黃	〇・〇一一三	〇・〇四五	〇・三三二	〇・一五六
硅	酸	三・〇八二	二・六八二	七・二六〇	八・一六〇
アルミニウム					六・五二〇
備考	育才鍊鋼廠分析	同上	同上	同上	陽泉鐵廠分析

五、鐵量 鐵鑛面積は廣し雖も層形をなさず故に鑛量の計算難し炭礦の層序は一定して變化甚だ少し本縣の炭田は南北約七十支里東西約十五支里面積約一千支里上面の七尺炭は採掘量甚だ少なく茲に計算に入れず唯だ最重要なる丈八炭を以て計算するに本地炭は一立方尺の重量六十斤なれば一方支里約二百萬噸則ち千方支里にて二十億噸なり之を七掛を以て計算するときは可採炭量は十四億噸埋藏す

六、結論 平定の炭業の前途は正太鐵道に繋る該鐵道の軌道は獨り狹軌にして曲度大なれば車行は極めて緩一回の積載量は三百二十噸を超過すること能はず其運賃は一噸一「キロ」二仙五厘にして之を國有鐵

道の最高運賃に比するも尙ほ一倍餘なり而して石家莊にて積換えの損失各種の税金の増加等悉く其發展を阻害せざるはなし平定産の鐵に至ては長き歴史を有するも製煉法陳腐にして損失甚だ大なり方法を改良し運輸の困難を輕減し苛稅雜費を減少せば以て炭鐵業の發展を促すべく其責は鑛政當局に在り



一、産鐵區域 山西は平定より以南遼屬洛安を經太行山に沿ひ澤屬の普城に至るまで蜿蜒九百餘支里均しく産鐵の區域を爲す蓋し平屬及び上黨各縣にては石灰石炭紀砂頁岩との夾縫中には均しく鐵鑛を産す其鐵分は約百分ノ六十内外なり各處の産額豊富ならず俗に之を窩子鑛と呼ふ一ヶ所の採掘量數噸或は數十噸にして一定せず試みに正太汽車に乗して石家庄より娘子關を經白羊墅に至るに三葉蟲を含む灰石の其左右に遍布するを見陽泉を距る東約二支里許の處にては石灰石を見ず含鐵層は地面に露出す其西は即ち含炭層の砂岩なり此れ太行一帯産鐵の大觀の情形なりとす

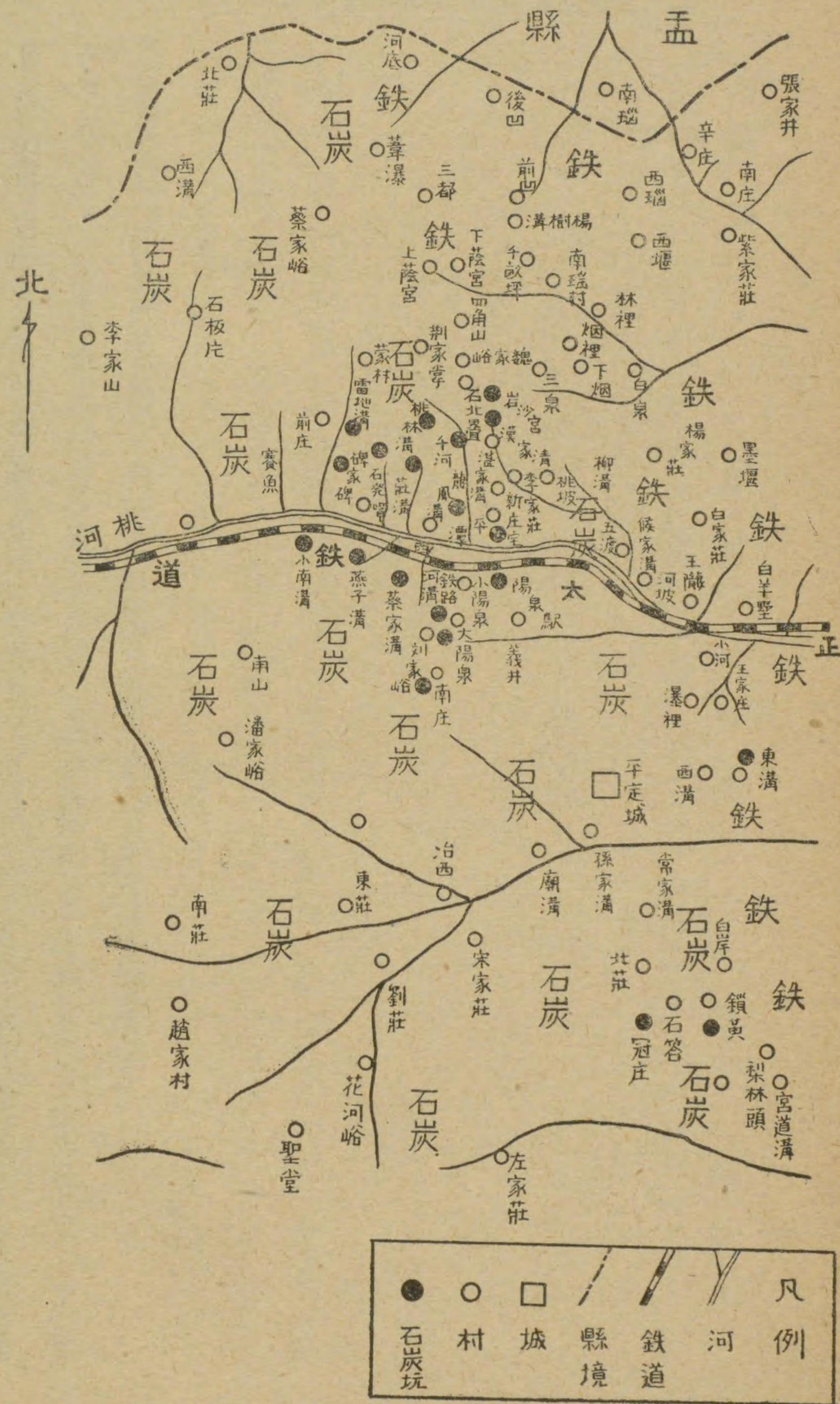
一、産鐵、熱鐵 土法の硝子土 Fire clay を以て鑛を作り鑛石を裝入して平置し送風具を用ひて製煉するものを生鐵とす此の生鐵に木炭を加えて燒煉したる者を熟鐵と爲す

一、百年前の山西鐵業の情形 海外交通未だ開けざりし以前山西の鐵業は普城を以て巨擘と爲す鐵線、針の如きは南は廣東湖北北は蒙古西は隴關東は黃海の濱まで其販路を有し一時は頗る旺盛を極め今日に於ても普城を過ぎて大陽を遊覽するときは當年の遺蹟を見るべし外國鋼の輸入以來山西の鐵業は一落千丈の有様にして洛安の鐵器は農具及び釘、炊事具の如きより建築用材の如きに至るまで舊時には北方諸地に販賣せら

### 山西の鐵業

支那鑛業週報第二輯掲載

### 平定縣鑛區圖





れたるものにして今日に至るまで北平一帯の鐵商は多く山西人なるを見るときは猶ほ其一斑を見るべし平定縣下にては從來鐵鍋類を鑄造するを以て主とし其販路も亦た昔時には頗る見るべき者ありしも近日の盛況には如かず

#### 一、山西近代の鐵業

正太鐵道開通以來山西の鐵業は遂に陽泉を以て集散の地と爲せり平均毎年數十萬元の收入あり歐洲大戰の時日本商人平定に集り來り大に購運に従事せり近年式微と爲りたるも鐵鍋等の類にして滿蒙に運び販賣する者仍ほ道途に絡繹たり山西の表裏の山河は人口稠密にして地狭く數百年來の剩餘人口は滿蒙を以て其商業經營繁殖の地と爲せり今日奉天、吉林、黑龍江、熱河の各地にて油、酒等を取扱ふ者は率ね山西人にして油、酒製造に用ふる鐵器は山西人は千里を隔つるも仍ほ其習用する山西産品を忘れず此れ山西鐵の猶ほ滿蒙に販路を有する所以也但し民國四年以前には太原には五金行（金物問屋）の開設を見ざりしも今は則ち城内到る處に開業す毎年北門外の兵工廠にて購入する外國鋼のみにても二百萬元以上に達し其他の鋼材は尙ほ其中に含まず試みに太原の建築を見るに原は多く土産の釘を用ひたりしも今は則ち十中の八九は外國釘に改めたり更に數年後には山西の鐵器具は又た太原の市場に見るこも能はざるに至らんこもを恐る滿蒙に至ては勿論なりとす

#### 一、陽泉鑄鐵廠

民國七年保晉公司是七十萬元の資本を以て陽泉に鐵廠を開設し十一年に至るも猶ほ一滴の鐵汁も爐より流出せず唯だ煉瓦の製造及び機械の修繕を以て其表面を糊塗す近年北方多事にして山西と奉



天と一時不和と爲りしたため外國鋼鐵も亦た輸入する能はず因て軍署より毎月手當三萬元を支給し保晉の鐵廠をして平定の生鐵を買入れ之れを爐に入れて精鍊せしめ外國鉄鐵と等しき者と爲し以て軍用に資せり是に至り鐵價の多少を顧慮するこも能はざるなり

#### 一、育才鍊鋼廠

山西兵工廠が毎年外國鋼を購入する額は巨大なり乃ち民國十三年北門外に育才鍊鋼廠創立以來純鋼を製鍊して軍用に備ふ其事に主たる者は唐之肅君と爲す不幸先年火災に罹り未だ完全に修復せず

#### 一、景城大德製針公司

民國十年舊澤州府の諸人山西鐵業の衰微を慨し普城の西門外に一製針公司を設立し資金四萬元を集めて機械を購入し試辦し需用鋼は獨乙より輸入せり十五年以前は毎年缺損なりしも十六年度には利益を擧げ一株百元に代き六元を配當せり製出する針は外國製には尙ほ及ばず雖も能く使用するに足る其報告に據るに現在の販路頗る廣きも惜らくは其需用に應ずるこも能はず聞かすに増資の上擴張せん



屑 鐵 市 況

其の一

八月米國市況概観

世界的に買漁りの對象となつた製鋼用屑鐵の米國市況は八月に入つて一段の活氣を呈して來た。元來米國は世界最大の屑鐵輸出國であり、同時に消費國である。自國內に於ける全消費量は一九二八年に於ては約三四、〇〇〇、〇〇〇屯、内製鋼用としての消費高二五、〇〇〇、〇〇〇屯に推定せらる（アイアン、エーヂ誌）即ち製鋼用の消費高は全消費高中の約七〇%を占むるものと云ふべし。是を一九二五年の全消費高三〇、七〇〇、〇〇〇屯、内製鋼用約二二、〇〇〇屯に比すれば其の激増振（アイアン、エーヂ誌）に驚かざるを得ず、而して他面輸出國としての同國の狀況を見れば更に其の感を深ふすべし。即ち一九二五年の輸出高は八二、五〇〇屯であつたが一九二八年には五一六、〇〇〇屯に飛躍して約六倍に達して居る。

五月の交に稍軟弱を傳へられた市況は七月以降強氣配益々加はり、本月に入りては愈々其の騰勢が強くなつた。ピツバーグ及谿谷地方に於ては前者はF、O、B消費工場、後者はF、O、Bヤングストンにて何れも十九弗乃至十九弗五〇仙の市場値段を見るに至つた。是本年一月の十八弗七五仙乃至十九弗二五仙以來の最高のものにして、實に未だ曾て見ない所である「紐育バーミンガム、モントリオール、ツローンこの四者を除き」各地市場は一齊に五〇仙乃至一弗方の値上となつた。唯一の例外はボストン市場の二五仙方値下



である。D、M、T紙の報ずる所に依りて主要市況に付て之を觀るにピツバーグ市場に關し同紙八月二日は「Heavy melting steel No. 1は二五仙上げて一八弗七五仙乃至一九弗二五仙なる買付困難……屑鋼及屑鐵は最近の工場の買付靜穩なる程には其強調を改めては居ない、否夫にも不拘値段は益々上向きに傾いて來た。舊契約の分の買付は困難を加へたが一面製鋼業者側は其の需要を引下げて値安に向け様々努めて居る。併し最近の賣買ではヘヴィーメルテング一級品は二五仙高の一八弗七五仙乃至一九弗二五仙を表はした」云々報じ更に八月十四日には「最近の賣買値段一九弗乃至一九弗五〇仙……屑鐵の販賣は伸び悩み其の取引は僅少のものに極限された、然も市場は依然として強調を呈し値段は騰勢を續けて居る。最近の Heavy melting steel scrap No. 1は一九弗乃至一九弗五〇仙で取引された、尤も夫は左程纏つた數量ではない。大部分の工場は買控へて、最近の購入値段の基準以下で購入の引合を爲して居る。八月に於ては屑鐵は一月前ならば一九弗二五仙で買へたものを一九弗五〇仙乃至一九弗七五仙で Pennsylvania 鐵道會社から買はれて居る有様である」云々報じて居るが更に月末に至つて「一般市況依然として強し……屑鐵市場に於ては消費者側の活氣全く消滅し、三十日間に大量の購入は遂に現はれずして終つた。然も市況の強調依然たり唯 Heavy melting steel scrap No. 1は稍活氣を失ひ一九弗乃至一九弗五〇仙が一八弗五〇仙乃至一九弗五〇仙となり今迄の五〇仙の値開が一弗方に改められたるを見るのみ」云々結んで居る。シカゴ市場に關しては同紙八月二十七日は「附加的潛勢力が屑鐵市場に隱顯して居る、目下の所強氣配は消費者の引合に大した反

映を與ふるに至つて居ない。商人は契約に充當する爲に現物に對しては消費者の引合値段より二五仙高支拂つて居る、melting steelに對して商人市場 Dealer market は一六弗以上である」云々云ふ。バツファロ一市場に關してはD、M、T紙八月六日は「No. 1 Heavy melting steel scrap に付て商人は一七弗五〇仙請求」を報じ、亞て同九日には「Heavy melting steel scrap は屯當り一七弗七五仙で販賣……或る商人は一八弗を請求す……豫想外の急速振りで強氣進みとなり、今週に於ては屑鐵市況はひた押しに昂騰した。ヘヴィ、メルテング、スチール屑一級品は一七弗七五仙で相當數量の購入を見たを報ぜられ、尙商人自身の言ふ所に依れば一八弗で注文し支拂を爲したと言ふ」云々同十三日には「屑鐵値段は手堅く騰つた、夫は賣買に依つて新標準が確立されたものであつて大工場は少量ながら一級品を一八弗で購入した。商人は供給物の品薄の故を以て販賣には慎重の態度を持して居り又、他の地方に於ける消費者からの高値の申込に對しても自重して居る」云々。次にデドロイト市場に關してはD、M、T紙八月二日は「當地方の屑鐵市場に於ける氣配は意想外に強く、數種のものには値上りとなつた。屑鐵の供給は缺乏し、商人は契約の引當として充分なる現物の入手に困難を感じて居る。仲買人は相當の材料をバアファロー及クリヴランド等の消費の中心地に移動して居る。特に強い需要が Mahoning Valley 地方から到來した。若干數量は輸出業者を經由してカナダの消費者に送られつゝある。Heavy melting steel は二五仙高の一四弗二五仙乃至一四弗七五仙で引合されて居る」云々。更に八月十四日には「主要仲買人によれば屑鐵市況は甚だ強い、現物は品薄となり値段



は多少改められたが尙手堅い。ピッツバーグ及ヴァレー地方の工場からの需要は例外的に大である。ヤングスタウンの工場は出来る丈け早く現物を欲しがつて居る。No.1. Heavy melting steel scrap は再び二五仙高くなり、一四弗五〇仙乃至一五弗となつた

今期の水路による此の地方の荷動は今迄になき高位を示して居る、併し仲買商はもはや峠を越したものと見て居る。けれどもクリーヴランド及びバッファロー等の消費者は水路による大量委託貨物を得ることを繼續するにあらう。云々云々傳ふ。又ニューヨーク市場に關しては八月二十二日所報に「層鐵商人の買付値段は層鐵類殊に古軌條一級品に對しては甚だ手堅い、東部ペンシルヴァニア地方に於ける新規の消費需要は殆ど皆無ではあるが舊契約の分に對する積出は相當大なる數量に上り。又バッファロー地方及ニューヨークグランド地方殊にブリッヂポート Bridgeport, Conn. に向けて層鐵鋼の一級品及二級品の在庫物は今後も續々輸送さるべし。舢船によるバッファロー向層鐵の積出も亦近來數週間は減切り増加した。外國向輸出數量は稍々増加した。尤も今後も本港から毎月積出高が平均三、〇〇〇屯以上を續け得るかは疑問である。輸出品物の大部分は東歐諸港殊に獨乙に向けられて居る、輸出品物の内幾何かは日本へも向けられて居る。現に來週は東亞行汽船に積荷さるゝことになつて居る。而して日本向層鐵は古軌條一級品及自動車層鐵が主たるものである」云々云々ある

米國に於ける主要需要地たるピッツバーグ及バッファロー市況に主要供給地たるシカゴ、デトロイト及ニ

ーヨーク市況を觀るにき其處に興味ある對立相關の關係を窺ふことを得べく、前者に於ては高値對策を以て齊しく陽に買控の態度を持しつつあり後者に於ては現物薄に悩みつつ尙着々活躍の機を窺ひつつあり、今後の變化は注目に値すべし

今市況一覽及鉄層鐵市價比較表並層鐵市價昂低歩合を掲ぐれば別表の如し

層鐵 (Heavy melting steel) 市價高低比較

アイアン、トレード誌 一九二九、八、二九

層鐵市況

	一九二八年八月二九日		一九二九年七月平均		一九二九年五月平均		一九二九年八月平均	
	市價	高低率	市價	高低率	市價	高低率	市價	高低率
ピッツバーグ	一九.〇〇	100	一八.四五	九七.一	一七.八五	九三.九	一五.〇〇	七六.九
東部ペンシルヴァニア	一六.五〇	100	一六.五〇	100	一六.二五	九八.四	一三.七五	七七.二
シカゴ	一五.二五	100	一四.七五	九六.七	一五.四五	101.三	一三.六	八三.九

層鐵相場軟調 (アイアン、エーザ一八九二九年十月三日)

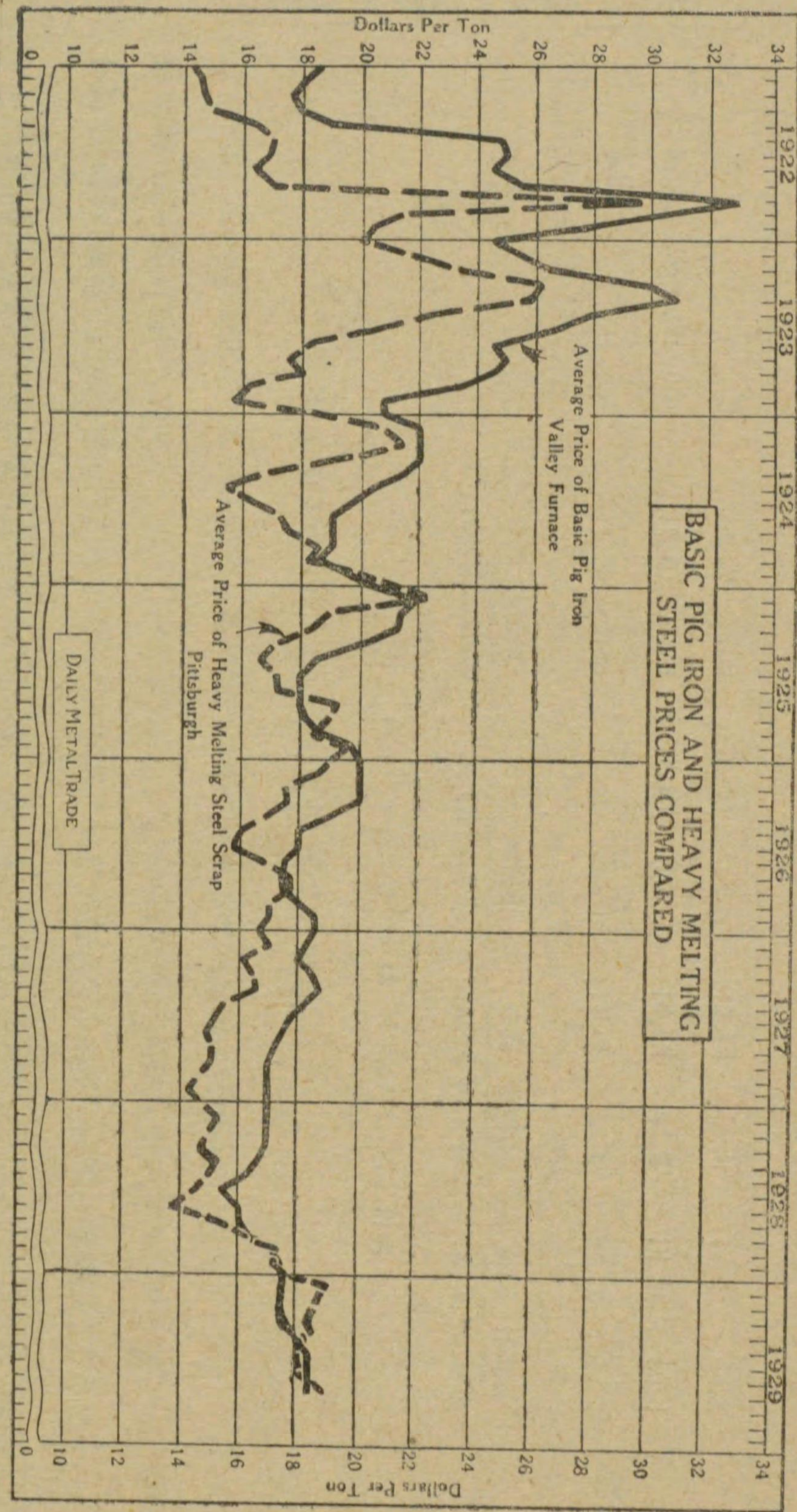
第三四半期平均は一年中最低一層鐵鋼の開きは尙僅少

八月中旬の昇騰後シカゴ、ピッツバーグ、フィラデルフィアのヘービーメルチング層鐵の相場は可なりの軟



八月中米國曆

Date	Pittsburg	New York	Buffalo	Philadelphronto
8月 1日	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
2 "	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
3 "	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
4 "	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
5 "	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
6 "	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
7 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
8 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
9 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
10 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
11 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
12 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,50-17,75	16,50-17,00
13 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00
14 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00
15 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00
16 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00
17 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00
18 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00
19 "	19,00-19,50	12,59-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00
20 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00
21 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00
22 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00
23 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00
24 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00
25 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00
26 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00
27 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00
28 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00
29 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00
30 "	18,50-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00
31 "	18,50-19,50	12,50-13,35	16,50-18,50	16,50-17,00
7月末日	18,50-19,00	12,50-13,35	16,50-17,50	16,50-17,00
6月末日	18,00-18,50	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00
5月末日	17,25-18,25	12,00-13,00	16,50-17,50	16,00-16,50



MELTING STEEL REGAINS LEAD OVER BASIC IRON



八月中米國屑鐵 (Heavy Melting Steel Scraps) 市價一覽表

(per gross ton) 值上 值下

Date	Pittsburg	New York	Buffalo	Philadelphia	Boston	Cleveland	The Valley	Chicago	St. Louis	Detroit	Cincinnati	Birmingham	Montreal	Toronto
8月 1日	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,00-14,50	13,50-14,00	10,25-12,50	9,00	10,00
2 "	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	13,50-14,00	10,25-12,50	9,00	10,00
3 "	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	13,50-14,00	10,25-12,50	9,00	10,00
4 "	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	13,50-14,00	10,25-12,50	9,00	10,00
5 "	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	13,50-14,00	10,25-12,50	9,00	10,00
6 "	18,50-19,00	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	13,50-14,00	10,25-12,50	9,00	10,00
7 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	13,75-14,25	10,25-12,50	9,00	10,00
8 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	13,75-14,25	10,25-12,50	9,00	10,00
9 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	13,75-14,25	10,25-12,50	9,00	10,00
10 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	13,75-14,25	10,25-12,50	9,00	10,00
11 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	13,75-14,25	10,25-12,50	9,00	10,00
12 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,50-17,75	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,75-15,25	14,25-14,75	13,75-14,25	10,25-12,50	9,00	10,00
13 "	18,75-19,25	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00	12,50-13,00	16,00-16,50	18,50-19,00	15,00-15,50	14,75-15,25	14,50-15,00	13,75-14,25	10,25-12,50	9,00	10,00
14 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00	12,50-13,00	16,00-16,50	18,50-19,00	15,00-15,50	14,75-15,25	14,50-15,00	13,75-14,25	10,25-12,50	9,00	10,00
15 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00	12,50-13,00	16,00-16,50	18,50-19,00	15,00-15,50	14,75-15,25	14,50-15,00	13,75-14,25	10,25-12,50	9,00	10,00
16 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00	12,50-13,00	16,00-16,50	18,50-19,00	15,00-15,50	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,50	10,25-12,50	9,00	10,00
17 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00	12,50-13,00	16,00-16,50	18,50-19,00	15,00-15,50	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,50	10,25-12,50	9,00	10,00
18 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00	12,50-13,00	16,00-16,50	18,50-19,00	15,00-15,50	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,50	10,25-12,50	9,00	10,00
19 "	19,00-19,50	12,59-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00	12,50-13,00	16,00-16,50	18,50-19,00	15,00-15,50	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,50	10,25-12,50	9,00	10,00
20 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00	12,25-12,75	16,00-16,50	18,50-19,00	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,50	10,25-12,50	9,00	10,00
21 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00	12,25-12,75	16,00-16,50	18,50-19,00	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	10,25-12,50	9,00	10,00
22 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00	12,25-12,75	16,00-16,50	19,00-19,50	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	10,25-12,50	9,00	10,00
23 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00	12,25-12,75	16,00-16,50	19,00-19,50	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,50	14,25-14,75	10,25-12,50	9,00	10,00
24 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00	12,25-12,75	16,00-16,50	19,00-19,50	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,50	14,25-14,75	10,25-12,50	9,00	10,00
25 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00	12,25-12,75	16,00-16,50	19,00-19,50	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	10,25-12,50	9,00	10,00
26 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	-17,00	12,25-12,75	16,00-16,50	19,00-19,50	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	10,25-12,50	9,00	10,00
27 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00	12,25-12,75	16,00-17,50	19,00-19,50	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	10,25-12,50	9,00	10,00
28 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00	12,25-12,75	16,50-17,00	19,00-19,50	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	10,25-12,50	9,00	10,00
29 "	19,00-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00	12,25-12,75	16,50-17,00	19,00-19,50	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	10,25-12,50	9,00	10,00
30 "	18,50-19,50	12,50-13,35	16,50-18,00	16,50-17,00	12,25-12,75	16,50-17,00	19,00-19,50	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	10,25-12,50	9,00	10,00
31 "	18,50-19,50	12,50-13,35	16,50-18,50	16,50-17,00	12,25-12,75	15,50-17,00	19,00-19,50	15,25-15,75	14,75-15,25	14,50-15,00	14,25-14,75	10,25-12,50	9,00	10,00
7月末日	18,50-19,00	12,50-13,35	16,50-17,50	16,50-17,00	12,50-13,00	15,50-16,00	18,50-19,00	14,75-15,25	14,50-15,00	14,00-14,50	13,50-14,00	10,25-12,50	9,00	10,00
6月末日	18,00-18,50	12,50-13,35	16,00-17,50	16,50	12,00-12,25	15,00-15,50	17,50-18,00	14,75-15,25	14,00-14,25	13,50-14,00	13,00-13,50	10,25-12,50	9,00	10,00
5月末日	17,25-18,25	12,00-13,00	16,50-17,50	16,00-16,50	11,50-11,75	15,50-16,00	17,50-18,00	15,25-15,75	14,00-14,25	13,75-14,00	13,00-13,50	10,25-12,50	9,00	10,00



調を呈し、八月上半中一六・九二弗なりしに前週中に於ては一六・三三弗迄の下落を見るに至れり。この最近平均相場は六月及五月末の相場と同一にして本年今日迄の最低相場なり

本年の趨勢は一般に軟調を呈し一月末の相場を最高とし現在の相場は八ヶ月以前に比し一・二五弗方の下落なり

第三四半期の平均相場は第一四半期の一六・七〇弗、第二四半期の一六・九〇弗に比し一六・六九弗なり然れども本年九月迄の平均相場は一九二五年以來の高値を示せり

一方に銑鐵の平均相場は屑鐵と同様下落を見、一般の傾向は第二四半期以來軟調を呈しつゝあり、而して第三四半期の平均は第二四半期の一八・六二弗、第一四半期の一八・三九弗に比し一八・三八弗の相場を示したり。鋼材は八月初頭より漸次軟調を辿りたるも一九二五年下半年初頭よりの相場開きの範圍は尙僅少なるを見る第三四半期の平均相場は第二四半期の二・四一二仙、第一四半期の二・三九一仙に比し二・四〇三仙を呼べり、然れども本相場は一九二八年一月に二・三一八仙の相場を見たるを以て強ち最近數年間中の最低相場にあらず

九月中の屑鐵と銑鐵との相場の開きは一・六七弗にして、一月及二月の開きは僅かに一・四二弗、一九二八年三月の開きは四弗以上を示せり

屑鐵銑鐵及鋼材價格の過去二十ヶ月間の比較表を示せば次の如し



第三四半期平均相場	九月	八月	七月	上半年平均	六月	五月	四月	三月	二月	一九二九年一月	年平均相場	十二月	十一月	十月
一六·六九	一六·六〇	一六·八六	一六·六〇	一六·八〇	一六·三九	一六·五四	一七·一八	一六·七一	一六·九六	一七·〇二	一四·二九	一五·九七	一五·七三	一五·八五
一八·三八	一八·二七	一八·三八	一八·四八	一八·五一	一八·六五	一八·七〇	一八·五二	一八·三六	一八·三八	一八·四三	一七·六七	一八·五一	一八·四六	一七·九四
二·四〇三	二·三九四	二·四〇二	二·四一二	二·四〇二	二·四一二	二·四一二	二·四一二	二·三九一	二·三九一	二·三九一	二·三五二	二·三八五	二·三六八	二·三六三

相場比較表 (集成價格)

層鋼 英噸	一九二五年平均相場	一九二六年	一九二七年	一九二八年一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月
一七·一二弗	一五·四八	一四·〇〇	一三·七〇	一三·七一	一三·六五	一三·八一	一三·九〇	一三·五二	一三·一三	一三·七五	一四·七五	
銑鐵 英噸	二〇·五八弗	二〇·四二	一八·五五	一七·六三	一七·七三	一七·七三	一七·六七	一七·四五	一七·二三	一七·一〇	一七·一一	一七·五四
鋼材 封度	二·四六五仙	二·四三九	二·三五七	二·三一八	二·三六一	二·三六二	二·三五九	二·三五〇	二·三四一	二·三二五	二·三四八	二·三四八



屑 鐵 市 況

其の二

四イ、九月に於ける米國屑鐵 Heavy melting Steel Scrap 市況概観

八月の市況は強氣亦強氣の姿をこり、遂には最高一九弗五〇仙のレコードを示すに至つた。消費者側は一齊に買控えの步調を探り、仲買商は舊契約の充當に辛ふじて喘を續くる有様であつたが、一般市場には八月市況はアブノーマルのものであるこの印象を強く與へて居た、而して興味ある問題となつのは、果して何處迄此の強氣が押進むかの一點であつた。即ち尙引續て騰り得る餘地があるか、或は是を頂上として再轉低落步調に改むることに依つて其の行詰を打開するか點である。斯くして本月に入るやデドロイド市況は先づ二五仙の下廻りを出て、軟弱轉向を暗示したが、他の市場は上旬末頃迄は兎に角尙前月の市價を維持して居た。併し上伸の力はもはや無かつた。否現狀を維持する力さへも失つて、上旬末には遂に崩れの色を表はした。躍進振の最も鮮かだつたピツバーグ及ヴァレー地方の低落振は又夫れ丈に慘たるものがあつた。月初に比して一弗方の低位に漸く踏み止るの状態である。その他フェラデルフェヤ及ボストンの市況も同様である。シンシナチ、セントルイ、シカゴ及バッファローは五〇仙下げた。唯クリーヴランド及バーミングム等二三のものは動を見せなかつた。概観すれば前月の行過を訂正したと云ふ感を深ふするが、供給地の市價低落は需要地のそれに比すれば軽く、且つ緩なるものがある。



茲にデーリー、メタル、トレード紙の報ずる所に随ひ主要市場の變動事情の跡を辿ればピッツバーグ市況に關しては同紙九月十一日は「工場の購入なし」ピッツバーグ地方に於ては依然として工場が購入せざる爲、市況は靜穩であるが軟調は次第に濃くなつて來た、ペンシルヴァニア鐵道のリストは No. 1 Heavy melting Steel Scrap に付て八月よりも低値を示して居る、即ち一ヶ月以前の一九弗五〇仙乃至一九弗七五仙に對して最近は一八弗七五仙乃至一九弗一五仙が大勢を占めて居る。數日前迄、屑鐵を購入するものも豫想されて居た各工場は更に其の買入れを延ばした。低値氣配は現はれ始めた、商人は一級品に對して一八弗以上で買付の申込をして居るが消費者の買入缺乏の點より觀れば一八弗乃至一九弗位の邊の引合を見ることにならう。之を一ヶ月前の一九弗乃至一九弗五〇仙の高値の標準に比すべくもない云々」を越えて十三日には「工場の買入消滅の繼續は市價をして公稱價格たらしむ」ピッツバーグ地方の屑鐵市況は軟弱の氣配が益々伸びて來た。併し市場からの工場の退去が繼續して居るので、市價は名義上の公稱價格として表はれて居る。本月の販賣高は極めて低い。市場に於ける一般的弱氣配にも不拘、將來に於ける伸長力の可能性がほの見えて居る。商人は良質材料大量を手に入れることは難事であるを報告し大多數の工場が市場に入るならば直に高値が現出すること必然であるを指摘して居る。大體の作業は好調であるから夫に應じて屑鐵の消費は高い、Heavy melting はノミナル一八弗乃至一九弗にして商人は一八弗で材料を買出すことは困難である云々」の、更に十八日には「僅少なから Heavy melting Steel No. 1 は一八弗二五仙乃至一八弗五〇仙で賣買さ

れたが、之は形式上の公定市價となつて居る云々」二十日には「屑鐵市場は尙昏睡状態を續け商人は工場の委託を受くる興味を失つて居る。過去數週間内に爲された買入の貧弱は更に重大なる製鋼高の減退の前驅たることを表示された。而して鋼塊製造高の減少は鋼材の減少を招來し、且鋼塊生産高の低い時期には鋼材工場から得らるる屑鐵は添加的屑鐵の需要に對する必要を排棄せる往時の程度に止めらるることが指摘されて居る。工場買入の輕少なるに不拘、良質屑鐵の供給は過剩といふ程には至つて居ないし、材料の供給が屑鐵値段に著しい變動を惹起する程大量であるとも思はれぬ。公定市價は保合つて居るが販賣の欠缺して居る點よりすれば大體名義上のもの云ふべきである。Heavy melting Steel Scrap は最近の取引を基礎とすれば一八弗乃至一八弗五〇仙程度で引合さるであらう云々」を報ず

ヴァレー市況に關しては九月三日所報に於て「工場は多大の積荷取得を繼續し一當地に於ける消費工場側に於ける大量の需要は繼續して居る。彼等は手堅く積荷を入手して居る。Heavy melting Steel は供給潤澤過ぎることはない云ふのが實情である。デドロイド地方は依然壓縮屑板及ヤングスタウンの工場が自動車材料から好んで採る様な Heavy melting の好き集散地らしいが、之等の屑鐵は湖沼航路でバツファロー及クリーヴランドへ向けて直送されて居るので初冬の候此の湖沼航路が停止する迄は之の地方の商人はミシガン地方の屑鐵を期待することは不可能である。大體に於て市價は別表の通りであるが、地方商人は主要鐵道の拂下げが數日中に終るが其の時は現在ピツバークに於ける市價よりは高値が出現することはあるまいか



と思つて居る數日前少量の一級品は二〇弗で賣買されたが、今や一九弗乃至一九弗五〇仙を越ゆることはない。併し屑鐵の取引は少ない。買手は例年九月下半期以降に現はるる好轉換を待ち構えて居る云々。更に廿四日には「屑鐵の新規取引は此の地方の範圍では甚だ局限せられて居る。工場は舊契約の履行を受けつゝあり、新規取引はぼつぼつ商談中である。過去十日間内の Heavy melting Steel 及 Pressed sheets の小口賣買—それは此の繁忙なるヴァレー地方の一些事であるが—は五、〇〇〇屯を越ゆることはあるまいと思積らる。Heavy melting Steel はコッパークの同一步調を探りて峠を下り、今日では一八弗二五仙乃至一八弗五〇仙程度となつた。而して一八弗五〇仙は明白に最高値段である。良質材料は近き將來に於ては増加するよりも寧ろ減退しないかと思はれて居る。此の現象は南部ミシガン地方の活潑なる供給地が次第次第に鈍状を呈して來た事に負ふものである。更に此の事情はバファロー及クリーヴランド向の船積がデドロイドの手持者から Pressed sheets を一掃し、此の地方及ピツバーク向の物を残り少くしたことを見れば理解出来る事である。デドロイドに於ける品薄は茲數週間は益々甚しくなるべしと思惟せらる」云々を報じて居る又クリーヴランド市況に關してはD、M、T紙九月十日は「一般氣配は悲觀的—屑鐵市況は表面甚だ靜穩である、ブローカーは或る品種に付ては人手困難なること及屑鐵生産者及小商人は値上りを期待して供給手控の態度を持して居ることを主張して居る。氣配は一般に悲觀的である。市場は活況期に亞く、沈靜期に入つたものと觀られて居る。市況の條件は工場の活況如何に殆ど左右せらるることは世の認むる所である。

而して今期に既に現はれた所であるが各工場は異常な受注を持つて第四季に入ることであらう。建築界の活況は建築鋼材の旺盛を示し、鋼板の需要増加を導くこと必然である。車輛製造は鐵鋼に對する主要なる賣口であるが、車輛業者は年末迄の殆ど全能力一杯の注文を有して居る。年末迄の一般製造工業者の鋼鐵需要増加は大多數の信ずる所である。自動車の製造は稍減退し、製造者が來春の需要殺到を自當に産出増加を始める迄は漸減するだらう、此の自動車製造の減退は屑鐵の産出を減少せしむる、尤も自動車製造の後れることは必然屑鐵市況に低落氣配を與ふるものは限らぬがクリーヴランドに於ける市價は全體的には不變ではあるが、附近の市場は軟調顯著である。Heavy melting Steel No.1 に對して商人は一六弗五〇仙乃至一七弗を提供して居る。主要消費者は其の規格を緩め高爐用屑鐵をも受領して居ることを報せらる。二流工場は潤澤な荷受をして居る。兩者は大なる在庫品を作るに興味を向けて居る。新規の注文は未だ近頃は見ない」云々更に九月十七日には「屑鐵市場は可成りの Short interests に支へられて、極めて手堅い。No.1 Heavy melting Steel は一六弗五〇仙乃至一七弗である。工場の買入は輕少である、消費者側は數ヶ月間を支ふるに充分なる材料及在庫堆積をすることに熱中して居る」云々を報じて居る。セントルイ市況に付ては九月九日所報は「屑鐵市場は地方商人の大量積荷一部分的消費者の需要皆無しの爲に小緩となり No.1 Heavy melting Steel は一五仙安の一四弗五〇仙乃至一五弗の引合値段となつた、少數の消費者は買入れたが其の量は甚だ小であつて大多數の工場は注文引合を躊躇して居る」云々、同十六日には「市況は數日來の材料



豊富により更に崩れ、工場側の抵抗により市價は訂正された。併し此の低値で相當數量を取得することは稍難事であらう。鐵道は農産物方面の輻輳が稍減じたので屑鐵の運送が可なり旺盛である。中には短期間に無暮り見らるる程運搬したものもある。過去數週間の如き高値ならば外部からの輸送も出來たのであるが、前述の如き荷動は供給に關する考慮を促すに至つた。或る仲買人は販賣するよりも寧ろ自己の手許に寝かすを得策を考へて居る」云々を傳ふ

次にシカゴ市場に關してはD、M、T紙九月十六日は「此の地方に於ける最近の市況軟弱は益々明確な形を現はして來た。Heavy melting Steel は二五仙落ちて最高一五弗五〇仙の引合を見た。是は此の値段での賣買があつた結果である、商人間で一五弗乃至一五弗二五仙が唱えられ、消費者は一五弗乃至一五弗半を見込んで居る。茲數ヶ月間異常な活況で作業を爲して居る製造工業は夏期中に於けるより一層多くの屑鐵を供給して居る。此の地方に於ける製鋼業は輕微な減退を見せたが、此の期間に於ける屑鐵の消費に對しては目立つた變化を示して居ない、然し自動車の製造は益々旺んとなり、現在制限を受けて居る消費者の供給は若干の餘裕を得るであらう。商人の手許には在庫品は少いが之は現物は直に工場の消費に振向けられ、又は注文に應じて積出される爲である」云々を、九月廿五日所報に於ては、Heavy melting Steel Scraps は二五仙落ちて、今日の引合値段は一四弗七五仙乃至一五弗二五仙となつたが、約一〇、〇〇〇屯乃至一五、〇〇〇屯は此の値段で商談成立した。メルチングの此の低落は他にも響いて大體他種屑鐵も二五仙内外の下廻り

となつたが、市況は左程下押氣配が濃厚ではない。消費者に對する積荷は確實振を繼續して居る。契約違反は以前よりは減つて來た。消費者も亦從來の嚴格なる仕様を緩和して、數量の増加を計らんとする希望の下に取引を爲す態度が見えて來た。製鋼作業の減退したことは此の地方に於ては消費者側に重大な影響を與ふるに足らない」云々を傳ふ。紐育市場に付ては單に軌條屑の一級品五〇仙値下を報ずるに止り這間の事情を掲げず

以上の斷片を綜合すれば消費者側は如何に市況の軟弱を招來するに苦心せるかを窺ふに足るべく、製鋼能率の減退をも尙忍びつつあるが如し

今市況一覽表、鉄鐵及屑鐵市價比較表並に屑鐵市價高低歩合表を掲ぐれば別表の如し

ハ、鉄鐵及屑鐵市價比較表

月	ピツパーク		デアレー		東部ペンシルヴァニヤ	
	弗	弗	弗	弗	弗	弗
一月	一九、九〇〇	一九、〇五九	一七、五〇〇	弗	一〇、一五〇	一六、五〇〇
二月	一九、八〇〇	一八、六三三	一七、五〇〇	弗	一〇、三〇〇	一六、五〇〇
三月	一九、一一〇	一八、三六七	一七、六〇〇	一八、〇〇〇	一〇、二五〇	一六、二五〇
四月	一九、一〇〇	一八、六一五	一八、〇〇〇	一八、三三五	一〇、二五〇	一六、〇〇〇
五月	一九、一〇〇	一八、〇〇〇	一八、三〇〇	一七、八七五	一〇、二〇〇	一六、一〇〇



月	市價	高低率	前月(一九二九年八月)平均	前年同月(一九二九年九月)平均
六月	二〇、七六〇	一八、四二五	一八、五〇〇	一七、七五〇
七月	二〇、七六〇	一八、四八八	一八、五〇〇	一七、七五〇
八月	二〇、七六〇	一八、九〇〇	一八、五〇〇	一八、二五〇
九月	二〇、七六〇	一八、二五〇	一九、〇〇〇	一九、八五〇

二、屑鐵市價高低比較

(デューリー、メタル、トレード紙による)

品名	一九二九年九月二五日		前月(一九二九年八月)平均		前年同月(一九二九年九月)平均	
	市價	高低率	市價	高低率	市價	高低率
ビツパー	一八、〇〇	100	一八、九〇	105	一六、五五	90
東部ペンシルヴァニア	一六、〇〇	100	一六、七五	105	一四、六五	92
シカゴ	一五、〇〇	100	一五、〇〇	100	一三、九〇	86

(アイアン、トレード誌 一九二九年 九 二五)

米獨屑鐵商ノ協調

デューリー、メタル、トレード紙 九、一八

獨乙に於ける屑鐵商人及製鋼工場は斯業に伴ふ損失及危険を相互に防護して居るが彼等は協働こそ共通的

問題を解決する鍵であることを認めてゐる。去る九月十六日に於ける屑鐵協會 The Institute of Scrap and

Steel Inc. 會長 Benjamin Schwartz 氏、獨乙屑鐵聯合會幹事(The Scrap Iron Association of Germany) たる

Dr. Max Gerder 氏の會議に於て示された所は實にそれであつた。此の協働は屑鐵規格の統一、受領拒絶の貨物に對する第三者の検査並基準的契約によつて實現されて居る

Dr. Gerber はアメリカ協會を訪問し此の國(米國)に於ける屑鐵狀況を攻究し、歐洲に於ける屑鐵業の各團體に對する報告書を作成すべく獨乙聯合會より委任せられた。米國協會と獨乙聯合會とは報告を交換し便益を圖り合ふことなるものと期待せられて居る

獨乙に於ける狀況は米國に於ける條件に對して著き對照をなして居る即ち此處では各工場は屑鐵に對し各別の規格を有し、各消費者は彼等の仕様に基て如何なる物が善良なる積荷であるかを自ら決定して居り、又屑鐵の商人及消費者相互の競争を適宜防壓するものがなく、何彼に付けて不利益である。獨乙に於ては製鋼工場側と商人側とが各別に團體を作つて居る。工場側は中央購買會を組織して居り、商人側は別個の販賣代理人の手を通じて其の屑鐵を賣込んで居る

獨乙の各工場は毎月會合して其の月の需要高を論定し、其の期間中の各工場の割當高が指定せられる。同様に各商人は商人團體の機關(販賣代理人)を通じて引渡すことを契約すべき割當高が與へられることになつて居る。工場側の購買會は屑鐵を買取り各工場の割當高に應じ必要とされる場所へそれを配給するのであ



る。工場を代表する獨乙鐵鋼協會 The Iron and Steel Institute of Germany は層鐵消費高、工場生産層鐵高、在庫層鐵高並市場需要高を發表し斯くて賣買兩者は完全なる事實の認識の下に契約を締結する運びなる。

商人及工場間の關係は總て過去三ヶ年繼續して來た契約によつて取極められて居る、各商人は更に彼等の販賣代理人と契約を結んで居る。契約によれば層鐵價格は Heavy melting Steel Scrap の値段を標準價格とし、其の他の總ての層鐵商品は Heavy melting Steel 以下で各別に一定の値付がされることに規定してあるから、各商人に對しては一定しては居るものの、層鐵の價格は需要供給の狀況に従て變動するのである。尙契約は一ヶ月に一度工場及商人が計算すべきことを規定す、各工場は各方面から荷受した層鐵の平均價格、平均運賃及購買會の費用の平均負擔額を支拂ふものとす。商人は一ヶ月に又は三十日以内に三度代金の支拂を受くるものである。

## 海外雜報

### 波蘭に於ける平爐生産能力倍加

ハンブルグ九月十六日

波蘭上部シレシヤ・フリデンシュツテ市フリデンシュツテ會社は米國の投資を受けざる波蘭に於ける唯一の重要製鋼所なるが組織を改變し以て其の生産能力を擴大したり

同會社は平爐六基を増設したるを以て其の生産高は年間一五〇、〇〇〇噸より三〇〇、〇〇〇噸以上に増加すべく増設平爐中五基は既に操業を開始し六〇噸爐の第六平爐は十月中には火入を見るに至るべし

### 英國銑鐵價格強調

製鐵所は尙生産費高く利益尠し、鋼市場は鉄力板を除く外靜穩

ロンドン九月十七日

事業界は夏季休暇以來少しも回復せざるも遠からず好轉の氣勢を示せり。過去數箇月間の銑鐵需要は常に良好にして引續き相當期間の活況期待せらる。

英國市場に於ては大陸銑の競争既に止みたるを以てクリーヴランド製鐵所は國內の注文に依り作業の好況を



示し其の十月中の産出高の大部分を處分せり、燃料の不足は高價は生産高の漸増を防ぐるも銻鑛爐数は五月以來増加して目下一七〇基を數へ一九二七年七月以來の最高數字を示せり

クリーヴランド第三號鑛物銑は噸當り三磅一二志六片(三五圓一六錢)を稱ふるも生産業者は尙利益の甚だ少きを啣ち又へマタイト生産業者も價格の高からんことを希望せり、然れども價格の上昇は對外取引を危険ならしめ特にへマタイト工業にりては最も重大問題なり。生産費は尙増加を續け二三の銻鑛爐は操業中止の外なきものと思はる

鐵鋼製品は今なほ夏季休暇の影響を脱し得ず引合は増加しつゝ、あるも新取引額は少し。造船所よりの注文不活潑にして特に厚板に於て然りこす。造船所の作業状態は大部分良好なるも新注文殆んごなし

シート市場は靜穩なるも鋳力板市場は秋季の需要増加と共に活況を呈し價格強調且上向傾向を示し諸工場は制限したる産額の範圍内に於て先物契約をなしつゝ、あり。海外の需要家は一九三〇年の需要に對し既に引合を開始し居れり

約二〇、〇〇〇、〇〇〇磅の合同資本を投資せりと報ぜらるゝボルコウ・ヴォーン會社ミドルマン・ロング會社の合併に關する最近の報道は兩會社より何等正式に發表する所なきを以て精確ならず

### 伊太利のスチールカルテル組織

全生産業者の九五%を含む

ローマ九月十三日

國內生産能力の約九五%を抱擁する伊太利のスチールシンヂケートが政府の口添に依り組織されたり。局部的のシンヂケートは約一年前設立され *Conorzio Italiano delle Acciaierie e Ferriere* の名の下に株式會社として組織されたり。此のシンヂケートは一六會社より成り其の生産高は國內總生産高の約三分の二を算せしもミランに *Acciaierie e Ferriere Lombarda* を稱する重要團體ありて加入を拒絶したるが爲め國內市場に於ては尙競争の激烈なるものあるを見たり、然るに新シンヂケートに於ては此の團體をも加入せしめたるを以て市場の統制生産の合理化双方共に期待せらる

國內の製鋼業は一二〇基の平爐と六〇基の電氣爐を有し其の生産能力合計年三、〇〇〇、〇〇〇噸を算す、然れども年産額は二、〇〇〇、〇〇〇噸に達したることなし。前記の生産高は四〇の製鋼會社の産出に係はるものなるが二三小會社の生産高は年間二〇、〇〇〇噸に充たず、價格は高し、是れ非經濟的方法を探る工場あるが爲にして又一部は原料供給に關する一般的競争に基因せり。新シンヂケートに於ては共同購入組織により會員の爲に一切の原料を購入するの計畫をなせり

シンヂケート加入會社は其の評價生産能力に應じて生産高を割當らるるに至るべし。内國市場價格は騰貴すべく又或地方に於ては噸當り百リラの騰貴は必然的なるべしと思はる。一九一三年の伊太利の鋼生産高は僅に九三三、〇〇〇噸なりしも一九二五年には一、七八五、五〇〇噸に達し其の後減少して一九二六年には



一、七七九、五〇〇噸、一九二七年は一、五九四、五〇〇噸、一九二八年は一、六九二、六三二噸を算したり、伊太利の生産品は専ら國內の需要に應ぜんとするものなるが故に國際スチールカルテルに加入せず云ふ伊太利の態度に對し此のシンヂケートの設立が影響を及ぼすことは萬々なかるべし

戰前伊太利の鋼生産業者シンヂケートは伊太利に對する半製品建築用材及軌條の輸出を管理せる戰前の獨乙製鋼業組合と或る關係を有したりしが其協約は戰後更新せらるる所なかりき

### コーカサスに於ける滿俺鑛の大貯藏

ハムブルグ九月十六日

最近露西亞政府はユー、エス、スチール・コーポレイションと大量の滿俺鑛石賣買契約を締結せしが米國ハリマン會社との採掘契約解除後露西亞政府が作業を開始して以來ジョルジア諸鑛山の産出高激増を示し歐大陸消費者の注意を喚起するに至れり。採掘作業状態は頗る良好にして黒海諸港及山元に於ける滿俺鑛石の貯藏量新レコードを作り、其の結果獨逸の滿俺鑛石商人は結局露西亞政府が世界市場に大影響を與ふべきダンプングを爲すの止むなきに至るべしとなし鑛石の先物購入を手控へ居れり

ジョルジアに於ける六月の滿俺鑛貯藏量見積は五〇〇、〇〇〇噸を算し一九二七年—一九二八年會計年度の生産高は三〇四、〇〇〇噸なりしが一九二八年十月一日より一九二九年六月三十日に至る産出高は七四

七、五〇〇噸に達したり、然れ共輸出高は同期間に於て二〇三、〇〇〇噸より四二八、〇〇〇噸に増加せり、又同一期間に於ける露西亞國內の消費量は七三、〇〇〇噸より約九〇、〇〇〇噸に増加し、ジョルジアの諸鑛山及諸港に於ける一九二八年十月一日現在のストックは約二〇〇、〇〇〇噸を算したり

### クルツブの新第二鑛鑪火入

ハムブルグ九月十六日

フリードリツヒ・クルツブ會社はボルベックに於ける新第二鑛鑪の火入れをなしたり、同會社はノブオロシスクのガイダツクに在る露西亞最大のセメント工場建設工事を殆んぞ完了し機械の据付をもなしたり  
シーメンス・ホルスク會社は最近支那漢口ミ揚子江沿岸諸都市との通話を全部自動式電話とする建設工事の請負契約申込を受けたり

### 獨逸の出銑量増加

ハムブルグ九月十六日

過去數箇年間に於ける獨逸高爐一基當りの産出高は大鑛鑪の建設と舊式鑛鑪の廢止により著しく増加したり

一九二五年八月末の鑛鑪數は九四基にして其の生産高は七〇七、三一一噸なりしが本年八月の鑛鑪數



は九五基を算し、一六七、八〇七種の生産高を示せり  
明年中には二十基以上の舊式爐廢棄の豫想なり

以上 アイアン・エーヂ 一九二九年 十月三日

### タタ製鐵會社最近の業績 (インド)

(昭和四年九月十七日附在カルカッタ村井總領事報告)

今般タタ製鋼會社の最近の業績發表せられたる處、右要領左の通り。

(本調書は九月十日新聞紙上に發表せられたる本年三月末迄の一年間(一九二八―二九年度)タタ鐵鋼會社の業績報告に依る)

タタ工場の最近二年間の生産高左の如し(單位噸)

一九二七―二八年	一九二八―二九年
コークス	七三九、五三九
銑鐵	六四四、二九六
鋼インゴット	五九九、五六五
鋼製品	四二八、六五四
	二七五、八四一

即ちタタ社の印度國內に對する鋼製品の供給は、前年度に比し約十五萬噸を減じたる譯にて、右不足數量

は外國よりの輸入に依り填補せられたり

而して當一九二八―二九年度中、同社が販賣契約せる鋼製品の内譯次の如し(單位噸)

Rails 123,485 fishplates 2,990 bars 57,476 light structural 25,517 heavy structural 26,381  
plates 33,339 black sheets 15,284 G. C. sheets 9,584 及 G. P. sheets 1,914

次に會社の利益は一九二七―二八年度に於て五、八二二、二四三「ルピー」二「アンナ」六「パイ」にして、此内優先株主への配當額五、一二二、三三八留比一二安を算し、差引當年度への繰越高六九八、九〇四留比六安六杯なりしが、當一九二八―二九年度に於ては六八一、五四三留比一四安の缺損を告げ、右繰越高の大部分を消費し残額僅に一七、三六〇留比八安六杯こなれり

以上の如く當年度生産及収益に於て不成績を見たるは、昨年四月以降數箇月間の長期に亘れる罷業(備考)の結果にして、右罷業は昨年九月一日解決を見たるも、右解決後も尙労働組合間の軋轢に基く労働爭議繼續し、昨年十二月及本年一月頃罷業再發を懸念さるゝの狀態となり、更に又本工場と密接の關係ある

Tinplate Co. の工場に於ける罷業の影響を受け、本工場労働者も動搖を免れざりし事實あり、而して右の如き事態は現に本工場の生産能率を甚しく削減せるのみならず、近く極めて低廉なる生産費を以て鋼生品の生産を増加せんとする計畫の實現に頓挫を與へ、勢ひ會社の事業方針は守成的となり、從て種々の新規建設計畫の實行は遅延の餘儀なきに至れり。されど新設計畫の大半は本年末迄には完成の筈なり



尙昨年十月より本年三月迄の従業者出勤成績は、工場内職工一日平均一九、〇二五名、外勤者同二、一一九名にして、役員の数は一九一八年四月一日一四八名なりしも、一九二九年三月三十一日には一三四名に減じたり

(備考) タタ製鐵所に於ては一九二八年四、五月中部分的罷業續發し、六月一日終に總罷業となり、九月十二日の解決復業を見る迄大部分の工場閉鎖されたり、罷業解決條件は同社の労働者を結局三千乃至三千五百名減員すること(被淘汰者には適當の補償をなすこと)、勞銀を年七、八十萬留比増額すること、割増賃銀十萬留比を支給すること等なり。

### 英國銑鐵市況

倫敦十月十四日

銑鐵の需要尙強調を支持し供給は直接消費せられつゝ、あるも九月の鋼生産高は減少を示せり銑鐵の輸出貨易不振の爲銑鐵の將來は聊か不安の感あり本月クリーヴランド銑鐵の賣行は好況を呈せるも生産費の増加は不安の種なり

ヘマタイト銑は内外市場共に活況を呈せる爲十月には稍々購入困難を感じるに至れるが相場は不變なり鋼材は賣れ行き鈍く印度加奈陀に小取引行はれたるも尙輸出貿易は靜穩なり内國市場に於ては造船業者との間に更に大量の鋼取引新に取り極めらるゝ所あるも製板工場は尙作業の不足を吾ぐる状態に在り

九月の銑鐵輸出高は三二、五〇〇噸内六五噸は米國に輸出せるが鐵鋼の總輸出高は二九九、五〇〇噸に達したり

當地大陸鋼の取引は靜穩にて相場下向特に半製品及マーチャントバーに於て然りしす。ウエルスの消費者は若干屯數のシートバーを購入せるも其他の消費工業は外國材料を殆ど購入せず

鐵力板の需要は活況を呈し工場渡一箱當り一九志一、一九志三片(九圓六〇錢一、九圓七〇錢)の相場にて多量の取引あるを見る。鐵力板工場に於ては先物取引行はれ一般傾向良好なり

亞鉛引薄板は靜穩にして價格低廉、黑板は日本向依然として不活潑を續く

ドルマン、ロング及びバルコー、ヴォーガン兩株式會社は正式に合同計畫を發表せるが、新コーボレーシヨンの總資本高は一七、〇〇〇、〇〇〇磅を越ゆべし

### 國際鋼カルテル會合の結果

ジュツセルドルフ九月三十日

一九三〇年三月三十一日迄國際鋼カルテルは暫定的に延期せられたるが之れが爲め同カルテルの更新計畫準備に任命されたる委員は更に研究時間の餘裕を與へらるること、なれり。カルテルウイン會議の聲明書を見るに各團體は皆融和的精神を示し一日も早く確固たる協約の達成せられんことを滿場一致希望せり



然れども一方非公式の出所に依れば其の會合の結果は聲明書の報ずるが如くに満足なるものにあらざるが如し。獨逸の割當額増加の要求に對し反對を見たるが結局生産超過に對する罰金を前罰金額の二五パーセントまで減額する事により和解したり。從來獨逸は割當額超過七・五パーセント迄の生産超過に對して一噸當り一弗、次の二・五パーセント迄二弗、一〇パーセントを越ゆる場合に於て四弗の罰金を支拂へり、然れども次の六ヶ月間の假協定の下に於ては超過噸數最初の七・五パーセント迄は一噸當り二五仙、次の二・五パーセント迄は五〇仙一〇パーセント以上は一弗を支拂ふことなるべし。是等の罰金が餘りに少額に過ぎる爲割當額は増加せられざるも獨逸の生産額は結局從來よりも一層割當噸數を超過すべきことあるべしことなす一部論者あり

カルテルの六ヶ月延期は獨逸國內シンデケートの更新を商議するの時間を與へ、粗鋼シンデケートは本年末迄には更新せらるゝに至るべしと信ぜらる。獨逸販賣シンデケートの多くは明年の中頃期限満了することなるが其の更新はフレドリッヒ・クルツツ會社・マンネスマン・チュウブ會社との協商如何に依る

### 歐洲のワイヤー競争價格を引下ぐ

ハムブルグ九月三十日

大陸のワイヤー市場に於ける取引高は増加しつつ、あるも價格は下向傾向を辿りつつ、あり。獨逸ワイヤー製

造業者シンデケートの報ずる所に依れば九月の最初三週間の注文は八月の總計を超過し七月より約一五パーセント多しと云ふ、然れども相場は低落の步調を辿り亞鉛引ワイヤーは一噸當り九磅四志（一封度當り二、〇二仙）ブライト・ワイヤーは七磅五志（一封度當り二、〇二仙）棘線は一一磅一〇志（一封度當り二、五三仙）に下落せり。白耳義壓延工場は或場合に於ては一噸當り數志の値引を行ひつつ、あり

金網市況はワイヤー市況より良好ならず。價格は英國標準價格表を下るこ目下八四―八四・二五パーセントにて安値レコードを作り大陸金網製造者間の競争激烈となりたる爲二三の壓延工場は競争不可能となり又埃太利及びチエコスロバキヤの製造業者は市場より放逐せらるゝの止むなきに至れり。英國製造業者も亦影響を受け大陸相場より一五―二〇パーセントの高値に在る相場を以てしては英國製品に特惠關稅の賦課せらるゝ、自己の市場を除いては金網の販賣不可能なる状態に在り

### 伊太利は鐵鋼業の調節を計畫す

華盛頓十月十一日

商務局着報に依れば伊太利鐵鋼業の作業關係を明かにせんとする斯業の調査計畫は既に相當の進捗を示せり

主なる目的の一は各生産業者間の競争を抑制するの手段を發見するに在るが内國市場は競争の結果大混亂



の状態にありと報せらる。調査に關する會合には、政府委員工業代表者並に國粹黨員にして冶金學協會委員たる Gunnison 教授等の出席を見たり。其の結果は、伊太利政府援助の下に生産費の引下、組織的生産、専門化の助長、工場の作業能率増進並に原料、製品の輸送上 unnecessary 時間と費用の除去に關する聯合運動を行ふことに決定せり。この大規模の計畫は單に直接の目的を達成するに在りし稱せらる、も後には生産者、消費者の相互利益増進の爲め地方市場の調節並に價格の安定にも努力せらる、に至るべし

### 日本の鋼輸入増加

横濱九月十七日

外國鋼輸入防止の努力は一九二八年に於て多少の成功を見たるも、本年上半期の鋼輸入額は著しき増加を示せり。鋼棒の總輸入高は六〇、六九〇噸に達し月平均額は昨年約五、〇〇〇噸弱に比し一〇、〇〇〇噸以上を示せり。アングルの本年上半期總輸入高は一四、二四二噸にして月當平均は昨年約一、五〇〇噸に比し二、三七二噸を算し、孰れも増加を見たるもレールは反對に減少し昨年約三、六一一噸に比し二、八二八噸に減少せり

### 國際チユーブカルテル及び國際線材カルテル更新

倫敦九月三十日

ブラッセルに於ける國際線材カルテル會議に於て特に目立ちたる點は佛蘭西の會員が、一九三〇年末迄同カルテルの延長に對して、同時期迄に佛蘭西ワイヤー製造業者シンヂケートを組織せざるべからずと云ふ盟約を附せず同意したることに在り

國際チユーブカルテルの最近の會合に於ては何等の改變を見ざるも大陸チユーブ製造業者と英、米及び加奈陀の製造業者間に意見の大相違を來たせるは事實にして又獨逸壓延工場も生産割當額に不満足の意を表せり

### 一九二九年九月中英國鐵鋼産額

倫敦十月十二日

九月の鉄鐵生産額は六六四、六〇〇噸に達し鋼塊及び鑄物は八四七、九〇〇噸を示せり。九月の鉄鐵生産額は本年中に於て第三位に在るも鋼産額は第二位なり。而して鋼生産高の第一位は三月の八五九、九〇〇噸なりとす

最近産額の比較表を示せば次の如し(英噸)



年	銑 鐵		鋼塊及鑄物	
	噸	價	噸	價
一九一三年月當り平均	八五五	〇〇〇	六三八	六〇〇
一九二〇年 同	六六九	五〇〇	七五五	六〇〇
一九二二年 同	四〇八	五〇〇	四九〇	一〇〇
一九二三年 同	六二〇	〇〇〇	七〇六	八〇〇
一九二四年 同	六〇九	九〇〇	六八五	一〇〇
一九二五年 同	五一九	七〇〇	六一六	四〇〇
一九二六年 同	二〇三	五〇〇	二九六	七〇〇
一九二七年 同	六〇七	八〇〇	七五八	二〇〇
一九二八年 同	五五〇	九〇〇	七一〇	四〇〇
一九二九年上半期月當り平均	五九九	六〇〇	八一三	八〇〇
一九二九年 八月	六八二	〇〇〇	七五三	三〇〇
一九二九年 九月	六六四	六〇〇	八四七	九〇〇

### 八幡製鐵所の屑鐵輸入

横濱九月十七日

本年屑鐵及屑鋼の若松港輸入高(製鐵所構内岸壁渡)は多額に上り其の殆ど全部は米國及印度よりの供給に屬せり。本年上半期中屑の製鐵所購入額は七九、七一九噸に達し其の中三八、八五七噸は米國より三九、〇五〇噸は印度より來れるものにして其他の分は一、八一二噸に過ぎず一ヶ年を通したる一九二八年中の若松港輸入噸数は七七、六四噸を算したり

### 獨逸鐵道半ヶ年の設備購入費五千萬弗に達す

ハムブルグ九月三十日

獨逸鐵道コーポレーションの一九三〇年上半期中の車輛購入計畫發表せられ急行列車用機關車五〇臺を含み其の價格七、〇〇〇、〇〇〇馬克(一、六六六、〇〇〇弗)に達す。客車及貨車の總費用は七〇、〇〇〇、〇〇〇馬克(一六、六六〇、〇〇〇弗)線路設備は一四〇、〇〇〇、〇〇〇馬克(三三、三二〇、〇〇〇弗)に上る

### 白耳義銑鋼輸入増加

ワシントン十月十五日

伯林發商務局着報に依れば白耳義銑鋼業の外國銑鐵に對する需要は着々増加しつゝあり。一九二九年七月



迄の白耳義鉄輸入高（ルクセンブルグを含む）は四〇七、〇〇〇噸に達し昨年同期の二八一、〇〇〇噸に比し著しく増加せり

本年七月迄の獨逸よりの輸入高は一三五、〇〇〇噸以上に上れり

以上 アイアン、エーヂ 一九二九年 十月十七日

### 匈牙利の鐵及鋼産額増加

華盛頓十月十八日

ブタペスト發商務局着報に依れば匈牙利機械工業に依る需要の増加並に輸出の増大は一九二九年上半年中の鉄及粗鋼の産額を増加せしめたり。本年上半期中の鉄生産高は昨年上半期中の一三六、八五七噸に比して一八四、三二〇噸を算し粗鋼生産高は昨年の二二三、五〇〇噸に對して本年は二四一、四四〇噸を算し孰れも増加を示せり

### 獨逸は屑鐵價格を引下ぐ

漢堡十月七日

屑鐵鋼の價格は再び下落し第一號ヘイメルチング鋼は引渡一噸當り六四馬克（三〇・五〇圓）の相場を示し又其他の屑は一噸當り一一二馬克（五〇錢一圓）方値引せられ居れり

八月中の輸入屑鋼は總額四七、〇〇〇噸に達したるも供給豊富にして輸入は新相場にては減少するものに見らる

### 獨逸化學工業は無錆鐵を製造すべし

漢堡十月七日

獨逸染料コーポレーションは化學工業用の設備を製造すべき無錆鐵部の設置を計畫しつゝ、ありこ報ぜらる。化學工業に於ける無錆鐵の使用は近來著しく増加せるを以てクルツブニロスタ專賣特許に依る工場製造設備は有利なるもの之信ぜらるゝに至れり

### 獨逸ケーブル製造業者は亞米利加に工場を設立すべし

漢堡十月七日

獨逸の十ケーブル製造業者は共同輸出コーポレーションを組織せるが新會社は海外市場に對するケーブルの輸出を業とし、其の主要目的は言ふ迄もなく關稅が高きに過ぎる爲ケーブルの輸入困難なる諸國に工場を設立するに在り。目下新會社は亞米利加にケーブル製造工場の設立を計畫中なり。本年獨逸のケーブル輸出額は月當り平均五、〇〇〇噸に達したり



### 本年上半期日本の銑鐵産額

横濱九月十一日

銑鐵の主要生産者は八幡製鐵所及南滿洲鐵道會社にして上半期中の日本總銑鐵産額は七五三、五九一噸に達す

内譯 次の如し (噸)

八幡製鐵所	四〇三、七七九
南滿洲鐵道株式會社	一一一、三六八
三菱製鐵	七六、八〇四
日本製鋼	五七、九一二
大倉鑛業	二八、一四五
淺野造船所	二九、二八一

銑鐵産額は増大したるも尙輸入を必要とす。八幡製鐵所の一九三〇年の鋼生産計畫は一、三五〇、〇〇〇噸以上なるも銑鐵能力は八六〇、〇〇〇噸を越へず

### チエコスロバキヤの銑鐵産額増加

ワシントン十月十五日

プレーグ發商務局着電に依れば八月中のチエコスロバキヤの銑鐵生産高は一三八、〇〇〇噸に増加したるも鋼生産高は一八五、〇〇〇噸に減少す

### 日本の薄板輸出

横濱九月十一日

八月中の亞鉛引薄板の輸出總額は五、〇二八噸にして、中、三、一八七噸は平板一、八四〇噸は波板なり統計公表に依る輸出數量(枚數)及仕向地を示せば左の如し

南洋諸島へ	五〇五、四〇二枚
支那へ	二二二、六一七 "
關東州へ	二二五、〇一〇 "
暹羅へ	一四七、一四二 "
滿洲へ	四一、四九九 "
香港へ	四〇、七〇〇 "
英領印度へ	一五、六二六 "
比律賓へ	五、八〇〇 "
亞細亞露西亞へ	五、六〇〇 "
合計	一、二二二、二九六 " (五、〇二八噸)



## 英國の國際軌條割當額超過の見込

漢堡十月七日

約八、〇〇〇、〇〇〇磅に達する軌條及鐵道材料の製造方を英國壓延工場に注文せんとする英國、アルゼンチン間の取引契約は恐らく國際軌條製造業者組合の英國割當額に超過を來すものも期待せらる。英國壓延工場は此契約に依り亞爾然丁のレール注文を全部引受くるに至るべきが故に英國の組合割當額は直に消盡せられ従つて英國領土及植民地よりの注文は割當額に超過を來すべし、一方白耳義及ルクセンブルグの壓延工場に於ては組合員の割當増額に對して反對の旨を言明し居れり

## 獨逸マンネスマン會社はザール壓延工場を管理せず

獨逸マンネスマン、チューブ會社は佛蘭西マンネスマン壓延工場「Aeteries et Usines a Tubes de la Sarre」株の六五パーセントの管理を獲得せり云ふ獨逸よりの最近報道は「里の Jouvrol & Requiennes」會社に依り誤報なる旨聲明せらる、而して本會社は (Jouvrol and Requiennes) ザールに於けるマンネスマン壓延工場株の三四パーセントを所有し他の佛蘭西チューブ製造業者は其の二六パーセントを、獨逸マンネスマン、チューブ會社は残りの四〇パーセントを所有す云ふ

## 露西亞は技術的援助を米國會社に希望す

南露西亞商業會議所及獨逸製造業者最近の代表委員會に於て露西亞外國貿易長官 Gunewitch は露西亞内に於ける外人の技術的援助協定の事情を次の如く指摘したり。過去四ヶ年間に斯の如き協定數七十一に達し其の中三〇は獨逸會社一七は米國、殘餘の二四は英國、瑞西及佛國の諸會社との間に協定せられたり。尙今後の傾向は米國會社に契約するの希望を有す。其の理由とする所は米國會社は獨逸其他の會社よりも自己工場の改善に就いて比較的開放的にある點にあり

## 米國は主として英國鏡鐵を輸入す

本年八月一日迄の鏡鐵の輸入總額は一一、二四三英噸に達し其の中、一〇、八六八噸は英國より、三七五噸は獨逸より輸入せり

英國鏡鐵一〇、八六八噸の米國輸入港別噸數を示せば次の如し

ニューオリアンス港	三、五四三噸
フィラデルフィヤ港	二、五五〇
メーリランド	二、二三五
シカゴ	二、〇〇〇
マサチューセツ	二四〇



ロスマンゼルス	一三五
ワシントン	九〇
紐育	五〇
桑港	二五
總價	三二四、四九〇弗（一屯當り二八・九四弗）

英國鏡鐵輸入一〇、八六八噸の價格は三一四、四九〇弗に達し屯當り二八・九四弗を算す。獨逸鏡鐵の總價格は一二、三二〇弗、一屯當り三二・八五弗にして桑港及ロスマンゼルス港より輸入す

### 獨逸の軌條價格引下

漢堡九月三十日

維納に於ける國際軌條製造業者組合の最近會合に依りレールの公定價格一噸當り六磅一七志六片（三三・三四弗）は其の儘据置きとなり何等改定せらるゝ所なかりしが獨逸壓延工場は本年第二及第三四半期中噸當り七磅（三三・九五弗）にて賣却し來りし軌條價格を六磅一八志六片に引下げたり、然れども尙公定價格よりは適當り一志方高價なり

### 瑞典のスボンヂ鐵工場能率を増加す

瑞典のスボンヂ鐵製造業者 Hogans 會社は需要増加の爲春期及夏期中著しく製造能力を増進せり、近來

注文頗る多額に上り其の結果工場の改築中は新注文は引受けられざりしを報ぜらる。提案中の新關稅に於てはスボンヂ鐵は一噸當り二弗の特別項目に掲げらるゝも現行關稅に於ては鉄鐵と同率にあり

### 露西亞は米國の採炭法を採用す

ソビエト聯邦に於ける最大採炭業者たる「ドヌゴール石炭トラスト」はドネツ盆地に約三百の炭山を経營し居れるが最近米國會社之第四回目の技術援助契約を締結せり、新契約は紐育の Stewart, James & Cooke, Inc. の締結せるものにして炭山及工場に於ける作業能率増進の援助を規約するものなり。Stewart, James & Cooke, Inc. は既にモスコイ石炭トラスト其他の石炭會社の顧問として行動しつゝあり

### ブラジルの製鋼業

ブラジルのマイナス・ジラス州に於ける鐵鑛床の開発作業はイタビラ鐵鑛會社に依り着々進捗しつゝありと報ぜらる。在リオデジァネイロ亞米利加商務官の報ずる所に依れば此の鐵鑛會社は、事業の遂行を要求するブラジル政府より採掘權を與へられ居れり。技師は目下ビクトリヤ、マイナス、ジラス鐵道より本鑛床に至る新線の敷設測定中に在り。目下サンタクルーズ港に於てはドックの手配準備中なるが又ドース河地方に於ては採鑛工場の建設準備せられつゝあり

以上 アイアン・エーヂ 一九二九年 十月二十四日所載



### 廣西鐵鑛

支那鑛業週報 第一輯 掲載

- 一 横縣高山塘鑛は南郷墟附近高山塘の後に在り北は河邊に臨み花崗岩あり砂岩中に侵入し變質岩を爲る鐵鑛は即ち變質岩内に在り現在變質岩は已に化して沙土となり中に成塊の赤鐵鑛及び褐鐵鑛の兩種あり成分頗る佳良なるが鑛量も亦多し
- 二 賀縣黃花崗又黃家寨と名つく附近半は道路傍の地より姑婆山麓に連る母岩を石灰岩と爲す火成岩の侵入を受けて接觸鑛を成す其鑛質を磁鐵及び褐鐵の二種と成す成分亦た甚だ佳なり土人以て鍋釜類を鑄利を獲するに頗る厚し將來交通便なるに至るにきは此鑛は經營の價値あり西灣の炭鑛は骸炭を製し得べく鐵鑛と石灰石とは同一地に在り
- 三 榴江縣和尚嶺等の各地に赤鐵鑛を出し其色澤銀鉛鑛の如し土人は誤て之を銀鑛と稱す交通便利なるに至らば此鑛は附近炭鑛所在地に運出して製鐵の上販賣するを得
- 四 陸川順安東堡等及び百色附近、中渡、大寨口、横總、恭城、馬灣、靈川、金縣、萬鄉、火燒、橋縣四頂等の各地に褐鐵鑛を産し土人之を用ひ鍋釜類を製し年中産出頗る多し各縣各署に於て其標本を採集し建設廳に送附陳列し及び分析したる結果鑛質成分甚だ佳良なり

### 統計

### 合衆國の屑鐵鋼輸出入

(英噸)

アイアン、エーヂ 一九二九年 十一月七日

輸出入先	一九三三年	一九三四年	一九三五年	一九三六年	一九三七年	一九三八年	一九三九年八月迄
白耳義	1	1	1	1	3	2	552
佛	25	1	1	1	1	1	1
獨	20	1	2	355	9,377	18,944	16,661
伊	1	17,051	3,626	33,477	30,185	73,348	65,700
波蘭及ダンチツヒ	1	1	1	1	1	1	1
英	1100	11,026	1,523	11,110	3,163	1,480	2,170
加 奈 陀	1,475	5,438	3,077	6,222	9,524	17,558	8,452
メ キ シ コ	30	405	261	89	2,963	4,711	5,877
アルゼンチン	1	1	5	1	1	410	1
支 那	7,433	18,106	5,677	3,834	4,017	9,233	6,695
香 港	1,020	1,124	1,024	1,921	7,721	11,011	3,172











銑鐵の月別日産額次の如し

月	銑鐵(製鋼所)	マーチャント銑鐵	合計
一九二八年 十月	八八、〇五一	二〇、七八一	一〇八、八三二
十一月	八八、四七四	二一、六一〇	一〇〇、〇八四
十二月	八五、四一五	二二、二九〇	一〇八、七〇五
一九二九年 一月	八五、五三〇	二五、五一四	一一一、〇四四
二月	八九、二四六	二五、二六一	一一四、五〇七
三月	九五、四六一	二四、三六一	一一九、八二二
四月	九五、六八〇	二六、四〇七	一二二、〇八七
五月	一〇〇、一七四	二五、五七一	一二五、七四五
六月	九九、九九三	二三、九一五	一二三、九〇八
七月	九八、〇四四	二四、〇五六	一二二、一〇〇
八月	九八、九〇〇	二二、二五一	一二一、一五一
九月	九五、四二六	二一、一五九	一一六、五八五
十月	九三、六四四	二二、一〇一	一一五、七四五

備考 マーチャント銑鐵には製鋼所にて産出せる市場向銑鐵を含む

操業爐數次の如し

地 方 別	十一月一日現在		十月一日現在	
	線業爐數	日産額(英噸)	線業爐數	日産額(英噸)
紐 育 州				
バツファロー	一四	七、〇八五	一四	七、二三〇
其他の紐育地方	三	一、〇六五	二	六一五
ニュージャージー州	〇	1	〇	1
ペンシルベーニヤ州				
レハイヴァアレー	七	△二、七三〇	七	△二、七五〇
スキュールキルヴァアレー	五	二、四三〇	五	二、三一〇
サスキイハンナヴァアレー	二	一、二〇五	二	一、二六〇
フェロマンガニース	〇	1	〇	1
レバノンヴァアレー	〇	1	〇	1
フェロマンガニース	〇	1	〇	1
ピツバーク地方	三六	二二、六〇〇	三九	二五、〇五〇
フェロ及スピイゲル	三	四九五	三	四六〇
セナンゴヴァアレー	五	二、二七〇	八	四、三七〇



西ベンシルベリア	八	四、三九〇	九	四、四一五
フエロマンガニース	二	四〇〇	二	三九五
メーリトランド州	五	二、九四〇	五	二、九八〇
ホーリリング地方	六	三、五二〇	七	四、一六五
オハヨ州				
マホーニングヴァレー	一八	一、五〇〇	二〇	一、二、六〇〇
中央及北部	一九	一、二、〇八〇	一八	一、一、四二五
南部	四	一、五七〇	四	一、五六五
イリノイ及インデアナ州	三三	一、三、〇〇〇	三二	一、三、九八〇
ミシガン、ウキスコンシン及ミネソタ州	六	二、九一五	六	二、八二〇
コロラド、ミズリー及ユータ州	四	一、四〇〇	四	一、八六〇
フエロマンガニース	一	七〇	〇	一
南部				
バージニア州	一	二五〇	〇	一
フエロマンガニース	一	九五	一	九〇
ケンタツキイ州	二	八五〇	二	七二五

アラバマ州	一六	七、四二〇	一三	六、〇二〇
フエロマンガニース	〇	一	〇	一
テネスシー州	二	三三〇	二	三三〇
合計	一〇三	一、一三、六〇〇	二〇五	一、一六、四〇五

備考 △印は鏡鐵を含む  
察印は修正したる

一九二七年一月より一九二九年十月に至る骸炭鉄の月別産額次の如し(英噸)

一九二七年	一九二八年	一九二九年
一月	二、八六九、七六一	三、四四二、三七〇
二月	二、九〇〇、二二六	三、二〇六、一八五
三月	三、一九九、六七四	三、七一四、四七三
四月	三、一八五、五〇四	三、六六二、六二五
五月	三、二八三、八五六	三、八九八、〇八二
六月	三、〇八二、〇〇〇	三、七二七、二二五
七 月	一八、五二〇、九二一	二一、六四〇、九六〇
上半期合計	三、〇七一、八二四	三、七八五、二二〇



製鋼會社の自家用産額次の如し(英噸)

月	銑鐵合計		
	スベイゲル及フエロマンガニース	一九二七年	一九二八年
八月	二,九四七,二七六	三,一三六,五七〇	三,七五五,六八〇
九月	二,七七四,九四九	三,〇六二,三一四	三,四九七,五六四
十月	二,七八四,一一二	三,三七三,八〇六	三,五八八,一一八
十月迄合計	三〇,八八八,一七五	三一,一六五,四三五	三六,二六七,四四二
十一月	二,六四八,三七六	三,三〇二,五二三	
十二月	二,六九五,七五五	三,三六九,八四六	
△年合計	三六,二三二,三〇六	三七,八三七,八〇四	

備考 △印は木炭銑鐵を含まず 一九二八年の木炭銑鐵産額は一四二,九六〇噸を算せり

月	銑鐵合計		
	スベイゲル及フエロマンガニース	一九二七年	一九二八年
一月	二,三三三,八八一	二,一五五,一三三	二,四九八,九六一
二月	二,二五六,六五一	二,二七四,八八〇	二,四九八,九六一
三月	二,六七五,四一七	二,五八八,二五八	二,九九九,二九五
四月	二,六七〇,九一九	二,五五五,五〇〇	二,八八六,〇八八
五月	二,六九〇,〇七八	二,六五二,八七一	三,〇一五,四〇四
上半年合計	一四,八七五,三五五	一四,六七五,四八八	一七,〇四〇,八四三
六月	二,三三三,四〇九	二,四四八,九〇五	二,九九九,七九八
七月	二,一六三,一〇一	二,四六四,八八六	二,六三九,三七〇
八月	二,二二二,八二五	二,五六一,九〇四	三,〇六五,八七四
九月	二,〇九〇,一〇〇	二,四七七,六九五	二,八六三,七九九
十月	二,〇七六,七三三	二,七九八,八九九	二,九〇三,六六〇
十月迄合計	二二,四三〇,二五三	二四,九〇九,五三三	二八,九九一,八四五
十一月	一,九八八,〇四三	二,六五四,二一一	二,五三,九九七
十二月	一,九七六,六五一	二,六四七,八六三	二,七七一,〇
年合計	二七,四五八,八八八	三〇,二二一,六〇六	三二,一〇六,一〇一

備考 △印はマーチャント爐の産額を含む

合衆國一九二九年十月中鋼塊生産高 (英噸)

アイアン、エーヂ 一九二九年 十一月十四日

十月の鋼塊産額(作業日數二十七日)は九月の産額(作業日數二十五日)を僅かに超過せるが十月迄十ヶ月間の合計は一九二八年に於ける同期間の産額より約一割五分の増産を示せり十ヶ月間の産額數字は大約四



七、七五五、〇〇〇噸を算し一九二八年を除き、各年の年計よりも多し左表は亞米利加が鐵鋼學會の統計に屬せり

平爐及轉爐鋼塊產額

年	月	一九二八年に於て鋼塊產額の九四・五一%を産出せる諸會社の報告		總會社の產額	
		平爐	轉爐	月產額	日產額
一九二八年一	月	三、七五、二九四	四九八、六六一	三、九〇、九〇二	一五、四六
	二	三、三〇〇、四七	五二二、三〇	四、〇四、四五七	一六、七三八
	三	三、六九二、六四八	五六七、三〇〇	四、五七、二二七	一六、九四
	四	三、五〇五、一〇四	五六四、一〇	四、三〇、三八二	一七、二二五
	五	三、五九四、一〇一	五六、二三八	四、二〇、二二二	一五、八三
	六	三、〇〇〇、三四一	五八、一九三	三、七四、九〇三	一四、九六
	七	三、〇八、二五七	五二八、五八八	三、八〇五、五九八	一五、三三四
	八	三、七九、六五	五九、七一	四、一七八、六〇〇	一五四、七三
	九	三、三七五、六五四	五四、七〇	四、一四七、八五	一六五、九一六
	十	三、七五、八〇〇	五九、〇九八	四、六四九、九八	一七、三二
十ヶ月計		三三、七五、四三二	五、五三、八六九	四、五八〇、四三	一五九、九四

作業日數

七月中佛蘭西の燃料輸出入額

(聽)

年	月	一九二九年一	十一月	十二月	年計
	月	三、六九四、二八	三、四三、一二	三、三〇、一二四	三、六九四、二八
	二	三、五九、三四	五九〇、六九	四九六、六七九	三、五九、三四
	三	四、一八三、八六九	四、二六、八三	四〇、五八、六五七	四、一八三、八六九
	四	四、〇六、五七六	五九、六六一	六、五九、二二七	四、〇六、五七六
	五	四、二七、一六六	四八九、二七九	四九、八五、一八五	四、二七、一六六
	六	三、九九〇、七九八	五、二七三、一六七	四、四九〇、三五四	三、九九〇、七九八
	七	三、九三、五三三	四、九六、〇五	四、三六、〇〇〇	三、九三、五三三
	八	三、九八、七九	五、〇五八、二五八	四、八八、一七〇	三、九八、七九
	九	三、三七、六三九	四、九七、二五八	五、二七三、一六七	三、三七、六三九
	十	三、六二九、四三三	四、五〇、八七九	四、八八、一七〇	三、六二九、四三三
十ヶ月計		三六、九九、二〇三	四七、七五、〇五四	四七、七五、〇五四	三六、九九、二〇三



輸入

石炭  
骸炭  
特許燃料

石炭の國別輸入額を示せば左の如し

一九二九年 七月  
二、〇五五、八四〇  
四四五、四四一  
一〇五、九〇六

一九二九年 六月  
一、九九七、六一八  
四九四、五七二  
一二六、一〇二

英國より

一、〇九四、三二〇

白耳義及ルクセンブルクより

三〇五、七二五

合衆國より

五六九

獨逸より

四六六、九八九

和蘭より

一〇八、六〇三

波蘭より

六八、一〇三

其他の國より

殘 余

骸炭の國別輸入額次の如し

白耳義及ルクセンブルクより

五八、七四二

英國より

一、〇二八

獨逸より

二七七、四一六

輸出

特許燃料國別輸入額次の如し

英國より

一〇、三九〇

白耳義及ルクセンブルクより

三三三、八三六

獨逸より

五八、七四六

波蘭より

一〇二、四三七

石炭  
骸炭  
特許燃料

石炭の仕向地別次の如し

白耳義及ルクセンブルクへ

二〇〇、四九八

瑞西へ

一一五、九五九

伊太利へ

二〇、〇五七

獨逸へ

一一一、四二二

波蘭へ

三、八八四

バンカー用

一、四七四

一九二九年七月  
四五四、三四九

五二、四九九  
二三、九八四

一九二九年六月  
四五四、四三五

三七、五七八  
四二、九五四



骸炭の仕向地次の如し

瑞西へ

一三、二七三

伊太利へ

三六、六三九

白耳義及ルクセンブルクへ

一、六六三

特許燃料の仕向地次の如し

瑞西へ

六、八五二

白耳義及ルクセンブルクへ

五、六三五

伊太利へ

二、六二三

モロッコへ

一、〇三五

七月中佛蘭西鐵鑛石産額

(噸)

七月中佛蘭西鐵鑛石産額は四、四三六、二四〇噸に達したり因に六月中の産額は四、一八五、二二七噸を算せり

一九二九年第一四半期に於ける獨逸鐵鑛石輸入額

(噸)

本年第一四半期に於ける獨逸鐵鑛石輸入額は昨年第四四半期の三、〇九三、七〇〇噸に對し二、六八〇、九〇〇噸を算せり

尙輸入先國別次の如し

統	計
瑞典	九三五、九〇〇
佛蘭西	四四一、八〇〇 (アルサスローレンを除く)
西班牙	五四二、一〇〇
露西亞	一〇、一〇〇
アルゼリヤ	一三七、五〇〇
諾威	七二、一〇〇
希臘	一六、〇〇〇
チューニシヤ	四八、九〇〇
伊太利	一三、九〇〇
アルサスローレン	三三三、三〇〇
ルクセンブルク	七一、三〇〇
東部 波蘭	五、五〇〇
波領上部シレシヤ	二、八〇〇

残余の少額は其他の諸國より輸入す



一九二九年上半期に於けるザール鐵鋼產額 (噸)

鐵	一、〇四三、二三〇
鑄物鉄及直接鑄物	九九、五〇〇
鹽基性鐵	九四三、七三〇
鋼	一、〇八七、四三五
鹽基性、轉爐鋼塊	八一七、三七九
" 平爐及電氣爐鋼塊	二六〇、六二六
鹽基性及電氣鋼鑄物	七、六七五
酸性鋼鑄物	二、七五五

一九二九年上半期に於けるチエツコスロ  
バーキヤ鐵鋼產額

本年上半期に於けるチエツコ、スロバーキヤの鉄鐵總產額は八一七、九七九噸、鋼產額は一、〇八一、五六二噸に達し昨年の同期に比すれば約一〇パーセントの増加なり  
 昨年第二四半期の產額は第一四半期に比し著しき増加を示し鉄鐵產額に於ては一二パーセント鋼產額に於ては一三パーセントの増加なり

六月中合衆國燃料輸出額

次表は本年六月中合衆國燃料輸出額を示すものにして比較の爲昨年六月の分を添加せり (英噸)

無煙炭	一九二九年六月	一九二八年六月
瀝青炭	一八八、八九四	二〇九、三七五
骸炭	一、七二〇、九二一	一、二七六、八四三
バンカーコール	九一、九〇四	六八、九三八
	三二五、八九九	三三二、二三二

瀝青炭の大部分は加奈陀に輸出せられ一、四九三、一三一噸に達したり、佛蘭西、伊太利を除く歐洲諸國への輸出額は僅かに四六噸に過ぎず伊太利への輸出額は一九二八年六月の一六、九〇〇噸に比し六八、八六八噸に増加せり

一九二九年上半期に於けるルクセ  
ンブルクの鐵鑽石產額

一九二九年上半期に於けるルクセンブルクの鐵鑽石產額は一九二八年上半期の三、三九七、七九八噸に對し三、七〇三、〇六八噸に達したり、因に一九一三年の月當平均額は六一一、一一四噸なり



印度鑛山監督局長の報ずる所に依れば一九二九年上半期の印度炭坑の産炭額は一一、八六〇、〇九一噸に達したり

以上 アイアン、アンド、コール、トレード、レビウ 一九二九年 九月二十七日

一九二九年上半年に於ける印度石炭産額

七月中合衆國燃料輸出高 (英噸)

無煙炭	一九二九年七月	一九二八年七月
瀝青炭	二〇三、五二三	一六七、二七八
骸炭	一、七三四、五六五	一、五〇二、五七五
バンカーコール	八三、七三〇	七九、〇三三
	三五一、四〇四	三一三、七七四

瀝青炭の國別輸出額左の如し

加奈陀へ	一、四六一、五〇八
ニューフオンドランド及ラブラドルへ	八〇、七七八
佛蘭西へ	四、〇二七
伊太利へ	四三、六〇二
其他の歐洲諸國へ	五三九

一九二八年ビクトリヤ石炭産額

一九二八年ビクトリヤ鑛山局年報に依ればビクトリヤ黒炭總産額は六五八、三二三屯にして内六〇〇、九一三屯は Wonthaggi の州炭山より産出せり。次の大生産者はコルムブラのサンビーム炭坑にして二五、三四四屯を産出した

褐炭の總産額は一、五九一、八五八屯にして内一、四二六、三〇四屯はヤルン露天堀、殘餘の一六五、五四屯はモーウエルの舊褐炭炭山より産出せるが褐炭の生産は専ら電氣委員會の稼行に係はるものなり

一九二八年澳地利燃料輸入額 (噸)

瀝青炭	一九二八年	一九二七年
褐炭	四、六〇四、六七九	四、五六八、五〇〇
骸炭	四六〇、四五三	四五九、二二六
	六四六、五九四	五七三、六六三

國別輸入高を示せば左の如し

波關	二、六八二、九二四
上部シレシヤ	三七二、八五八
ドムプロワ	



チエツコスロバキヤ 一、一〇〇、九二〇  
 オストラウ、カーウイン地方 一二四、六九一  
 其他の地方

獨逸 一〇三、八五四  
 上部シレシヤ 一四七、七七一  
 ザール 六七、七九七  
 ルーレル 三、六六一  
 其他の地方

他の歐洲諸國よりの輸入は取るに足らず

褐炭國別輸入高左の如し

チエツコスロバキヤ 二七〇、六九七  
 獨逸 六五、五八二  
 ユーゴスラビヤ 三三、一一二  
 匈牙利 九二、〇六二

### 一九二八年南嶼地利の鐵鑛石産額

一九二八年南嶼地利の鐵鑛石産額は六一八、三二六屯に達す

以上 アイアン、エンド、コール、トレッド、レピウ 一九二九年 十月十一日

### 一九二九上半期アデン石炭輸入額

本年上半期中の石炭輸入額は七一、一四〇屯なり

### 七月中合衆國石炭産額 (英噸)

産額	一九二九年 七月	一九二九年 六月	七月の日當り平均	六月の日當り平均
瀝青炭	四〇、六三五、〇〇〇	三八、〇七三、〇〇〇	一、五六三、〇〇〇	一、五二三、〇〇〇
無煙炭	四、九九三、〇〇〇	五、〇六九、〇〇〇	一九二、〇〇〇	二〇三、〇〇〇

(ペンシルウエニア)

合衆國七月中の石炭産額の見積左の如し

### 露西亞輸出入額 (噸)

輸 入	一九二八年十月一 一九二九年三月	一九二七年十月一 一九二八年三月	一九二六年十月一 一九二七年三月
石炭及骸炭	一五、六九八	二七、八七四	四六三、二二一
鉄鐵及半製品	九九、〇六一	四三、五三六	一



銑鋼製品 五一、一八七  
 七〇、四〇八

滿俺鑛石 二九九、五三二  
 一九三、三八五  
 三二〇、五二八

石炭の輸出額は不明

上記の輸出入額は歐洲及コーカサス國境のみに關する貿易額を示すものなり

以上 アイアン、エンド、コール、トレード、レピウ 一九二九年 十月十八日

### 撫順炭礦生産高

ザ・フアーイースタン・レピウ 一九二九年 十一月號

次表は石炭産額並に販賣高を示せり(英噸)

年次	前年繰越高	生産高	購入高	合計	販賣高
一九〇七—八年	一八、七二二	二二二、三三五	一	二二二、三三五	二〇一、三〇〇
一九二一—三	三六、七四二	一、五三三、五四	八七、〇四六	一、五九九、三三五	一、六三九、九五五
一九二七—八	一三、一五二	二、三八九、五四	三三八、四九一	二、七四八、〇三六	二、七三三、一〇一
一九二二—三	六六、九六六	三、九三二、七七	三六、四七〇	四、二六八、二四七	四、五五六、〇〇四
一九二七—八	四六、六三三	六、九八八、七〇	五三、八八八	七、五五六、七七八	七、四九九、六三四

採炭業の發達次の如し(單位圓)

年次	収入		合計	經費	収益
	販賣額	其他鑛物販賣額			
一九〇七—八	一、三三八、六六六	一	一、三三八、六六六	七五、八八六	五三三、〇〇五
一九二一—三	九、二五五、六三二	一	九、二五五、六三二	七、三四八、〇九一	一、八四六、六三三
一九二七—八	三〇、〇三〇、四八〇	二、四一、四七一	三〇、二六一、八九一	一五、〇四七、九七七	五、三三〇、五四六
一九二二—三	五、六六五、二四七	二、〇一、七四四	七、六八二、九九一	四、四四一、一六六	六、七二五、七七七
一九二七—八	八〇、五九〇、五三三	二、七三、二三三	八三、三二二、七六六	七三、〇三九、二一九	九、七四八、一〇〇

一九二七年會計年度の販賣高七、四二九、〇〇〇噸の中滿洲に於ける消費高は三、三二六、〇〇〇噸に達したり、其の中一、三二三、〇〇〇噸は南滿州鐵道會社、六五、〇〇〇噸は傭役人、九三七、〇〇〇噸は他の消費者により消費されたり

尙石炭の仕向地別次の如し(英噸)

日本内地へ 一、六九五、〇〇〇  
 朝鮮へ 四一七、〇〇〇  
 台灣へ 四、〇〇〇  
 北支那へ 一八〇、〇〇〇







製鐵所並民間製鐵會社鐵鋼材生產高月別表

(單位 噸)

半製品						普通壓延鋼材																	
販賣向 鋼片		販賣向 シートバー		計		鋼板 厚0.7mm以下		板 其他		棒鋼		形鋼		軌條		ワイヤロッド		鋼管		其他		計	
四年	三年	四年	三年	四年	三年	四年	三年	四年	三年	四年	三年	四年	三年	四年	三年	四年	三年	四年	三年	四年	三年	四年	三年
9,142	5,684	167	333	9,309	6,017	2,765	2,155	12,201	14,962	16,139	14,098	14,165	12,692	18,352	20,521	4,807	2,371			3,317	2,749	71,746	69,548
7,666	2,700	682	295	8,348	2,995	2,852	2,062	13,036	15,591	15,304	15,525	13,005	11,756	27,690	20,308	4,614	2,066			1,259	3,183	77,760	70,491
8,482	2,942	741	538	9,223	3,480	4,355	3,060	14,880	17,106	22,386	20,904	10,226	13,516	28,251	16,055	5,209	1,372			492	3,544	85,799	75,557
10,174	3,016	284	1,130	10,458	4,146	3,993	2,489	14,693	15,157	15,628	15,512	19,811	12,717	17,717	15,601	5,967	1,674			532	3,502	78,341	66,652
8,840	3,128	405	572	9,245	3,700	4,052	2,652	16,094	15,957	16,704	16,145	14,240	15,117	24,054	15,761	5,314	1,605			624	3,972	81,082	71,209
10,101	2,594	393	858	10,494	3,452	3,591	2,593	14,125	15,449	13,702	15,230	9,447	13,405	24,037	19,941	5,130	2,011			608	3,905	70,640	72,534
54,405	20,064	2,672	3,726	57,077	23,790	21,608	15,011	85,029	94,222	99,863	97,414	80,894	79,203	140,101	108,187	31,041	11,099			6,832	20,855	465,368	425,991
2,169	2,950	959	736	3,128	3,686	3,912	1,973	14,575	12,695	16,623	13,116	14,391	13,816	16,798	15,687	5,552	903			688	3,545	72,489	61,735
6,431	3,037	442	327	6,873	3,364	3,826	2,271	11,770	12,861	14,843	11,805	8,716	11,417	23,924	15,034	3,078	870			599	2,976	66,756	57,234
6,211	3,234	84	955	6,295	4,189	3,965	2,001	15,403	8,651	17,010	14,435	13,553	11,249	25,164	14,031	4,083	1,056			607	3,247	79,785	54,670
7,530	5,697	822	634	8,352	6,331	3,927	1,702	15,491	11,945	15,615	14,919	12,221	17,015	25,804	14,484	6,219	1,607			719	4,217	79,996	65,889
	89				89	8,800	4,877	10,002	10,188	35,236	22,919	6,089	5,343	213	541	309	767	4,566	4,520	496	1,724	65,711	50,879
						11,473	5,978	13,380	13,872	36,998	26,558	6,973	6,945	110	233	400	912	5,436	4,921	1,007	2,076	75,777	61,495
	67				67	12,340	6,248	14,103	11,833	39,070	28,788	7,984	7,084		227	270	550	5,883	6,079	1,932	1,698	81,582	62,507
						13,777	7,066	15,954	11,851	38,423	28,696	9,989	8,135		643	182	793	6,049	5,890	1,823	1,829	86,197	64,903
21				21		10,701	6,085	12,005	12,675	37,059	29,429	9,024	8,703	264	551	448	855	7,145	6,069	1,639	1,651	78,285	66,018
						12,643	7,230	15,487	14,079	30,956	31,622	7,447	7,020	282	657	241	765	6,664	5,474	1,478	1,796	75,198	68,643
21	156			21	156	69,734	37,484	80,931	74,498	217,742	168,012	47,506	43,230	869	2,852	1,850	4,642	35,743	32,953	8,375	10,774	462,750	374,445
54,426	20,220	2,672	3,726	57,098	23,946	91,342	52,495	165,960	168,720	317,605	265,426	128,400	122,433	140,970	111,039	32,891	15,741	35,743	32,953	15,207	31,629	928,118	800,436
						12,657	6,576	15,407	12,956	30,218	29,939	7,253	7,717	481	267	425	896	6,218	5,614	1,398	2,115	74,057	66,080
						9,478	5,796	13,807	10,088	30,601	29,032	8,872	7,630	228	313	380	244	6,377	5,454	1,215	1,901	70,958	60,458
						13,544	6,063	13,244	13,721	32,181	31,581	8,518	8,332		181	513	330	6,849	5,434	1,516	1,970	76,365	67,612



製鐵所並民間製鐵會社鐵鋼材生產高月別表

(單位 吨)

月次	銑 鐵		普 通 鋼						半 製 品						普 通 壓										
			塊		鑄 鋼		計		販 賣 向 壓 延 鋼 片		販 賣 向 シ ー ト パ ー		計		鋼 板		棒 鋼		形 鋼		軌				
	昭 和 四 年	昭 和 三 年	四 年	三 年	四 年	三 年	四 年	三 年	四 年	三 年	四 年	三 年	四 年	三 年	四 年	三 年	四 年	三 年	四 年	三 年	四 年	三 年			
	厚 0.7 秤 以 下	比																							
製 鐵 所	1	71,893	71,188	106,874	85,114	342	227	107,216	85,341	9,142	5,684	167	333	9,309	6,017	2,765	2,155	12,201	14,962	16,139	14,098	14,165	12,692	18,352	20,000
	2	64,093	64,495	106,000	86,359	380	184	106,380	86,543	7,666	2,700	682	295	8,348	2,995	2,852	2,062	13,036	15,591	15,304	15,525	13,005	11,756	27,690	20,000
	3	69,447	74,800	116,697	95,728	408	175	117,105	95,903	8,482	2,942	741	538	9,223	3,480	4,355	3,060	14,880	17,106	22,386	20,904	10,226	13,516	28,251	10,000
	4	69,732	71,678	111,490	97,346	446	301	111,936	97,647	10,174	3,016	284	1,130	10,458	4,146	3,993	2,489	14,693	15,157	15,628	15,512	19,811	12,717	17,717	10,000
	5	68,718	69,755	116,079	91,344	368	295	116,447	91,639	8,840	3,128	405	572	9,245	3,700	4,052	2,652	16,094	15,957	16,704	16,145	14,240	15,117	24,054	10,000
	6	64,497	67,158	104,091	93,806	335	331	104,426	94,137	10,101	2,594	393	858	10,494	3,452	3,591	2,593	14,125	15,449	13,702	15,230	9,447	13,405	24,037	10,000
	計	408,380	419,074	661,231	549,697	2,279	1,513	663,510	551,210	54,405	20,064	2,672	3,726	57,077	23,790	21,608	15,011	85,029	94,222	99,863	97,414	80,894	79,203	140,101	100,000
民 間 製 鐵 所	7	65,952	66,091	107,097	85,539	383	415	107,480	85,954	2,169	2,950	959	736	3,128	3,686	3,912	1,973	14,575	12,695	16,623	13,116	14,391	13,816	16,798	10,000
	8	63,571	71,843	101,545	80,570	303	351	101,848	80,921	6,431	3,037	442	327	6,873	3,364	3,826	2,271	11,770	12,861	14,843	11,805	8,716	11,417	23,924	10,000
	9	66,558	68,324	104,063	77,581	267	302	104,330	77,833	6,211	3,234	84	955	6,295	4,189	3,965	2,001	15,403	8,651	17,010	14,435	13,553	11,249	25,164	10,000
	10	63,174	70,052	112,491	97,275	309	417	112,800	97,692	7,530	5,697	822	634	8,352	6,331	3,927	1,702	15,491	11,945	15,615	14,919	12,221	17,015	25,804	10,000
	計	133,385	110,855	434,449	347,622	22,161	23,408	456,610	371,030	21	156			21	156	69,734	37,484	80,931	74,498	217,742	168,012	47,506	43,230	869	
上半期	合 計	541,765	529,929	1,095,680	897,319	24,440	24,921	1,120,120	922,240	54,426	20,220	2,672	3,726	57,098	23,946	91,342	52,495	165,960	168,720	317,605	265,426	128,400	122,433	140,970	110,000
民 間	7	23,234	17,832	68,167	58,684	4,348	3,915	72,515	63,599							12,657	6,576	15,407	12,956	30,218	29,939	7,253	7,717	481	
	8	23,046	22,922	70,704	57,653	3,706	3,943	74,410	61,596							9,478	5,796	13,807	10,088	30,601	29,032	8,872	7,630	228	
	9	23,288	22,540	75,987	60,363	3,649	3,730	79,636	64,148							13,544	6,063	13,244	13,721	32,181	31,581	8,518	8,332		

備 考

本表中ニハ滿、鮮ヲ含マズ

東洋製鐵會社並九州製鋼會社ノ生産高ハ製鐵所ニ含ム

滿鮮ヲ含メル九月迄ノ銑鐵合計 1,137,747







本邦 壓延工場 概要

昭和四年四月調

寸法		延	機			原			動			機	
ノ	サ(耗)	廻轉數 (一分間=付)	製造所	生産能力 (一ヶ年)	始業 年月	種別	型式	大サ(寸法耗) D=汽筒直徑 L=衝程	廻轉數 (一分間)	馬力 (容量)	製造所		
	2,800	60	獨逸ゲーテホフメック會社		明治34年11月	汽機	二聯單膨脹式	D=1,080 L=1,300	180	4,200	獨逸アーハルトシエーメル會社		
	2,450	0~120	獨逸ベンラード會社		" 42" 7"	電動機	イルグナー式(二重電動子)	750「ボルト」 (各電動子)	0~120	4,500 16,000	芝浦製作所		
	2,200	85	獨逸ゲーテホフメック會社		大正5" 4"	汽機	二聯串型複膨脹式	高壓D=1,000低壓D=1,500L=1,300	150	6,000	獨逸ゲーテホフメック會社		
	950	メーンシャフト 49	" "		" 5" 4"	電動機	三相交流誘導電動機	25「サイクル」3,300「ボルト」	245	2,100	" シーメンス "		
	2,200	77	製鐵所		" 11" 1"	汽機	二聯串型複膨脹式	高壓D=1,000低壓D=1,500L=1,300	150	6,000	東京石川島造船所		
	2,228	77	米國モルガン會社		" 11" 5"	" "	" " " "	" " " " " "	"	6,000	日本製鋼所		
	2,200	0~100	製鐵所		" 14" 4"	電動機	イルグナー式	600「ボルト」	0~100	3,500 10,000	米國ウエスチングハウス社		
	1,300	メーンシャフト 49	獨逸テマク會社		昭和2" 7"	" "	三相交流誘導電動機	25「サイクル」3,300「ボルト」	246	4,000	芝浦製作所		
	1,000	メーンシャフト 49	" ハニエルロユク "		" 4" 4"	" "	" "	25「サイクル」 "	"	4,000	" "		
	2,440	0~90	米國メスタ "		" 2" 12"	" "	「イルグナー」式二重電動子	700「ボルト」(各電動子)	0~90	5,800 17,500	米國ウエスチングハウス社		
	2,200	77	神戸三菱造船所		大正8" 5" 大正11" 6"以後休止	汽機	二聯串型複膨脹式	高壓D=1,000低壓D=1,500L=1,300	150	6,000	神戸三菱造船所		
	2,000 875		獨逸クルツプ會社		昭和4" 6"	電動機	三相交流誘導電動機	60「サイクル」2,200「ボルト」	88 235	1,900 2,380	獨逸シーメンス會社 "		
	2,200	120	獨逸		明治34" 11"	汽機	三聯單膨脹式	D=1,100 L=1,200	20	5,800	獨逸		
	2,000	120	"		" 37" 2"	" "	二聯 "	" =1,000 " =1,000	120	4,000	"		
	1,727	104	米國モルガン會社		大正8" 5"	電動機	三相交流誘導電動機	25「サイクル」3,300「ボルト」	104	4,000	東京芝浦製作所		
	2,032	75	" メスタ "		" 13" 4"	" "	" " " "	" " " "	368	6,000	"		
	1,651	80	" マツキントツシュ "		昭和3" 11"	" "	" " " "	50「サイクル」 " "	400	2,000	米國ゼネラルエレクトリック社		
	1,727	92	長崎三菱造船所		大正8" 6"	" "	" " " "	" " " "	92	4,000	長崎三菱電機會社		
	1,500	136	獨逸クルツプ會社		明治34" 6"	電動機	三相交流誘導電動機	25「サイクル」3,300「ボルト」	136	1,400	長崎三菱電機會社		
	1,600	123	" テマク "		大正5" 6"	" "	" " " "	" " " "	123	1,200	獨逸シーメンス會社		
	1,600	100	大阪安治川鐵工所		" 5" 7"	" "	" " " "	" " " "	100	800	芝浦製作所		
	1,300 1,100	100	東京深川鐵工所		" 5" 4"	" "	" " " "	" " " "	327	600	"		
	1,600	97	大阪安治川鐵工所		" 7" 12"	" "	" " " "	" " " "	97	1,000	"		
	1,800				" 7" 8"					1,000			
	1,500 1,000	187 375	獨逸		明治34" 9"	電動機	三相交流誘導電動機	25「サイクル」3,300「ボルト」	375	1,200	長崎三菱電機會社		
	1,500 1,000	187 375	"		" 42" 4"	" "	" " " "	" " " "	375	1,200	" " "		
	900 1,000 1,000	84 298			大正6" 7"	" "	" " " "	" " " "	248 298	960 1,125	獨逸アーエーゲー會社		



1,600	125		大阪安治川鐵工所	" 5" 7"	" " " " " "	100	800	芝浦製作所	
1,600	100		東京深川鐵工所	" 5" 4"	(小形ト共用)	327	600	" "	
1,300	100		大阪安治川鐵工所	" 7" 12"	" " " " " "	97	1,000	" "	
1,100	97			" 7" 8"			1,000		
1,600									
1,800									
1,500	187		獨逸	明治34" 9"	電動機 三相交流誘導電動機	25「サイクル」3,300「ボルト」	375	1,200	長崎三菱電機會社
1,000	375								
1,500	187		"	" 42" 4"	" " " " " "	" " " "	375	1,200	" " "
1,000	375								
900	84				" " " " " "	" " " "	218	960	獨逸アーエーゲー會社
1,000	298		獨逸テマク會社	大正6" 7"	" " " " " "	" " " "	298	1,125	
1,000	370				" " " " " "	" " " "	370	2,100	獨逸シーメンス會社
800					" " " " " "	" " " "		1,200	長崎三菱電機會社
600									
800									
1,600	120		安治川鐵工所	" 4" 9"	" " " " " "		120	1,200	富士電機會社
1,000	300						300	800	芝浦製作所
1,600			安治川	" 11" 2"	" " " " " "		200	1,200	芝浦製作所
1,000	300								
1,600	110		久保田鐵工所	" 14" 2"	" " " " " "		293	1,400	日立製作所
800	275							1,000	
1,500	94		内地製	" 5" 12"	" " " " " "		235	1,500	芝浦製作所
1,000	235								
1,000			深川鐵工所	" 5" 4"	" " " " " "	(中形ト共用)	327	600	" "
1,000	200								
317			神戸製鋼所	" 13" 3"	" " " " " "		96	1,200	三菱電機會社
508									
1,600	100		幸袋工作所	" 6" 3"	" " " " " "		300	1,200	日立製作所
1,000	300								
1,525	80		釜石鑛山會社	" 11" 8"	" " " " " "		270	2-800	芝浦製作所
1,000	270								
1,000	250		" "	" 11" 8"	" " " " " "		600	2-300	鳥羽電機會社
610	主軸 90								
508									
508	163								
"									
"									
"									
"									
"									
"									
"									
"									
830									
1,320	80								
760									
508	150								
"									
"									
"									
"									
"									
"									
"									
"									
"									
660									
1,320	89								
762									
508	163								
"									
"									
"									
260									
280									
			大阪安治川鐵工所	昭和1" 11"	" " " " " "		163	2,800	芝浦製作所



00	"	324	米國モルガン會社	大正 7" 6"	"	"	"	"	"									
17	"																	
45	"																	
75	"	489																
00	"																	
06	660																	
80	1,320	89																
75	762																	
27	508	163																
40	"																	
"	"																	
60	"																	
80	"	361	大阪安治川鐵工所	昭和 1" 11"	"	"	"	"	"									
97	"																	
22	660																	
60	508																	
80	"	512																
97	"																	
12	660																	
864	2,794	87	米國モルガン會社	明治38" 12"	"	"	"	"	"	25「サイクル」3,300「ボルト」	87	3,300	芝浦製作所					
508																		
245	4,572	64	"メスタ"	大正 9" 12"	汽機	二聯串型複膨脹逆轉式				D = {高壓1,118 L=1,524 低壓1,930	160	10,000	米國ウィリアムストッド會社					
118	3,684																	
762	2,134	80	米國モルガン會社	昭和 3" 11"	電動機	三相交流誘導電動機				50「サイクル」3,300「ボルト」	428	2,000	"セネラルエレクトリック"					
457																		
864	2,794	90	川崎造船所	大正 7" 9"	"	"	"	"	"	60「 」2,200「 」	700	3,500	獨逸シーメンス會社					
508																		
864	"	70	日本製鋼所	" " "	"	"	"	"	"	50「 」3,000「 」	70	3,300	芝浦製作所					
508			久保田鐵工所	" 8" 6"	"	"	"	"	"									
864	"		長崎三菱造船所	(11年5月以後止)	"	"	"	"	"									
508																		
760	1,800	75	八幡製鐵所	明治34" 6"	"	"	"	"	"	25「 」3,300「 」	375	1,800	英國ピツカース會社					
750																		
750	2,000	122	" "	大正13" 11"	"	"	"	"	"	「 」 「 」	122	1,600	芝浦製作所					
510																		
680	1,800	80	幸袋工作所	" 7" 7"	"	"	"	"	"	50「 」 「 」	80	1,000	奥村電機會社					
80																		
600	"	104	獨逸クルツプ會社	明治40" 1"	"	"	"	"	"	25「 」 「 」	368	1,700	獨逸シーメンス會社					
480																		
460																		
710	1,170	35		" 39" 11"	汽機	串型複膨脹式				D = {高壓 660 L=1,270 低壓 1,040	35	825	英國テラ-アンドファーレー會社					
"	"				電動機	三相交流誘導電動機				25「サイクル」3,300「ボルト」	375	150	芝浦製作所					
"	"																	
760	"	34	獨逸アツシエンバツハ社	大正13" 11"	"	"	"	"	"	「 」 「 」	167	2-1,200	英國ピツカース會社					
"	"	45	大阪住友製鋼所		"	"	"	"	"	「 」 「 」	375	600						
"	1,117	30		" 13" 6"	"	"	"	"	"	60「 」2,200「 」	300 270 236 295		{ 米國セネラルエレクトリック會社 獨逸シーメンス會社					
660	"	45			"	"	"	"	"									
710	"	30	大阪住友製鋼所	" 7" 7"	"	"	"	"	"	「 」3,300「 」	253	1,200	長崎三菱電機會社					
"	"	30	米國ウィリアムストッド會社		"	"	"	"	"									
660	"																	
760	"		大阪住友製鋼所	昭和 4" 1"	"	"	"	"	"	「 」2,200「 」	235	1,500	富士電機會社					
"	"																	
710	1,170	35	大阪住友製鋼所	大正14" 2"	"	"	"	"	"	50「 」3,300「 」	280	1,000	日立製作所					
"	"																	
660	730	40	大阪住友製鋼所	" 11" 10"	"	"	"	"	"	25「 」 「 」	166	2,000	獨逸アーエーゲー會社					
710	865	50	クワソン鐵工會社		"	"	"	"	"									
660	850		ナショナルロール		"	"	"	"	"									



本邦 壓延工場概要

工場種別	工場名	歴					延				機		原	
		型式	スタン ド ノ 数	「ロール」ノ寸法		廻轉數 (一分間ニ付)	製 造 所	生産能力 (一ヶ年)	始 業 年 月	種 別	型			
				直徑(耗)	長サ(耗)									
半 製 品 工 場	八幡製鐵所第一分塊工場	二重逆轉式	1	1100	2,800	60	獨逸ゲーテホフヌング會社		明治34年11月	汽機	二聯單膨脹			
	" 第二 "	" "	1	850	2,450	0~120	獨逸ベンラード會社		" 42' 7"	電動機	イルグナー式(二重電)			
	" 第三 "	" "	1	900	2,200	85	獨逸ゲーテホフヌング會社		大正5' 4"	汽機	二聯串型複膨			
	" 全上附屬鋼片工場	" "	8	450	950	メーンシャフト 49	" "		" 5' 4"	電動機	三相交流誘導電			
	" 第四分塊工場	" "	1	900	2,200	77	製鐵所		" 11' 1"	汽機	二聯串型複膨			
	" 第五 "	" "	1	941	2,228	77	米國モルガン會社		" 11' 5"	" "	" "			
	" 第六 "	" "	1	910	2,200	0~100	製鐵所		" 14' 4"	電動機	イルグナー			
	" 全上附屬鋼片工場	二重連續式	6	3スタンド600 3スタンド550	1,300	メーンシャフト 49	獨逸テマク會社		昭和2' 7"	" "	三相交流誘導電			
	" " "	" "		450	1,000	メーンシャフト 49	" ハニエルロユク "		" 4' 4"	" "	" "			
	" 板用鋼片工場	二重逆轉式	1	1,016	2,440	0~90	米國メスタ "		" 2' 12"	" "	「イルグナー」式二重			
	三菱兼二浦分塊工場	" "	1	900	2,200	77	神戸三菱造船所		大正8' 5" 大正11' 6以後休上	汽機	二聯串型複膨			
	川崎葺合シートバー工場	粗三重式 仕上二重連續式	2 4	760(30吋) 450(18吋)	2,000 875		獨逸クルツプ會社		昭和4' 6"	電動機	三相交流誘導電			
	製 場	八幡製鐵所軌條工場	二重逆轉式	3	780	2,200	120	獨逸		明治34' 11"	汽機	三聯單膨脹		
		" 第一大形 "	" "	3	680	2,000	120	" "		" 37' 2"	" "	二聯 "		
		" 第二 "	三重式	3	750(28吋)	1,727	104	米國モルガン會社		大正8' 5"	電動機	三相交流誘導電		
" 第三 "		三重式(仕上二重式)	4	863.6(34吋)	2,032	75	" メスタ "		" 13' 4"	" "	" "			
" 第四形鋼 "		三重式	3 (増設ノ餘地アリ)	600(24吋)	1,651	80	" マツキントツシ "		昭和3' 11"	" "	" "			
三菱兼二浦大形工場		三重式	3	750(28吋)	1,727	92	長崎三菱造船所		大正8' 6"	" "	" "			
日本製鋼 " "		" "	粗 1 仕上 1	650 450					作業休止					
八幡製鐵所第一中形工場		" "	4	480	1,500	136	獨逸クルツプ會社		明治34' 6"	電動機	三相交流誘導電			
" 第二 " "		" "	4	520	1,600	123	" テマク "		大正5' 6"	" "	" "			
川崎日本鋼管中形工場		" "	4	500	1,600	100	大阪安治川鐵工所		" 5' 7"	" "	" "			
東京鋼材中形工場		" "	粗 中間 2 仕上 1	480 480	1,300 1,100	100	東京深川鐵工所		" 5' 4"	" "	(小形ト共用)			
東海鋼業中形工場		" "	4	520	1,600	97	大阪安治川鐵工所		" 7' 12"	" "	" "			
住友伸銅鋼管中形工場		" "	4	550	1,800				" 7' 8"	" "	" "			
製 場		八幡製鐵所第一小形工場	粗(三重式) 仕上(複二重式)	1 4	480 310	1,500 1,000	187 375	獨逸		明治34' 9"	電動機	三相交流誘導電		
		" 第二 "	粗(三重式) 仕上(複二重式)	1 4	480 310	1,500 1,000	187 375	" "		" 42' 4"	" "	" "		
	" " "	粗(二重連續式)	6	400	900	84			" "	" "	" "			
	" " "	仕上{三重式 二重式}	3	360 360	1,000 1,000	298	獨逸テマク會社		大正6' 7"	" "	" "			







場	神戸製鋼線材工場	仕上	ガレット式	4	300	324	大阪安治川鐵工所	昭和1"11"	"	"	"	"		
				4	317	489								
				4	245									
				4	275									
				4	300									
				4	306	660								
				1	480	1,320							89	
				1	475	762								
				3	327	508							163	
				3	340	"								
製	八幡製鐵所第一厚板工場	三重	ラウト式	1	上下用 864	2,794	米國モルガン會社	明治38"12"	"	"	"	"		
				1	中用 508		"							
				1	1,245	4,572	"	大正9"12"	汽機	二聯串型複膨脹逆				
				1	仕上(二重逆轉式)	3,684	"	"	"	"	"			
				1	1,118		"	"	"	"	"			
				1	上下用 762	2,134	米國モルガン會社	昭和3"11"	電動機	三相交流誘導電				
				1	中用 457		"		"	"	"			
				1	上下用 864	2,794	川崎造船所	大正7"9"	"	"	"			
				1	中用 508		日本製鋼所	"	"	"	"			
				1	上下用 864	"	久保田鐵工所	"	"	"	"			
板	三菱兼二浦	"	"	1	上下用 864	"	長崎三菱造船所	8"6"	"	"	"	"		
				1	中用 508		"	(11年5月以後止)	"	"	"	"		
				1	760	1,800	75	八幡製鐵所	明治34"6"	"	"	"	"	
				1	750			"		"	"	"	"	
				1	上下用 750	2,000	122	"	大正13"11"	"	"	"	"	
				1	中用 510			"		"	"	"	"	
				1	上下用 680	1,800	80	幸袋工作所	"7"7"	"	"	"	"	
				1	中用 480			"		"	"	"	"	
				1	上下用 600	"	104	獨逸クルツプ會社	明治40"1"	"	"	"	"	
				1	中用 480			"		"	"	"	"	
工	八幡製鐵所第一中板工場	二重	ブルオバ式	1	粗	710	1,170		"	39"11"	汽機	串型複膨脹逆		
				1	仕上	"	"	35	"	"	"	"	"	
				1	コールドロール	"	"		"	"	"	"	"	
				4	粗	760	"	34	獨逸アツシエンバツハ社	大正13"11"	"	"	"	"
				4	仕上	"	"	45	大阪住友製鋼所	"	"	"	"	"
				6	コールドロール	"	"		"	"	"	"	"	
				14	粗	"	1,117	30	"	"	"	"	"	"
				25	仕上	"	"	45	"	"	"	"	"	"
				13	コールドロール	660	"		"	13"6"	"	"	"	"
				3	粗	710	"	30	大阪住友製鋼所	"7"7"	"	"	"	"
場	東海銅業	"	"	1	仕上	"	"	30	大阪住友製鋼所	"	"	"	"	
				2	コールドロール	660	"	30	米國ウイリヤムトツド會社	"	"	"	"	
				1	粗	760	"		"		"	"	"	
				1	仕上	"	"		"		"	"	"	
				1	コールドロール	"	"		"		"	"	"	
				1	粗	710	1,170	35	大阪住友製鋼所	大正14"2"	"	"	"	"
				1	仕上	"	"		"		"	"	"	"
				1	コールドロール	"	"		"		"	"	"	"
				5	粗	660	730	40	大阪住友製鋼所	"	"	"	"	"
				1	ホツトロール	710	865	50	クラソン鐵工會社	"11"10"	"	"	"	"
11	コールドロール	660	850		ナショナルロール	"	"	"	"	"				







## 各國鐵鋼及石炭月別生產統計

(單位 千佛廷)

年次	鐵										鋼 (鋼塊及鑄物)									
	銑		鐵								日		鋼 (鋼塊及鑄物)							
	日 本	英 國	白 耳 義	佛 蘭 西	ザ ー ル	獨 逸	ル ン グ タ ブ セル	瑞 典	加 奈 陀	合 衆 國	日 本	英 國	白 耳 義	佛 蘭 西	ザ ー ル	獨 逸	ル ン グ タ ブ セル	瑞 典	加 奈 陀	合 衆 國
1913月平均	(i) 20	869	207	(b) 434	114	(a) 1,397	(c) 212	(f) 61	85	2,592	(i) 20	649	206	(b) 391	173	(a) 1,467	(c) 101	(f) 62	88	(i) 2,564
1924 "	68	619	237	c 641	112	953	180	43	50	2,614	92	696	240	575	124	820	157	46	55	3,117
1925 "	93	530	212	c 708	121	841	197	36	48	3,058	108	625	212	621	132	1,016	174	43	64	3,737
1926 "	94	208	281	c 786	135	803	213	39	64	3,277	126	305	278	703	145	1,028	187	44	66	3,794
1927 "	103	617	303	c 777	148	1,092	228	35	60	3,036	140	770	307	692	158	1,359	206	43	77	3,675
1928 "	126	560	325	c 841	161	984	231	33	88	3,167	155	722	328	783	173	1,210	214	50	106	4,222
1928...9月	125	512	325	822	158	985	231	31	92	3,110	142	730	331	757	162	1,190	209	46	101	4,214
10月	132	552	344	857	169	1,016	236	39	95	3,428	164	768	356	834	190	1,306	229	56	111	4,725
11月	126	553	331	850	169	(h) 267	229	45	97	3,356	167	775	340	800	178	(h) 357	213	66	110	4,335
12月	133	549	345	882	167	883	234	40	105	3,424	181	694	333	828	175	1,091	218	50	105	4,083
1929...1月	130	573	351	905	169	1,093	242	44	89	3,498	171	777	357	837	183	1,470	225	47	118	(g) 4,562
2月	120	528	302	781	147	982	209	42	95	3,258	179	787	302	742	161	1,270	195	56	119	4,395
3月	129	600	334	880	174	1,061	237	38	88	3,774	196	874	349	804	179	1,314	221	59	139	5,139
4月	123	621	336	871	178	1,105	235	42	81	3,721	193	822	342	810	186	1,415	226	59	124	5,017
5月	129	665	348	897	186	1,133	248	47	83	3,961	198	857	340	820	188	1,421	230	70	128	5,358
6月	127	668	342	865	188	1,164	242	33	91	3,777	184	844	349	797	190	1,430	219	49	121	4,960
7月	129	683	347	877	185	1,204	250	39	101	3,846	180	818	356	815	199	1,466	235	59	132	4,916
8月	122	693	348	893	182	1,168	251	41	114	3,816	176	765	365	827	192	1,402	238	68	122	5,006
9月	129	675	347	851	174	1,109	240	38	100	3,522	184	862	347	763	185	1,231	224	61	101	4,583

(單位 千佛廷)

年次	石										炭				褐炭													
	英		白		チス		佛		獨		和		波		加		南		印		日		合		獨		炭	
	國	耳	ス	ス	蘭	逸	蘭	蘭	奈	阿	度	本	衆	太	ス	逸	牙	利	利	利	利	國	太	利	利	利	利	利
1913月平均	(e) 24,337	1,903	(f,g) 1,174	(b) 3,338	(a) 15,842	156	748	1,119	(d) 665	(c) 1,311	1,776	43,088	(f) 218	(f,g) 1,928	(a) 7,269	(f) 460												
1924 "	22,617	1,947	1,265	3,668	9,898	490	2,690	762	944	1,716	2,509	43,213	232	1,705	10,386	529												
1925 "	20,590	1,925	1,047	3,921	11,052	571	2,423	719	983	1,693	2,622	43,988	253	1,551	11,644	460												
1926 "	10,692	2,102	1,214	4,285	12,108	717	2,979	974	1,038	1,703	2,619	49,729	246	1,589	11,596	485												
1927 "	21,272	2,296	1,222	4,315	12,800	777	3,174	1,028	1,006	1,790	2,797	45,197	256	1,669	12,542	520												
1928 "	20,129	2,295	1,264	4,228	12,573	891	3,383	1,036	1,014	1,805	2,650	43,025	273	1,726	13,852	543												
1928...9月	19,154	2,175	1,334	4,179	12,157	876	3,401	963	1,058	1,890	2,436	42,943	268	1,759	13,616	557												
10月	21,445	2,413	1,300	4,607	13,311	961	3,848	1,089	1,067	1,770	2,680	53,446	306	2,054	15,226	663												
11月	20,965	2,328	1,255	4,387	12,141	892	3,770	1,049	1,062	1,398	2,603	48,532	303	1,893	14,548	633												
12月	19,842	2,175	1,220	4,089	11,819	846	3,449	958	977	1,602	2,890	45,002	291	1,715	14,105	634												
1929...1月	22,792	2,454	1,342	4,425	13,490	968	4,039	950	952	1,865	2,720	53,336	315	1,943	14,817	671												
2月	21,397	2,115	1,294	4,094	12,104	829	3,295	1,016	977	2,068	2,545	48,934	307	1,670	13,689	607												
3月	22,949	2,393	1,508	4,562	13,502	924	3,808	1,257	993	2,201	2,915	40,271	333	2,087	14,727	624												
4月	21,206	2,243	1,341	4,458	13,407	938	3,734	1,264	1,057	2,067	2,738	39,307	278	1,979	14,226	528												

國際聯盟統計月



1927 "	103	617	325	c 777	148	1,092	228	35	60	3,036	140	770	307	692	158	1,359	206	43	77	3,675
1928 "	126	560	325	e 841	161	984	231	33	88	3,167	155	722	328	783	173	1,210	214	50	106	4,222
1928...9月	125	512	325	822	158	985	231	31	92	3,110	142	730	331	757	162	1,190	209	46	101	4,214
10月	132	552	344	857	169	1,016	236	39	95	3,428	164	768	356	834	190	1,306	229	56	111	4,725
11月	126	553	331	850	169	(h)267	229	45	97	3,356	167	775	340	800	178	(h)357	213	66	110	4,335
12月	133	549	345	882	167	883	234	40	105	3,424	181	694	333	828	175	1,091	218	50	105	4,083
1929...1月	130	573	351	905	169	1,093	242	44	89	3,498	171	777	357	837	183	1,470	225	47	118	(g) 4,562
2月	120	528	302	781	147	982	209	42	95	3,258	179	787	302	742	161	1,270	195	56	119	4,395
3月	129	600	334	880	174	1,061	237	38	88	3,774	196	874	349	804	179	1,314	221	59	139	5,139
4月	123	621	336	871	178	1,105	235	42	81	3,721	193	822	342	810	186	1,415	226	59	124	5,017
5月	129	665	348	897	186	1,133	248	47	83	3,961	198	857	340	820	188	1,421	230	70	128	5,358
6月	127	668	342	865	188	1,164	242	33	91	3,777	184	844	349	797	190	1,430	219	49	121	4,960
7月	129	683	347	877	185	1,204	250	39	101	3,846	180	818	356	815	199	1,466	235	59	132	4,916
8月	122	693	348	893	182	1,168	251	41	114	3,816	176	765	365	827	192	1,402	238	68	122	5,006
9月	129	675	347	851	174	1,109	240	38	100	3,522	184	862	347	763	185	1,231	224	61	101	4,583

(單位 千佛連)

年次	石							炭					褐炭			
	英 國	白 耳 義	チ ス ロ キ ヤ コ バ ヤ	佛 蘭 西	獨 逸	和 蘭	波 蘭	加 奈 陀	南 阿	印 度	日 本	合 衆 國	澳 太 利	チ ス ロ キ ヤ コ バ ヤ	獨 逸	匈 牙 利
	(e)	(f,g)	(b)	(a)	(d)	(h)	(c)	(f)	(f,g)	(a)	(f)					
1913月平均	24,337	1,903	1,174	3,338	15,842	156	748	1,119	665	1,311	1,776	43,088	218	1,928	7,269	460
1924 "	22,617	1,947	1,265	3,668	9,898	490	2,690	762	944	1,716	2,509	43,213	232	1,705	10,386	529
1925 "	20,590	1,925	1,047	3,921	11,052	571	2,423	719	983	1,693	2,622	43,988	253	1,551	11,644	460
1926 "	10,692	2,102	1,214	4,285	12,108	717	2,979	974	1,038	1,703	2,619	49,729	246	1,589	11,596	485
1927 "	21,272	2,296	1,222	4,315	12,800	777	3,174	1,028	1,006	1,790	2,797	45,197	256	1,669	12,542	520
1928 "	20,129	2,295	1,264	4,228	12,573	891	3,383	1,036	1,014	1,805	2,650	43,025	273	1,726	13,852	543
1928...9月	19,154	2,175	1,334	4,179	12,157	876	3,401	963	1,058	1,890	2,436	42,943	268	1,759	13,616	557
10月	21,445	2,413	1,300	4,607	13,311	961	3,848	1,089	1,067	1,770	2,680	53,446	306	2,054	15,226	663
11月	20,965	2,328	1,255	4,387	12,141	892	3,770	1,049	1,062	1,398	2,603	48,532	303	1,893	14,548	633
12月	19,842	2,175	1,220	4,089	11,819	846	3,449	958	977	1,602	2,890	45,002	291	1,715	14,105	634
1929...1月	22,792	2,454	1,342	4,425	13,490	968	4,039	950	952	1,865	2,720	53,336	315	1,943	14,817	671
2月	21,397	2,115	1,294	4,094	12,104	829	3,295	1,016	977	2,068	2,545	48,934	307	1,670	13,689	607
3月	22,949	2,393	1,508	4,562	13,502	924	3,808	1,257	993	2,201	2,915	40,271	333	2,037	14,727	624
4月	21,206	2,243	1,341	4,458	13,407	938	3,734	1,264	1,057	2,067	2,738	39,307	278	1,979	14,226	528
5月	21,021	2,122	1,250	4,438	12,759	948	3,402	1,143	1,137	2,083	2,713	42,166	251	1,743	13,669	477
6月	20,201	2,200	1,243	4,432	13,221	(i) 921	3,503	1,104	1,006	1,770	2,586	39,138	245	1,586	13,763	479
7月	21,444	2,231	1,351	4,736	14,362	(i) 1,024	4,024	1,023	1,168	1,579	2,569	41,393	280	1,736	14,885	521
8月	20,867	2,220	1,398	4,568	(i) 984	984	3,942	1,025	1,097	1,576	...	45,217	298	1,844	15,136	516
9月	21,225	...	1,439	(j) 4,393	(i) 958	958	3,950	928	1,039	1,903	...	46,545	...	1,871	14,220	...

國際聯盟統計月報に依る

備考

鐵鋼の部

- a.....ルクセンブルクを除く 1918以降アルサスロレーヌを除く。1919年以降ザールを除く 1922年以降波領上部シレジアを除く
- b.....1919年以降アルサスロレーヌを含む
- c....."Croupemnet des Industries Siderurgiques" 所報
- d.....現在領地
- e.....波領上部シレジアを除く
- f.....Ekonomisk oversikt 所報
- g.....1928年に於て總産額の 94.51 パーセントを産したる諸工場
- h.....鐵鋼業ロツクアウト
- i.....鑛物を除く
- j.....日本の銑鐵は朝鮮滿洲を含む

備考

石炭の部

- a.....1919年以降アルサスロレーヌ及ザールを除く。1922年以降波領上部シレジアを除く
- b.....1919年以降アルサスロレーヌを含む
- c.....英領土のみ
- d.....現在領地—1921年迄波領上部シレジアを除く
- e.....販賣向石炭—1922年以降愛蘭を除く
- f.....現領地
- g.....1925年末迄販賣向石炭
- h.....賣却せる石炭
- i.....Schlamm を含む
- j.....褐炭を含む



小數字 引渡港ニ於ケル積込渡輸出値段  
 太數字 工場渡國內相場

	英		
	(英國諸港渡)		
	一英屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一英屯當リ
銑 鐵			
三號鑄物用銑(硅素2.50~3.00)	\$ 17.69	¥ 35.90	\$ 17.69
鹽基性銑鐵			" 16.71
鹽基性轉爐用銑	" 16.71	" 33.92	
へマタイト銑 (磷0.02~0.05)	" 18.79	" 38.13	
半 成 品			
ピレット	" 30.50	" 61.90	" 31.11
ワイヤーロッド	" 41.48	" 84.17	
成 品			
標準軌條	" 40.28	" 81.74	1.79c
マーチャントバー	1.74c	" 79.10	1.79c
建築用形鋼	1.60c	" 72.73	1.76c
厚鋼板(船、橋、タンク用)	1.76c	" 80.01	1.93c
二十四番ブラックシート	2.17c	" 98.85	2.28c
二十四番亞鉛引波板	2.82c	" 128.17	2.85c
バンド及ストリップ	2.17c	" 98.64	2.17c
針 金	2.06c	" 93.64	2.06c
亞鉛引鋼線	3.04c	" 138.20	
釘	2.39c	" 104.11	
鉄力板(一箱108封度)	\$ 4.64c	" 9.57	

Iron Trade Rev  
 finished steel >

Table with multiple columns and rows, likely a detailed price list or ledger. The text is faint and difficult to read, but it appears to contain numerical data organized in columns.

Vertical text on the right page, possibly a page number or reference code.



# 歐米ニ於ケル銑鋼價格比較表

込渡輸出値段

十一月十一日現在 1\$ : ¥2.062

英 (英國諸港渡)		國		佛				ベルギー及ルクセンブルグ				獨逸				米國 ピッツバーグ	
				(ドーヴァー海峡面諸港渡)		佛		(ドーヴァー海峡面諸港渡)		佛		(ロツテルダム及北海面諸港渡)		佛			
一英屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一英屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一英屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算
\$ 17.69	¥ 35.90	\$ 17.69	¥ 35.90	\$ 17.08	¥ 35.22	\$ 18.72	¥ 38.60	\$ 17.08	¥ 35.22	\$ 17.30	¥ 35.67	\$ 17.56	¥ 36.21	\$ 20.34	¥ 41.94	\$ 19.76	¥ 40.74
		" 16.71	" 33.92			" 20.09	" 41.43			" 16.46	" 33.94			" 21.78	" 44.91	" 19.00	" 39.18
" 16.71	" 33.92			" 16.59	" 34.21			" 16.59	" 34.21			" 16.84	" 34.72			" 20.76	" 42.81
" 18.79	" 38.13			" 24.82	" 51.18							" 17.81	" 36.72				
" 30.50	" 61.90	" 31.11	" 63.14	" 22.69	" 46.79	" 24.43	" 50.37	" 22.69	" 46.79	" 24.83	" 51.20	" 22.45	" 46.29	" 28.95	" 59.69	" 35.00	" 72.17
" 41.48	" 84.17			" 31.11	" 64.15			" 31.11	" 64.15			" 30.50	" 62.89			" 40.00	" 82.48
" 40.28	" 81.74	1.79c	" 81.37	" 31.72	" 65.41	1.46c	" 66.38	" 31.72	" 65.41	1.63c	" 74.09	\$ 32.21	" 66.42	1.53c	" 69.55	" 43.00	" 88.67
1.74c	" 79.10	1.79c	" 81.37	.94c	" 42.72	1.32c	" 60.00	.94c	" 42.72	1.23c	" 55.92	1.13c	" 51.36	1.54c	" 70.00	1.90c	" 86.38
1.60c	" 72.73	1.76c	" 80.01	1.09c	" 49.55	1.26c	" 57.28	1.09c	" 49.55	1.20c	" 54.56	1.08c	" 49.10	1.50c	" 68.19	1.90c	" 86.38
1.76c	" 80.01	1.93c	" 87.74	1.38c	" 62.77	1.46c	" 66.38	1.38c	" 62.77	1.46c	" 66.38	1.36c	" 61.63	1.72c	" 78.19	1.95c	" 88.65
2.17c	" 98.85	2.28c	" 103.64	2.37c	" 107.74	2.87c	" 130.46	2.37c	" 107.74	2.50c	" 113.74	2.33c	" 105.92	2.45c	" 111.37	2.75c	" 125.02
2.82c	" 128.17	2.85c	" 129.56	2.87c	" 130.46	3.55c	" 161.37	2.87c	" 130.46	3.19c	" 145.02	2.97c	" 135.02	3.81c	" 173.21	3.50c	" 159.10
2.17c	" 98.64	2.17c	" 98.64	1.24c	" 56.38	1.46c	" 66.38	1.24c	" 56.38	1.33c	" 60.46	1.24c	" 56.38	1.79c	" 81.37	2.00c	" 90.91
2.06c	" 93.64	2.06c	" 93.64	1.60c	" 72.73	1.94c	" 88.19	1.60c	" 72.73	2.15c	" 97.74	1.62c	" 73.63	2.45c	" 111.37	2.40c	" 109.10
3.04c	" 138.20			2.01c	" 91.37			2.01c	" 91.37			1.98c	" 90.01			3.10c	" 140.92
2.39c	" 104.11			1.71c	" 77.74			1.71c	" 77.74			1.71c	" 77.74			2.40c	" 109.10
\$ 4.64c	" 9.57											\$ 9.02	" 18.60			(前ボンド入) \$ 5.35	" 11.03

Iron Trade Review 十一月十四日號 抜萃及換算

finished steel 一 pound 當リ仙ヲ單位トス。邦貨換算ハ一佛屯當リトス



## 歐米ニ於ケル銑鋼價格比較表

小數字 引渡港ニ於ケル積込渡輸出値段  
 大數字 工場渡國內相場

十一月十一日現在 1\$ : ¥2.062

	英		國		佛		國		ベルギー及ルクセンブルグ				獨逸				米
	(英國諸港渡)				(ドーヴァー海峡面諸港渡)				(ドーヴァー海峡面諸港渡)				(ロツテルダム及北海面諸港渡)				ヒツツ
	一英屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一英屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一佛屯當リ	一佛屯當リ 邦貨換算	一英屯當リ
銑 鐵																	
三號鑄物用銑(硅素2.50~3.00)	\$ 17.69	¥ 35.90	\$ 17.69	¥ 35.90	\$ 17.08	¥ 35.22	\$ 18.72	¥ 38.60	\$ 17.08	¥ 35.22	\$ 17.30	¥ 35.67	\$ 17.56	¥ 36.21	\$ 20.34	¥ 41.94	\$ 19.76
鹽基性銑鐵			" 16.71	" 33.92			" 20.09	" 41.43			" 16.46	" 33.94			" 21.78	" 44.91	" 19.00
鹽基性轉爐用銑	" 16.71	" 33.92			" 16.59	" 34.21			" 16.59	" 34.21			" 16.84	" 34.72			" 20.76
ヘマタイト銑(磷0.02~0.05)	" 18.79	" 38.13			" 24.82	" 51.18							" 17.81	" 36.72			
半 成 品																	
ピレット	" 30.50	" 61.90	" 31.11	" 63.14	" 22.69	" 46.79	" 24.43	" 50.37	" 22.69	" 46.79	" 24.83	" 51.20	" 22.45	" 46.29	" 28.95	" 59.69	" 35.00
ワイヤード	" 41.48	" 84.17			" 31.11	" 64.15			" 31.11	" 64.15			" 30.50	" 62.89			" 40.00
成 品																	
標準軌條	" 40.28	" 81.74	1.79c	" 81.37	" 31.72	" 65.41	1.46c	" 66.38	" 31.72	" 65.41	1.63c	" 74.09	\$ 32.21	" 66.42	1.53c	" 69.55	" 43.00
マーチャントバー	1.74c	" 79.10	1.79c	" 81.37	.94c	" 42.72	1.32c	" 60.00	.94c	" 42.72	1.23c	" 55.92	1.13c	" 51.36	1.54c	" 70.00	1.90c
建築用形鋼	1.60c	" 72.73	1.76c	" 80.01	1.09c	" 49.55	1.26c	" 57.28	1.09c	" 49.55	1.20c	" 54.56	1.08c	" 49.10	1.50c	" 68.19	1.90c
厚鋼板(船、橋、タンク用)	1.76c	" 80.01	1.93c	" 87.74	1.38c	" 62.77	1.46c	" 66.38	1.38c	" 62.77	1.46c	" 66.38	1.36c	" 61.63	1.72c	" 78.19	1.95c
二十四番ブラツクシート	2.17c	" 98.85	2.28c	" 103.64	2.37c	" 107.74	2.87c	" 130.46	2.37c	" 107.74	2.50c	" 113.74	2.33c	" 105.92	2.45c	" 111.37	2.75c
二十四番亞鉛引波板	2.82c	" 128.17	2.85c	" 129.56	2.87c	" 130.46	3.55c	" 161.37	2.87c	" 130.46	3.19c	" 145.02	2.97c	" 135.02	3.81c	" 173.21	3.50c
バンド及ストリップ	2.17c	" 98.64	2.17c	" 98.64	1.24c	" 56.38	1.46c	" 66.38	1.24c	" 56.38	1.33c	" 60.46	1.24c	" 56.38	1.79c	" 81.37	2.00c
針 金	2.06c	" 93.64	2.06c	" 93.64	1.60c	" 72.73	1.94c	" 88.19	1.60c	" 72.73	2.15c	" 97.74	1.62c	" 73.63	2.45c	" 111.37	2.40c
亞鉛引鋼線	3.04c	" 138.20			2.01c	" 91.37			2.01c	" 91.37			1.98c	" 90.01			3.10c
釘	2.39c	" 104.11			1.71c	" 77.74			1.71c	" 77.74			1.71c	" 77.74			2.40c
鉄力板(一箱108封度)	\$ 4.64c	" 9.57											\$ 9.02	" 18.60			(百ポンド入) \$ 5.35

Iron Trade Review 十一月十四日號 抜萃及換算

finished steel 一 pound 當リ仙ヲ單位トス。邦貨換算ハ一佛屯當リトス



Lithuania		Lithuania		Lithuania		Lithuania	
Year	Value	Year	Value	Year	Value	Year	Value
1910	100	1911	100	1912	100	1913	100
1914	100	1915	100	1916	100	1917	100
1918	100	1919	100	1920	100	1921	100
1922	100	1923	100	1924	100	1925	100
1926	100	1927	100	1928	100	1929	100
1930	100	1931	100	1932	100	1933	100
1934	100	1935	100	1936	100	1937	100
1938	100	1939	100	1940	100	1941	100
1942	100	1943	100	1944	100	1945	100
1946	100	1947	100	1948	100	1949	100
1950	100	1951	100	1952	100	1953	100
1954	100	1955	100	1956	100	1957	100
1958	100	1959	100	1960	100	1961	100
1962	100	1963	100	1964	100	1965	100
1966	100	1967	100	1968	100	1969	100
1970	100	1971	100	1972	100	1973	100
1974	100	1975	100	1976	100	1977	100
1978	100	1979	100	1980	100	1981	100
1982	100	1983	100	1984	100	1985	100
1986	100	1987	100	1988	100	1989	100
1990	100	1991	100	1992	100	1993	100
1994	100	1995	100	1996	100	1997	100
1998	100	1999	100	2000	100	2001	100
2002	100	2003	100	2004	100	2005	100
2006	100	2007	100	2008	100	2009	100
2010	100	2011	100	2012	100	2013	100
2014	100	2015	100	2016	100	2017	100
2018	100	2019	100	2020	100	2021	100
2022	100	2023	100	2024	100	2025	100

米 二 於 夕 九 統 銷 價 格 比 列

1910年10月1日

Year	Value	Year	Value	Year	Value	Year	Value
1910	100	1911	100	1912	100	1913	100
1914	100	1915	100	1916	100	1917	100
1918	100	1919	100	1920	100	1921	100
1922	100	1923	100	1924	100	1925	100
1926	100	1927	100	1928	100	1929	100
1930	100	1931	100	1932	100	1933	100
1934	100	1935	100	1936	100	1937	100
1938	100	1939	100	1940	100	1941	100
1942	100	1943	100	1944	100	1945	100
1946	100	1947	100	1948	100	1949	100
1950	100	1951	100	1952	100	1953	100
1954	100	1955	100	1956	100	1957	100
1958	100	1959	100	1960	100	1961	100
1962	100	1963	100	1964	100	1965	100
1966	100	1967	100	1968	100	1969	100
1970	100	1971	100	1972	100	1973	100
1974	100	1975	100	1976	100	1977	100
1978	100	1979	100	1980	100	1981	100
1982	100	1983	100	1984	100	1985	100
1986	100	1987	100	1988	100	1989	100
1990	100	1991	100	1992	100	1993	100
1994	100	1995	100	1996	100	1997	100
1998	100	1999	100	2000	100	2001	100
2002	100	2003	100	2004	100	2005	100
2006	100	2007	100	2008	100	2009	100
2010	100	2011	100	2012	100	2013	100
2014	100	2015	100	2016	100	2017	100
2018	100	2019	100	2020	100	2021	100
2022	100	2023	100	2024	100	2025	100

1910年10月1日







David Colville & Sons, Ltd., Olenzarnock Carron Co., Carron	5	2	3	5	4	7	1
Totals	29	14	12	3	28	26	92

**North Wales.**

Brymbo Steel Co., Ltd. Darwen & Mostyn Iron Co., Ltd., Mostyn	1	1	1	1	1	1	1
Totals	2	2	2	2	2	2	2

\* Making ferro-manganese, etc.

**South Wales & Mon.**

Briton Ferry Works, Ltd., Briton Ferry	1	1	1	1	1	1	1
Swansea Hematite Works, Landore	2	2	2	2	2	2	2
Guest, Keen & Nettletons, Ltd.	3	3	3	3	3	3	3
Dowlais	1	1	1	1	1	1	1
Cardiff	1	1	1	1	1	1	1
Cwmbran, Mon.	1	1	1	1	1	1	1
Blaenavon Co., Ltd., Blaenavon	3	3	3	3	3	3	3
Ebbw Vale Steel, Iron & Coal Co., Ltd.	3	3	3	3	3	3	3
Totals	10	7	3	10	9	22	6

**Durham and Northumberland.**

Dorman, Long & Co., Ltd.	1*	1	1	1	1	1	1
Carlton Iron Works	3	3	3	3	3	3	3
Clarence Works	5	5	5	5	5	5	5
Consett Iron Co., Ltd., Blackhill	2	2	2	2	2	2	2
Palmer's Shipbuilding & Iron Co., Ltd., Jarrow	2*	2	2	2	2	2	2
Linthorpe - Dinsdale Smelting Co., Ltd., Middleton	2	2	2	2	2	2	2
South Durham Steel & Iron Co., Ltd., West Hartlepool	2	2	2	2	2	2	2
Totals	13	6	2	13	12	33	4

\* Making ferro-manganese, etc.  
† Including one furnace partly demolished.

**Lincolnshire.**

Appleby Iron Co., Ltd., Scunthorpe	4	4	4	4	4	4	4
Frodingham Iron & Steel Co., Ltd., Scunthorpe	3	3	3	3	3	3	3
Rd. Thomas & Co., Ltd., Redbourn	2	2	2	2	2	2	2
North Lincolnshire Iron Co., Ltd., Scunthorpe	3	3	3	3	3	3	3
Treat Iron Co., Ltd., Scunthorpe	2	2	2	2	2	2	2
John Lysaght, Ltd., Normanby Park Steelworks, Scunthorpe	4	4	4	4	4	4	4
Totals	18	1	17	18	16	25	—

**Notts and Leicestershire.**

Bestwood Coal & Iron Co., Ltd., near Nottingham	4	4	4	4	4	4	4
Stanton Ironworks Co., Ltd., Asfordby	4	4	4	4	4	4	4
Totals	4	4	4	4	4	4	4

**Shropshire.**

Lliffeshall Co., Ltd.	1	1	1	1	1	1	1
Totals	1	1	1	1	1	1	1

(Appointed) Bradley & Foster, Ltd., Darlaston	1	1	1	1	1	1	1
G. & R. Thomas, Ltd., Hatherton	1	1	1	1	1	1	1
Earl of Dudley, Brierley Hill	1	1	1	1	1	1	1
N. Hingley & Sons, Ltd., Dudley	1	1	1	1	1	1	1
Alfred Hickman, Ltd., Willingsworth Iron Co., Ltd., Wednesbury	1	1	1	1	1	1	1
M. & W. Grazebrook, Ltd., Dudley	1	1	1	1	1	1	1
Wm. Roberts (Tipton), Ltd.	1	1	1	1	1	1	1
Totals	6	2	4	6	6	24	2

**West Cumberland.**

United Steel Companies, Ltd., Barrow-in-Furness, Derwent, Solway, Moss Bay, Workington	5*	4	5	5	17	3	—
Distington Hematite Iron Co., Ltd.	3	3	3	3	5	1	—
Millom & Askam Hematite Iron Co., Ltd., Millom	3	3	3	3	5	1	—
Whitehaven Hematite Iron & Steel Co., Ltd.	3	3	3	3	5	1	—
Totals	8	7	8	8	28	4	—

\* One furnace making ferro-manganese, etc.

**North Staffordshire.**

Midland Coal, Coke & Iron Co., Ltd., Apedale	1	1	1	1	5	—	—
Norton & Biddulph Collieries Ltd., Stoke Goldendale Iron Co., Ltd.	2	2	2	2	4	—	—
Stafford Coal & Iron Co., Ltd.	2	2	2	2	4	—	—
Shelton Iron, Steel & Coal Co., Ltd., Stoke	2	2	2	2	4	—	—
Totals	5	2	3	5	5	19	—

**South and West Yorkshire.**

Walter Scott, Ltd., Leeds Steelworks	2	2	2	2	4	—	—
Low Moor Iron Co., Ltd., Bradford	2	2	2	2	4	—	—
Park Gate Iron & Steel Co., Ltd., Rotherham	2	2	2	2	4	—	—
Newton, Chambers & Co., Ltd., Sheffield	1	1	1	1	2	—	—
Yorks. Iron & Coal Co., Ltd., Leeds	2	2	2	2	4	—	—
Totals	5	2	3	5	5	15	2

**Lancashire.**

Millom & Askam Co., Ltd., Askam	1	1	1	1	1	—	—
Charcoal Iron Co., Ltd., Ulverston (Backbarrow)	1	1	1	1	1	—	—
Barrow Hematite Steel Co., Ltd.	2	2	2	2	7	—	—
Carnforth Hematite Iron Co., Ltd., Carnforth	2	2	2	2	3	—	—
Darwen & Mostyn Iron Co., Ltd., Darwen	2	2	2	2	2	—	—
Wigan Coal & Iron Co., Ltd.	2*	2	2	2	5	—	—
North Lonsdale Iron & Steel Co., Ltd.	2	2	2	2	4	—	—
Partington Steel & Iron Co., Ltd., Irlam, near Manchester	2	2	2	2	6	—	—
Totals	9	5	1	2	0	7	29

\* One furnace making ferro-manganese, etc.

**Derbyshire.**

Stanton Ironworks Co., Ltd., Stanton Gate	4	4	4	4	6	—	—
Clay Cross Co., Ltd.	1	1	1	1	3	—	—
Denby Iron & Coal Co.	1	1	1	1	4	—	—
Bennerley Iron Co., Ltd., Ilkeston	2	2	2	2	3	—	—
Renishaw Iron Co., Ltd., Chesterfield	2	2	2	2	2	—	—
Sheepbridge Coal & Iron Co., Ltd.	2	2	2	2	4	—	—
Staveley Coal & Iron Co., Ltd.	4	4	4	4	4	—	—
Totals	16	14	2	16	16	24	1

Bradley & Foster, Ltd., Darlaston	1	1	1	1	1	1	1
G. & R. Thomas, Ltd., Hatherton	1	1	1	1	1	1	1
Earl of Dudley, Brierley Hill	1	1	1	1	1	1	1
N. Hingley & Sons, Ltd., Dudley	1	1	1	1	1	1	1
Alfred Hickman, Ltd., Willingsworth Iron Co., Ltd., Wednesbury	1	1	1	1	1	1	1
M. & W. Grazebrook, Ltd., Dudley	1	1	1	1	1	1	1
Wm. Roberts (Tipton), Ltd.	1	1	1	1	1	1	1
Totals	6	2	4	6	6	24	2

\* Cold blast.

**Gloucester, Somerset and Wilts.**

New Westbury Iron Co., Ltd.	1	1	1	1	1	1	1
Totals	1	1	1	1	1	1	1
GRAND TOTALS FOR UNITED KINGDOM	169	48	62	52	168	155	409

建設中の新鑄鐵爐 (2)

NORTHAMPTONSHIRE (1).—New Cransley Iron & Steel Co., Ltd. (1).

DERBYSHIRE (1).—Stanton Ironworks Co., Ltd. (1)

九月三十日現在地方別鑄鐵爐數一覽

地方	Average in blast for Quarter.	Total in blast on Sept. 30, 1929	Total in blast on Sept. 30, making			
			Hem.	Forge & Foundry.	Basic.	Ferro-mang. etc.
Scotland	23	29	14	12	3	—
Durham and Northumberland	13	13	6	2	2	3
Cleveland	30	33	9	12	11	1
Northamptonshire	10	11	10	1	—	—
Lincolnshire	18	18	1	17	—	—
Derbyshire	16	16	14	2	—	—
Notts and Leicestershire	4	4	—	4	—	—
S. Staffordshire and Worcestershire	6	6	—	6	—	—
North Staffordshire	5	5	—	5	—	—
West Cumberland	8	8	7	1	—	—
Lancashire	9	9	5	1	2	1
South Wales and Mon.	10	10	7	—	3	—
South and West Yorkshire	5	5	—	5	—	—
Shropshire	—	—	—	—	—	—
North Wales	2	2	—	—	1	1
Gloucester, Somerset and Wilts	—	—	—	—	—	—
Totals	168	169	48	62	62	7
Totals for previous Quarter	155	165	44	62	62	7

一九二九年九月以前の各三ヶ月間中操業平均爐數比較

地方	June 1929	Mar. 1929	Dec. 1928	Sept. 1928	June 1928	Mar. 1928
Scotland	23	21	23	23	29	27
Durham and Northumberland	12	9	8	8	12	13
Cleveland	28	25	21	22	25	25
Northamptonshire	10	9	9	9	10	10
Lincolnshire	16	14	14	14	14	13
Derbyshire	16	15	14	14	13	16
Notts and Leicestershire	3	4	4	5	5	6
South Staffordshire and Worcestershire	6	6	6	6	5	5
North Staffordshire	5	5	6	5	5	5
West Cumberland	8	7	7	7	7	8
Lancashire	7	8	8	8	7	7
South Wales and Mon.	9	9	8	8	8	6
South and West Yorkshire	5	4	4	3	5	5
Shropshire	1	1	1	—	—	—
North Wales	2	2	2	2	1	1
Gloucester, Somerset and Wilts	—	—	—	—	—	—
Totals	155	141	137	136	148	148



昭和

	車 輛 及 同 部 分 品				船			
	人 力 車	自 動 車	其 他 の 車 輛	計	汽 船	其 他		
	價 格	價 格	價 格	價 格	隻 數	價 格	價 格	隻 數
一 月	48,369	109,491	84,449	242,309			1,100	
二 月	50,635	157,581	48,598	256,814			750	
三 月	59,171	206,367	212,848	478,386				
四 月	40,359	271,149	221,584	533,092	1	6,000	252	1
五 月	41,902	266,877	168,508	477,287	4	1,711,300	16,831	4
六 月	40,209	222,551	274,811	537,571	9	52,660	132,334	9
七 月	17,533	208,551	239,532	465,616	27	632,645	140,844	27
八 月	44,116	278,631	152,750	475,497	6	16,062	38,696	6
九 月	34,589	248,722	80,780	364,091	3	14,228	29,404	3
十 月	45,139	229,265	97,671	372,075	1	2,800	4,918	1
十一 月	28,260	181,168	129,147	338,575				
十二 月	47,714	177,107	194,108	418,929	1	30,000		1
累 計	497,996	2,557,460	1,904,786	4,960,242	52	2,465,695	365,129	52



昭和三年本邦鐵製品類輸出額月別表

船	船		機 械 同 部 分 品 及 附 屬 品																	合 計	
	其 他	計	汽 罐		電 氣 機 械		唧 筒		金 屬 工 及 木 工 機 械		紡 績 機 及 織 布 機		印 刷 機		其 他 の 機 械		計		數 量	價 格	
			數 量	價 格	數 量	價 格	數 量	價 格	數 量	價 格	數 量	價 格	數 量	價 格	數 量	價 格	數 量	價 格			
	1,100	1,100	10,943.4	6,956	80,299.2	107,211	3,499.2	4,301	11,478.6	11,612	173,761.8	208,945	12,260.4	15,097	89,127	292,242.6	443,249			686,658	
	750	750	17,624.4	10,998	69,030.6	112,314	6,247.2	10,177	53,568.6	32,728	137,179.2	184,923	17,520.0	14,001	148,963	301,170.0	514,104			771,668	
			20,158.8	18,090	142,386.0	153,491	33,700.8	24,123	34,639.2	18,447	291,385.2	284,210	40,728.0	35,701	240,181	562,998.0	774,243			1,252,629	
6,000	252	1	6,252	8,376.0	5,053	133,821.0	149,502	56,202.0	91,729	64,225.8	28,328	251,781.6	262,699	64,573.8	46,627	190,186	578,980.2	774,124		1,313,468	
711,300	16,831	4	1,728,131	16,206.0	8,405	110,855.4	114,320	35,583.6	34,763	65,113.8	45,377	177,624.6	190,141	64,422.6	87,711	249,259	469,806.0	729,976		2,935,394	
52,660	132,334	9	184,994	91,582.8	34,689	160,737.0	214,691	36,394.8	35,907	36,621.0	23,785	453,673.2	287,419	26,496.0	29,122	856,725	805,504.8	1,482,338		2,204,903	
332,645	140,844	27	773,489	123,169.8	69,537	114,246.6	129,855	23,271.6	24,453	92,475.6	82,350	410,826.0	260,250	24,727.8	16,838	993,868	788,717.4	1,577,151		2,816,256	
16,062	38,696	6	54,758	26,644.2	11,968	132,671.4	123,578	22,028.4	31,017	118,524.0	77,065	266,199.0	263,465	44,671.2	53,818	361,867	610,738.2	922,778		1,453,033	
14,228	29,404	3	43,632	35,243.4	33,988	169,756.8	178,687	21,152.4	19,298	48,680.4	49,930	335,592.0	276,955	48,713.4	45,098	291,823	659,138.4	895,779		1,303,502	
2,800	4,918	1	7,718	15,574.2	4,648	180,252.0	128,389	27,471.0	26,371	70,310.4	49,357	268,990.2	290,880	44,267.4	40,997	301,602	606,865.2	842,244		1,222,037	
				11,023.2	2,494	139,250.4	137,757	18,216.0	24,782	76,234.8	42,493	253,418.4	229,921	82,975.2	89,736	240,490	581,118.0	767,673		1,106,248	
30,000		1	30,000	6,096.6	6,780	230,441.4	146,892	70,441.8	91,707	23,219.4	11,503	407,546.4	332,775	65,413.2	58,100	233,221	803,158.8	880,978		1,329,907	
65,695	365,129	52	2,830,824	382,642.8	213,606	1,663,747.8	1,696,687	354,208.8	418,628	695,091.6	472,975	3,427,977.6	3,072,583	536,769.0	532,846	4,197,312	7,060,437.6	10,604,637		18,395,703	



昭和三年本邦鐵製品類輸出額月別表

	車輛及同部分品				船				機械同部分品及附屬															
	人力車	自動車	其他の車輛	計	汽船		其他	計	汽罐		電氣機械		唧筒		金屬工及木工機械		紡績機及織布機		印刷機		其他の機械			
	價格	價格	價格	價格	隻數	價格	價格	隻數	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	
一月	48,369	109,491	84,449	242,309			1,100	1,100	10,943.4	6,956	80,299.2	107,211	3,499.2	4,301	11,478.6	11,612	173,761.8	208,945	12,260.4	15,097		89,127	2	
二月	50,635	157,581	48,598	256,814			750	750	17,624.4	10,998	69,030.6	112,314	6,247.2	10,177	53,568.6	32,728	137,179.2	184,923	17,520.0	14,001		148,963	3	
三月	59,171	206,367	212,848	478,386					20,158.8	18,090	142,386.0	153,491	33,700.8	24,123	34,639.2	18,447	291,385.2	284,210	40,728.0	35,701		240,181	5	
四月	40,359	271,149	221,584	533,092	1	6,000	252	1	6,252	8,376.0	5,053	133,821.0	149,502	56,202.0	91,729	64,225.8	28,328	251,781.6	262,699	64,573.8	46,627		190,186	5
五月	41,902	266,877	168,508	477,287	4	1,711,300	16,831	4	1,728,131	16,206.0	8,405	110,855.4	114,320	35,583.6	34,763	65,113.8	45,377	177,624.6	190,141	64,422.6	87,711		249,259	4
六月	40,209	222,551	274,811	537,571	9	52,660	132,334	9	184,994	91,582.8	34,689	160,737.0	214,691	36,394.8	35,907	36,621.0	23,785	453,673.2	287,419	26,496.0	29,122		856,725	8
七月	17,533	208,551	239,532	465,616	27	632,645	140,844	27	773,489	123,169.8	69,537	114,246.6	129,855	23,271.6	24,453	92,475.6	82,350	410,826.0	260,250	24,727.8	16,838		993,868	7
八月	44,116	278,631	152,750	475,497	6	16,062	38,696	6	54,758	26,644.2	11,968	132,671.4	123,578	22,028.4	31,017	118,524.0	77,065	266,199.0	263,465	44,671.2	53,818		361,867	6
九月	34,589	248,722	80,780	364,091	3	14,228	29,404	3	43,632	35,243.4	33,988	169,756.8	178,687	21,152.4	19,298	48,680.4	49,930	335,592.0	276,955	48,713.4	45,098		291,823	6
十月	45,139	229,265	97,671	372,075	1	2,800	4,918	1	7,718	15,574.2	4,648	180,252.0	128,389	27,471.0	26,371	70,310.4	49,357	268,990.2	290,880	44,267.4	40,997		301,602	6
十一月	28,260	181,168	129,147	338,575						11,023.2	2,494	139,250.4	137,757	18,216.0	24,782	76,234.8	42,493	253,418.4	229,921	82,975.2	89,736		240,490	5
十二月	47,714	177,107	194,108	418,929	1	30,000		1	30,000	6,096.6	6,780	230,441.4	146,892	70,441.8	91,707	23,219.4	11,503	407,546.4	332,775	65,413.2	58,100		233,221	8
累計	497,996	2,557,460	1,904,786	4,960,242	52	2,465,695	365,129	52	2,830,824	382,642.8	213,606	1,663,747.8	1,696,687	354,208.8	418,628	695,091.6	472,975	3,427,977.6	3,072,583	536,769.0	532,846		4,197,312	70